

遊亀公園附属動物園整備（建築主体）工事 （ビバー舎・屋外放飼場）

図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
A-01	特記仕様書-1	NOSCALE	S-01	構造特記仕様書	NOSCALE
A-02	特記仕様書-2	NOSCALE	S-02	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	NOSCALE
A-03	特記仕様書-3	NOSCALE	S-03	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	NOSCALE
A-04	特記仕様書-4	NOSCALE	S-04	基礎伏図・R階梁伏図	1/100
A-05	内外仕上表、床面積・建築面積求積図、求積表	1/100	S-05	軸 組 図	1/50
A-06	平面図、立面図、断面図、屋根伏図、天井伏図	1/100	S-06	構 造 材 リ ス ト	1/25 1/50
A-07	矩計詳細図、階段詳細図	1/20	S-07	地盤改良特記仕様書	NOSCALE
A-08	平 面 詳 細 図	1/50			
A-09	展開図、建具キープラン図、建具表	1/50 1/100			
A-10	シュート扉詳細図	1/50 1/20			
A-11	屋 外 放 飼 場 -1	1/50			
A-12	屋 外 放 飼 場 -2	1/50			

遊亀公園附属動物園整備工事

ピーパー舎

設計図

令和 年 月 (全 枚)

仕 様 書

I 工事概要

敷地所在地	甲府市太田町554-1
都市計画区域	都市計画区域内
防火指定	未指定 西側道路より20m準防火地域
その他の地域地区	22条区域
道路	西側 法第42条1項1号道路 甲府市川三郷線 幅員12.60m～13.45m (都市計画道路 大手二丁目浅原橋線 幅員18.10m) 南側 法第42条1項1号道路 幅員 9.80m 東側 法第42条1項但し書き空地 幅員2.77m～4.59m 北側 法第42条1項1号道路 幅員 6.00m
敷地面積	28,507.44㎡ 商業地域2,433.67㎡ 第二種住居地域26,073.77㎡
用途地域	第二種住居地域、西側道路より20m商業地域
建坪率	第二種住居地域 60% 商業地域 80%
容積率	第二種住居地域 200% 商業地域 400%
建物の主要用途	博物館（動物園）
工事の種類	新築
棟数	1棟
構造・階数	鉄筋コンクリート造 平家建て
建築面積	44.10㎡
延べ床面積	44.10㎡
最高の高さ	3.875mm
最高の軒高さ	3.525mm
消防法上の有窓階・無窓階	無窓階
下水の放流形式	合流式

工事種目 図示の内容全て

II 工事範囲

※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち 工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

2 仮設工事	工事範囲全て
3 土工事	
4 地業工事	
5 鉄筋工事	
6 コンクリート工事	
7 鉄骨工事	
8 コンクリートブロック・ALCパネル 押出成形セメント板工事	
9 防水工事	
10 石工事	
11 タイル工事	
12 木工事	
13 屋根及びとい工事	
14 金属工事	
15 左官工事	
16 建具工事	
17 カーテンウォール工事	
18 塗装工事	
19 内装工事	
20 ユニット及びその他の工事	

III 建築工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房宮繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「様仕」という。）による。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に 印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、 印の付いたものを適用する。
 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
 印と※ 印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、様仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の（別 ）は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。
(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。
(6) ☑ 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

章 項 目 特 記 事 項

① 一般事項

○工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。
○ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。
・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤、擁壁、内装壁、床、建具等）を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。
調査範囲 ※ 図示
○ 現場への搬入路は、破損のないよう留意し、もし破損した場合は速やかに復旧すること。
○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房宮繕部建築課監修 最新版）
○工事写真の撮り方（改訂第3版）建築編（国土交通省大臣官房宮繕部監修）
※適用する（請負精算額が500万円以上の場合）（1.1.4）
受注者は、工事実績情報サービス（C O R I N S）入力システム（（財）日本建設情報総合センター）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認お願い」を作成し監督職員の確認（機関印または監督員の記名・押印及び電子メールアドレスを記入）を受けたうえ、（財）日本建設情報総合センターに登録申請するとともに、「登録内容確認書」の写しを監督員に提出しなければならない。提出の期限は、以下のとおりとする。
①受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内（土・日曜日及び祝日等を除く）とする。
②完成時登録データの提出期限は、業務完成後10日以内とする。
③業務履行中に、受注時登録データの内容のうち、「工期」または「現場代理人」または「監理主任技術者」に変更があった場合は、変更があった日から10日以内（土・日曜日及び祝日等を除く）に変更データを登録申請しなければならない。工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。
ただし、工事請負代金2,500万円を超えて変更する場合には変更時登録を行うものとする。
④訂正時は、適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

② 適用基準等

③ 工事実績情報の登録 (ORINS) の登録

(1.1.4)

④ 施工計画書

○工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。
○施工計画の内容を変更する必要がある場合は④ 監督職員に報告するとともに、施工に支障がないよう適切な措置を講ずる。（1.1.2）

⑤ 電気保安技術者

工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。（1.3.3）
○要 ・ 不要

⑥ 施工条件

工事着手については監督職員と協議し着手する。（1.3.11）
令和 6 年 7 月 8 月 9 月 10 月 11 月 令和 7 年 1 月 2 月 3 月 4 月 5 月 6 月

⑦ 発生材の処理等

※現場説明図による ・ 構外搬出適切な処理（1.3.8）

⑧ 建築材料等

本工事に使用する材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。
(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること
(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
(3) 安定的な供給が可能であること
(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図面に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りではない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承認を受ける。

⑨ 化学物質を放散する 建築材料等

建築材料の使用制限
建築材料等について、規制の対象となる範囲は下地、仕上がり材共にF☆☆☆☆または規制対象外の建材を用いることとし、該当する材料が無い場合は監督職員の承認を受けF☆☆☆☆のものを採用するを含む）を使用すること。

⑩ 特別な材料の工法

横仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

⑪ 技能士

(1.5.2)

⑫ 電子納品

○工事関係図書を電子納品すること
・適用基準は以下の通りとする。 （作成・納品の基準、納品する資料の範囲等）
○書面による署名及び捺印の取り扱い（電子成果物の原本性保証に関する処置）
電子納品の導入にあたっては、従来の署名または捺印に代わる措置として、電子署名の導入が求められるが、電子署名の導入は現時点では困難であるため、
1） 受注者は電子媒体の内容の原本性を照明するために、電子媒体に署名又は捺印の上、提出する。
2） 共通仕様書に基づく各書面に対する署名又は捺印は、上記1）の措置を持って代えることができる
○設計図CADデータ貸与する。
○設計図CADデータの著作権は以下の者にある
貸与するCADデータを当該工事における施工図面又は完成図の作図のため以外に使用してはならない。
甲府市まちづくり部 まち整備室建築営繕課

⑬ 仮設工事

⑭ 工事用水

⑮ 工事用電力

⑯ 土工事

⑰ 監督職員事務所

⑱ 工事用水

⑲ 工事用電力

⑳ 土工事

㉑ 監督職員事務所

㉒ 工事用水

㉓ 工事用電力

㉔ 土工事

㉕ 監督職員事務所

㉖ 工事用水

㉗ 工事用電力

㉘ 土工事

㉙ 監督職員事務所

㉚ 工事用水

㉛ 工事用電力

㉜ 土工事

㉝ 監督職員事務所

㉞ 工事用水

㉟ 工事用電力

㊱ 土工事

㊲ 監督職員事務所

㊳ 工事用水

㊴ 工事用電力

㊵ 土工事

㊶ 監督職員事務所

㊷ 工事用水

㊸ 工事用電力

㊹ 土工事

㊺ 監督職員事務所

㊻ 工事用水

㊼ 工事用電力

㊽ 土工事

㊾ 監督職員事務所

㊿ 工事用水

1 既製コンクリート杭地業

構造設計特記仕様による

2 場所打ちコンクリート杭地業

3 砂利地業

4 床下防湿層

5 鉄筋の種類

鉄筋工事構造設計標準仕様書仕様書及び鉄筋コンクリート構造標準配筋図による）

6 既製コンクリート杭の杭頭補強

7 最上段柱頭補強

8 帯筋

9 壁開口部の補強

10 梁貫通孔の補強形式

機械吊上げ用フック

圧接完了後の試験

1 普通コンクリートの設計基準強度

2 レディーミクストコンクリートの類別

3 スランプ

4 セメントの種類

5 骨材の種類

6 混和材料

7 無筋コンクリート

8 コンクリート躯体表面の処理

9 断熱材兼用型枠

1 既製コンクリート杭地業

2 場所打ちコンクリート杭地業

3 砂利地業

4 床下防湿層

5 鉄筋の種類

鉄筋工事構造設計標準仕様書仕様書及び鉄筋コンクリート構造標準配筋図による）

6 既製コンクリート杭の杭頭補強

7 最上段柱頭補強

8 帯筋

9 壁開口部の補強

10 梁貫通孔の補強形式

機械吊上げ用フック

圧接完了後の試験

1 普通コンクリートの設計基準強度

2 レディーミクストコンクリートの類別

3 スランプ

4 セメントの種類

5 骨材の種類

6 混和材料

7 無筋コンクリート

8 コンクリート躯体表面の処理

9 断熱材兼用型枠

1 既製コンクリート杭地業

2 場所打ちコンクリート杭地業

3 砂利地業

4 床下防湿層

5 鉄筋の種類

鉄筋工事構造設計標準仕様書仕様書及び鉄筋コンクリート構造標準配筋図による）

6 既製コンクリート杭の杭頭補強

7 最上段柱頭補強

8 帯筋

9 壁開口部の補強

10 梁貫通孔の補強形式

機械吊上げ用フック

圧接完了後の試験

1 普通コンクリートの設計基準強度

2 レディーミクストコンクリートの類別

3 スランプ

4 セメントの種類

5 骨材の種類

6 混和材料

7 無筋コンクリート

8 コンクリート躯体表面の処理

9 断熱材兼用型枠

承認

設計

担当

縮 尺

A1→S/N A3→S/N

設計年月日

2023.03.31

工事名称

遊亀公園附属動物園整備(建築主体)工事

図面名称

特記仕様書-1（ピーパー舎）

山梨建築設計監理事業協同組合

A-01

No.

7
鉄骨工事

1 鉄骨の製作工場

製作工場の加工能力
・監督職員の承認する製作工場
・建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた
(株)日本鉄骨評価センター又は(社)全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(R)グレード以上」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。

入熱、バス間温度の溶接条件
適用箇所・図示・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件
※図示

2 施工管理技術者

3 鋼材

鋼材の材質
種類の記号
使用箇所
規格等
※JIS規格による
※JIS規格による
※JIS規格による
※JIS規格による
※JIS規格による

4 スカラップ

改良型スカラップ

5 エンドタブ

鋼製エンドタブ
切断する箇所()

6 高力ボルト

※トルシア形高力ボルト・JIS形高力ボルト・溶融亜鉛めっき高力ボルト(7.2.2)(7.12.4)

7 溶接部の試験

AQDL ※4.0%・2.5%
検査水準 ※第6水準・図示
試験の種類
試験箇所
試験方法
※超音波探傷試験
完全溶込み溶接部
※標仕7.6.11(b)による
図示
・放射線試験
・マクロ試験

8 耐火被覆

耐火被覆
種別
所要性能及び適用構造部位
・ラス張りモルタル塗り
・耐火材
・乾式吹付けロックウール
・半乾式吹付けロックウール
・湿式ロックウール
・耐火板張り

9 アンカーボルトの保持及び埋込み工法

○構造用アンカーボルト(※図示・)
・建方用アンカーボルト(・A種 ※B種 ・C種)(7.10.3)(表7.10.1)

10 柱底均しモルタル工法

※A種 ・B種
混和材
セメント
砂
配合比
無収縮モルタルの品質及び試験方法
コンシステンシー
ブリージング
凝結時間
無収縮性
圧縮強度
付着強度
塩化物量
試験方法
1)日本道路公団規格(JHS)「無収縮モルタル品質管理試験方法」312-1992による。
2)塩化物量は、JIS A 5308「レディミクストコンクリート」付属書5(規定)「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

11 溶融亜鉛めっき工法

溶融亜鉛めっき工法
亜鉛めっきの種類
材 料
適用部位
A種
最低板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板
B種
最低板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板
C種
普通ボルト、アンカーボルト
最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板
素地ごしえは、JIS H 9124溶融亜鉛めっき作業指針による。

8
コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造

※空洞ブロック16・空洞ブロック16-W(8.2.2)

2 コンクリートブロック
帳壁及び扉

※標仕表8.3.1及び下表による(8.3.2)

3 ALCパネル

種 類
単位荷重(N/m²)
厚さ(mm)
取付け工法種別
・外壁パネル
・1180・1960
※100
・A種・B種・C種
・間仕切壁パネル
※100
・B種・C種・D種・E種
・屋根パネル
・980
※100
※標仕8.4.6による
・床パネル
・2350・3530
・100・150
・床パネルの耐火性能(・1時間・2時間)
(8.4.2~5)(表8.4.2~4)

4 押出成形セメント板(EGP)

種 類
表面形状
厚さ(mm)
幅(mm)
工法種別
・外壁パネル
・D・D-R
・T・T-R
・間仕切パネル
※F・F-R
・D・D-R
・T・T-R
耐火性能
・有り()
・無し

⑨ 防水工事

1 アスファルト防水

種 別
施工箇所
・A-1・A-2・A-3
・A1-1・A1-2・A1-3
・B-1・B-2・B-3
・B1-1・B1-2・B1-3
・D-1・D-2・D-3・D-4
・D1-1・D1-2
・E-1・E-2
(9.2.2~3)(表9.2.3~9)

2 改質アスファルトシート防水

アスファルト ※3種・4種
断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※25
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護
・乾式保護材 ※押出成形セメント板(厚さ15mm)
(9.2.5)
(9.3.2~3)(表9.3.1~3)

③ 合成高分子系ルーフィングシート防水

種 別
厚さ(mm)
施工箇所
仕上り分類
・S-F1 ※1.2・1.5
・S-F2 ※2.0・1.5
・S-M1 ※1.5
・S-M2 ※1.5
・S-M3 ※1.2
・S1-F1 ※1.2・1.5
・S1-F2 ※2.0・1.5
・S1-M1 ※1.5
・S1-M2 ※1.5
・S-C1 ※
(9.4.2~3)(表9.4.1~3)

④ 塗膜防水

種 別
施工箇所
備 考
・X-1
・X-2
・Y-1
・Y-2
Y-2工法の保護シート
※適用する・適用しない
脱気装置
・設ける 材質() 設置数量(m²当たり1箇所)
(9.5.2~3)(表9.5.1~2)

⑤ ケイ酸質系塗布防水

種 別
施工箇所
備 考
・C-U-I
・C-U-P
(9.6.2)(表9.6.1)

⑥ シーリング

下表以外は、標仕表9.7.1による(9.7.2)(表9.7.1)

施工箇所
シーリング材の種類(記号)
サッシ廻り

10 石工事

1 天然石張り

石の種類・表面仕上げ
施工箇所
種 類
産地・名称
厚さ(mm)
仕上げの種類
(10.2.1)(表10.2.1~2)

2 テラゾ張り

種石の種類 ※大理石
表面仕上げ ※本磨き
形状・寸法 ※図示
(10.2.1)(表10.2.2)

3 壁の石張り工法

外壁石張り
工法
・外壁湿式工法(※流し筋工法)
・乾式工法
石裏面処理
・行う(・小口共)
裏打ち処理
・行う
ドレインパイプ ※ステンレスSUS304
内壁石張り
工法
・内壁空積工法(※あと施工アンカー横筋流し工法・あと施工アンカー工法)
・乾式工法
(10.3.2~3)(10.5.2~3)

4 床及び階段の石張り

床石張りの裏面処理
・行う
屋内のワックス掛け
・行う
(10.6.2~3)(10.1.5)

11 タイル工事

1 陶磁器質タイル

タイルの種類
施工箇所
形状寸法(mm)
きじ
磁器
せ
面
陶
器
な
し
うわぐすり
役物
温
冷
繰
返
し
後
な
し
役物
色
再
生
材
の
適
用
備
考
色
再
生
材
の
適
用
備
考
壁
ノンスリップ
役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする
タイルの見本抜き ※行わない・行う(※外壁タイル)
(11.2.1)

2 張り付け用材料

既製調合モルタル(仕上げ表の仕様により合成樹脂を添加する)
保水率
単位容積質量
(%)
標準時
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外・第三種
(11.2.2)(11.4.2)(表11.4.1)

3 壁タイル張りの工法

内装タイル ※壁タイル接着剤張り
・積上げ張り
(11.3.3)(表11.3.2)

外装タイル ※密着張り
・マスク張り
躯体表面の処理
・行わない ※行う(施工範囲 ※図示)
躯体表面の処理方法 MCR工法又は目荒し工法(6章コンクリート工事)
下地モルタル塗り ※標仕15.2.2~15.2.5(仕上げ表の仕様により合成樹脂を添加する)
タイルの試験張り ※行わない・行う(※外壁タイル)
(11.2.1)

4 陶磁器質タイル型枠先付け工法

種 別
適用タイル
タイル型枠先付け面のせき板
※タイルシート法
・小口タイル
※標仕6.9.3【材料】(b)(2)又は
・目地樹タイル
・積木工法
大型タイル
金属製タイル先付け用パネル
(11.2.2)(11.4.2)(表11.4.1)

12 木工事

1 木材の品質

※標仕12.2.1
・市販品
・保存処理木材を適用する箇所()
(12.2.1)

2 樹種

・特記による()
・代用樹種を適用しない箇所()
・県産材指定箇所()
(12.2.1)

3 集材等 ④

品 名
規格・品質
芯材の種類
化粧単板の樹種
※集材材
※一般材
・たも・なら・しおじ
・構造用集材材
・1種 ※2種・3種
・造作用集材材
※1等・2等
・化粧ばり造作用集材材
※1等・2等
・ホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外・第三種
(12.2.2)

4 接着剤

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤(以下、「ユリア樹脂等」という)を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外・第三種
(12.2.2)

5 防霉・防蟻処理

行う箇所()
防霉処理 ※行う(※図示・)
防蟻処理 ※行う(※図示・)
防霉、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防霉・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。
(12.3.1)(12.3.2)

6 床板張り

フローリング及び縁甲板張り床
※無し
※合板張り
ホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外・第三種
(12.6.1)(表12.6.1)

下張り用床板
・有り
・板張り
・縁甲板
ホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外・第三種
※ひのき
(13.3.2~3)(表13.2.1)

⑬ 屋根及びびとい工事

1 長尺金属板葺

屋根葺形式
長尺金属板の種類
板厚(mm)
・段葺き
・瓦葺き
※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき
鋼板及び鋼帯(OGLCOR-20-AZ150)
※0.4
(13.2.2~3)(表13.2.1)

2 折板葺

形 式
※重ね形
・はげ縮め形
・かん合形
形状(mm)
山高()
山ピッチ()
材 料
※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(OGLCOR-20-AZ150)
(規格等)
軒先面戸板
※有り
・無し
断 熱 材
※有り(種別)
厚さ(mm)
・無し
耐火性能
※30分耐火
・無し
(13.3.2~3)(表13.2.1)

⑬ ③ とい

材 種
※配管用鋼管
○硬質塩化ビニル管
・ステンレスJIS G4305
・既存使用
(13.5.2)(表13.5.1)

鋼管製といの防露
※標仕表13.5.5iによる
防露材のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外・第三種
(13.5.3)(表13.5.5)

掃 除 口
※有り
・無し

14
金属工事

1 ステンレスの表面仕上げ

(14.2.1)

種 類
施工箇所
※H L程度
下記以外の見え掛かり全て
・No.2 B程度
・鏡面仕上げ

2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2)(表14.2.1)

種 別
施工箇所
・B-1種(無着色)
・B-2種(・ブラウン系・ブラック・ステンカラー)

3 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)(表14.2.2)

表面処理方法
種 別
施工箇所
溶融亜鉛めっき
・A種
・B種
・C種
・D種
・E種
・F種

電気亜鉛めっき
・A種
・B種
・C種
・D種
・E種
・F種

4 金属成形板張り

(14.6.2)(表14.2.1)

形 状
製 法
材 種
寸法(mm)
厚さ(mm)
表面処理
・スパンデル形
・押出し
・ロール
※アルミニウム製
・B-1種
・B-2種()
・パネル形
※プレス

5 アルミニウム製笠木

(14.7.2)(表14.2.1)(表14.7.1)

種 類
呼称肉厚(mm)
表面処理
固定間隔
備 考
・250形
1.6以上
※A-1又は
固定方法及び間隔は品質計画で
決めたもの
・300形
1.8以上
・B-1種
・B-2種
・350形
2.0以上
・100形

6 手すり及びタラップ

(14.2.1)(14.8.2~3)(表14.2.2)

種 類
材料の種類
表面処理
手すり
※ステンレスSUS304
・既製品
垂れめっき
外部
※C種
・鉄
※研磨無し
・垂れめっき
内外部
※C種

⑮ 左官工事

① モルタル塗り材料

吸水調整材
全固形分(%)
表示値±1.0
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
(15.3.2)(表15.3.2)

防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)
防水剤の種類
建築用のモルタルに用いるセメント防水剤
(15.3.2)

混合割合
凝結時間
曲げ及び圧縮強度比
吸水比
透水比
セメント重量の5%以下
JIS R 5201の試験において
始発1時間以上
終結10時間以内

膨張性のひび割れ及びそりがいないこと。

② 床コンクリートの直均し仕上げ

下表以外は標仕表6.2.4及び標仕15.3.2iによる(表6.2.5)(15.4.1~2)

施工箇所
平たんさ(mm)
1mにつき10以下
3mにつき7以下
備 考

③ 仕上塗材仕上げ

(15.6.2)(表15.6.1)

種 類
呼び名
仕上げの形状等
○薄付け仕上塗材
・外装薄塗材 S i
・可とう形外装薄塗材 S i
○外装薄塗材 E
・砂壁状
・着色骨材砂壁状
・内装薄塗材 E
・砂壁状じゅらく
・ゆず肌状
・可とう形外装薄塗材 E
・砂壁状
・ゆず肌状
・さざ波状
・防水形外装薄塗材 E
・ゆず肌状
・さざ波形
・凹凸状
・外装薄塗材 S
・内装薄塗材 C
・内装薄塗材 L
・内装薄塗材 S i
・内装薄塗材 W
・京壁状じゅらく
・ゆず肌状
・凸部処理
※凹凸模様
・複層仕上塗材
・複層塗材 C E
・可とう形複層塗材 C E
・複層塗材 S i
・複層塗材 E
・複層塗材 R E
・複層塗材 R S
・防水形複層塗材 C E
・防水形複層塗材 E
・防水形複層塗材 R E
・防水形複層塗材 R S
・防水形複層塗材 R S
・砂壁状
・防水形の増塗材
※行う
・軽量骨材仕上塗材
・吹付け軽量塗材
・こて塗用軽量塗材
平たん状
建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外・第三種
防火材料の指定
※壁内の壁、天井の仕上り材は防火材料とする。

山梨建築設計監理事業協同組合

承認

設計

担当

縮 尺
A1→N/S A3→N/S
設計年月日
2023.03.31

工事名称
図面名称
遊亀公園附属動物園整備(建築主体)工事
特記仕様書-2(ピーパー舎)

No.

A-02

⑪
建具
工事

1
見本の製作等

・特殊な建具の仮組（建具符号：
）（表16.1.4）

②
アルミニウム製建具

外部に面する建具（表16.2.2）（表16.2.4）（表16.2.1）

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
○A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	※図示
・B種	S-5			・100	※図示
・C種	S-6	A-4	W-5	特記による	※図示

断熱等級・
枠・障子：

ガラス：

表面処理 ※B-1種・B-2種（・ブラウン系・ブラック・ステンカラー）（表14.2.1）

屋内建具
表面処理 ※C-1種又はB-1種
・C-2種又はB-2種（・ブラウン系・ブラック・ステンカラー）（表14.2.1）

防虫網
網の種類 ※ガラス繊維入り合成樹脂製・合成樹脂製・ステンレス製（SUS316）
形式 ※外部可動式・固定式（表16.2.3）

3
樹脂製建具

建具の性能及び構造の適用は建具表による
製造所標準仕様による（表16.3.2）
（表16.3.3）

④
鋼製建具

簡易気密型ドアセットの適用は特記による
耐風圧性の適用は建具表による
特定防火設備の戸・適用あり（表16.4.2）（表16.4.1）

5
鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による
（表16.5.2）

⑥
ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による
耐風圧性の適用は建具表による
表面仕上げ ※H.L程度・鏡面仕上げ（表16.6.4）
曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ（補強あり）（表16.6.5）
特定防火設備の戸・適用あり（表16.6.1）

7
木製建具

かまち戸の樹種 かまち（
） 鏡板（
）（表16.7.2）

ふすまの上張り
※新島の子又はビニル紙程度（押入等の表面は除く）
・鳥の子
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外・第三種（表16.7.3～10）

⑧
建具用金物

マスターキー ※製作する・製作しない（表16.8.4）
建具用金物（表16.4.6）（表16.5.6）
錠類はシンダー箱錠（レバーハンドル）とする（表16.8.1～5）
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承認を受ける（表16.8.2）

吊金物
○丁番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい）
○ピボットヒンジ
・フロアヒンジ

9
自動ドア開閉装置

開閉方法	センサの種類
※スライディングドア ・スイングドア	・マットスイッチ ※光線スイッチ ・熱線スイッチ ・光電スイッチ

・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

10
自閉式上吊り引戸装置

品質規格 ※標仕表16.10.11による
・製造所標準仕様による（表16.10.2～3）

11
重量シャッター

シャッターの種類	耐風圧性能（ ）N/m ²
・一般重量シャッター	耐風圧性能（ ）N/m ²
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（ ）N/m ²
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉機能 ※上部電動式（手動併用）・上部手動式（表16.11.2）（表16.11.1）

危害防止機構
※障害物感知装置（自動開鎖型）
・シャッターの二段降下方式
一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける・設けない（表16.11.2）

12
軽量シャッター

開閉形式 ※手動式・上部電動式（手動併用）（表16.12.2）（表16.12.1）

スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板・鋼板（表16.12.3）
形状 ※インターロックング形・オーバーラッピング形（表16.12.4）
ガイドレール等 ※鋼板製・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm）（表16.12.2）
耐風圧性能（
）N/m²

13
オーバーヘッドドア

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチャル形	※ステンレス鋼板 （SUS304）

耐風圧性能（
）N/m²

※建具表による
・ガラスブロック 標仕16.14.5による（表16.14.2）（表16.14.5）

表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色調	防火性能
・正方形 ・長方形			※クリア	※無し ・有リ

ガラス留め材（表16.13.2～3）

ガラス留め材	建具の種類	材 種
アルミニウム製	※シーリング材	・ガスケット（FIX部はシーリング材）
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材	
ステンレス製	※シーリング材	

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。
板ガラスははめ込む薄の大きさ
標仕16.14.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会
JASS 17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を
監督職員に提出する（表16.14.3）

名 称	種 類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り・外張り	飛散防止率 D 1

品質 JIS A 5759による

⑬
カー
テン
工
事

2
メタルカーテン
ウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。
カーテンウォール材料の種類（表17.2.2）

種 類	規格等
※アルミニウム製	※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による

カーテンウォール方式
・方立方式
・バックマリオン方式（・単純2辺支持構法・SSG構法）
・スパンドレル方式
・パネル方式
・小型パネル組み合わせ方式（・ノックダウン方式・ユニット方式）
シーリング材及びガラス取付け材料
下記以外は標仕表9.7.1による（表9.7.1）

接着体の組合せ	記 号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス		
ガラス	石、タイル		
ガラス	ガラス		

構造用ガスケット ※適用しない
・適用する（施工箇所：図示）（表17.2.2）
断熱材 ※適用しない
・適用する（種類： 厚さ（mm）：施工箇所※図示）（表17.2.2）
製品の寸法許容差 ※標仕表17.2.1による
・製造所標準製作規定寸法許容差による
・取付け（表17.2.5）（表17.2.2～3）
アルミニウムの表面処理（表17.2.3）（表14.2.1）

種 別	色 彩 等
・A-1種 ・A-2種	無着色 ※ブラウン系・ブラック・ステンカラー
・着色塗膜 塗装材料（ ） 焼付け方法（ ）	コート（ ）ベーク

耐風圧性能（表17.1.3）
性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧 N/m²以上及び負圧 N/m²以上に対して安全であること。

主要部材のたわみ

支点間距離（h）	たわみ量	状 態
※4m以下	※±（1/150）×h	※各部の破壊、残留変形 有害な変形が起こらないこと
・4mを超える	かつ絶対値20mm以下	

耐震性能（表17.1.3）

設計用震度	水平方向（K _H ）	※1.0	・
垂直方向（K _V ）	※0.5	・	

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状 態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上	※部材の脱落、ガラスの破壊及び主要部材に有害な歪みが起こらない シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上	
鉄骨鉄筋コンクリート造		

水密性 ・W-4 ・W-5
気密性 ・A-3 ・A-4
耐火性能 ※適用しない・適用する 時間、施工箇所：図示
映像調整 ※行わない・行う（建具表による）
製造所 性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承認を受ける
設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS 14による。
コンクリートの種類及び品質（表17.3.2）
※標仕17.3.2による
・下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（F _c ）	所要スランプ（cm）

鉄筋 ※SD295A
取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質（表14.2.3）（表14.2.2）

金物種類及び部位	内 部	外 部
P C板打込み金物	※E種	※A種
P C板打込み取付けボルト	※E種	※ステンレスボルト
2次ファスナー	※E種	※A種
取付けボルト	※E種	※A種
レベル調整ボルト	※E種	※A種

上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による

シーリング材料
下記以外は標仕表9.7.1による（表9.7.1）

施工箇所	記 号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地			

断熱材 ※適用しない
・適用する（種類： 厚さ（mm）：施工箇所 ※図示）（表17.3.1）
製品の寸法許容差 ※標仕表17.3.1による
・製造所標準製作規定寸法許容差による
表面仕上げ（
）

耐火材料

施工部位	種 別	規格等
・ファスナー部 ・取付けブラケット ・パネル目地部 ・層間ふさぎ		

耐風圧性能（表17.1.3）
性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧 N/m²以上及び負圧 N/m²以上に対して安全であること。

耐震性能（表17.1.3）

設計用震度	水平方向（K _H ）	※1.0	・
垂直方向（K _V ）	※0.5	・	

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状 態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上	※部材が損傷せず、破壊脱落もしない。 シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上	
鉄骨鉄筋コンクリート造		

⑭
カー
ペ
ット
工
事

2
カーペット敷き

・織じゅうたん
種 別 バイル形状
・A種
・B種
・C種
・カット、ループバイル併用
耐電性 ※人体帯電圧3kV以下
・タフテッドカーペット
（表19.3.3～4）（表19.3.2）

バイル形状	バイル長（mm）	工 法	備 考
・カットバイル	※5～7	※全面接着工法 ・グリッド工法	下敷き材を敷く。
・ループバイル	※4～6		
・レベルループバイル	※4		
・カット、ループ併用			

耐電性 ※人体帯電圧3kV以下
・縮 尺
A1→N/S A3→N/S
設計年月日
2023.03.31

⑮
塗
装
工
事

①
材 料

②
素地ごしらえ

③
錆止め
塗料塗り

4.
合成樹脂調合
ペイント塗り
（SOP）

5.
クリアラック
ー塗り（C.L）

6.
アクリル樹脂系
非水分散形塗料塗り
（NAD）

⑦
耐候性塗料塗り
（DP）

8.
つや有り合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP-G）

9.
合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP）

10.
合成樹脂
エマルション模様
塗料塗り
（EP-T）

11.
ウレタン樹脂ワニス塗り
（UC）

12.
ラッカーエナメル塗り
（LE）

13.
オイルステイン塗り
（OS）

14.
木材保護塗料塗り
（WP）

19
R
材
工
事

①
材 料

②
素地ごしらえ

③
錆止め
塗料塗り

4.
合成樹脂調合
ペイント塗り
（SOP）

5.
クリアラック
ー塗り（C.L）

6.
アクリル樹脂系
非水分散形塗料塗り
（NAD）

⑦
耐候性塗料塗り
（DP）

8.
つや有り合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP-G）

9.
合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP）

10.
合成樹脂
エマルション模様
塗料塗り
（EP-T）

11.
ウレタン樹脂ワニス塗り
（UC）

12.
ラッカーエナメル塗り
（LE）

13.
オイルステイン塗り
（OS）

14.
木材保護塗料塗り
（WP）

19
R
材
工
事

2
ビニル床シート張り
ビニル床タイル
及びゴム床タイル張り

・化粧ビニル
床シート

・ビニル床
タイル

・特殊機能床材

・ビニル幅木

・接着剤

3
カーペット敷き

①
材 料

②
素地ごしらえ

③
錆止め
塗料塗り

4.
合成樹脂調合
ペイント塗り
（SOP）

5.
クリアラック
ー塗り（C.L）

6.
アクリル樹脂系
非水分散形塗料塗り
（NAD）

⑦
耐候性塗料塗り
（DP）

8.
つや有り合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP-G）

9.
合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP）

10.
合成樹脂
エマルション模様
塗料塗り
（EP-T）

11.
ウレタン樹脂ワニス塗り
（UC）

12.
ラッカーエナメル塗り
（LE）

13.
オイルステイン塗り
（OS）

14.
木材保護塗料塗り
（WP）

19
R
材
工
事

2
ビニル床シート張り
ビニル床タイル
及びゴム床タイル張り

・化粧ビニル
床シート

・ビニル床
タイル

・特殊機能床材

・ビニル幅木

・接着剤

3
カーペット敷き

①
材 料

②
素地ごしらえ

③
錆止め
塗料塗り

4.
合成樹脂調合
ペイント塗り
（SOP）

5.
クリアラック
ー塗り（C.L）

6.
アクリル樹脂系
非水分散形塗料塗り
（NAD）

⑦
耐候性塗料塗り
（DP）

8.
つや有り合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP-G）

9.
合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP）

10.
合成樹脂
エマルション模様
塗料塗り
（EP-T）

11.
ウレタン樹脂ワニス塗り
（UC）

12.
ラッカーエナメル塗り
（LE）

13.
オイルステイン塗り
（OS）

14.
木材保護塗料塗り
（WP）

19
R
材
工
事

2
ビニル床シート張り
ビニル床タイル
及びゴム床タイル張り

・化粧ビニル
床シート

・ビニル床
タイル

・特殊機能床材

・ビニル幅木

・接着剤

3
カーペット敷き

①
材 料

②
素地ごしらえ

③
錆止め
塗料塗り

4.
合成樹脂調合
ペイント塗り
（SOP）

5.
クリアラック
ー塗り（C.L）

6.
アクリル樹脂系
非水分散形塗料塗り
（NAD）

⑦
耐候性塗料塗り
（DP）

8.
つや有り合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP-G）

9.
合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP）

10.
合成樹脂
エマルション模様
塗料塗り
（EP-T）

11.
ウレタン樹脂ワニス塗り
（UC）

12.
ラッカーエナメル塗り
（LE）

13.
オイルステイン塗り
（OS）

14.
木材保護塗料塗り
（WP）

19
R
材
工
事

2
ビニル床シート張り
ビニル床タイル
及びゴム床タイル張り

・化粧ビニル
床シート

・ビニル床
タイル

・特殊機能床材

・ビニル幅木

・接着剤

3
カーペット敷き

①
材 料

②
素地ごしらえ

③
錆止め
塗料塗り

4.
合成樹脂調合
ペイント塗り
（SOP）

5.
クリアラック
ー塗り（C.L）

6.
アクリル樹脂系
非水分散形塗料塗り
（NAD）

⑦
耐候性塗料塗り
（DP）

8.
つや有り合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP-G）

9.
合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP）

10.
合成樹脂
エマルション模様
塗料塗り
（EP-T）

11.
ウレタン樹脂ワニス塗り
（UC）

12.
ラッカーエナメル塗り
（LE）

13.
オイルステイン塗り
（OS）

14.
木材保護塗料塗り
（WP）

19
R
材
工
事

2
ビニル床シート張り
ビニル床タイル
及びゴム床タイル張り

・化粧ビニル
床シート

・ビニル床
タイル

・特殊機能床材

・ビニル幅木

・接着剤

3
カーペット敷き

①
材 料

②
素地ごしらえ

③
錆止め
塗料塗り

4.
合成樹脂調合
ペイント塗り
（SOP）

5.
クリアラック
ー塗り（C.L）

6.
アクリル樹脂系
非水分散形塗料塗り
（NAD）

⑦
耐候性塗料塗り
（DP）

8.
つや有り合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP-G）

9.
合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP）

10.
合成樹脂
エマルション模様
塗料塗り
（EP-T）

11.
ウレタン樹脂ワニス塗り
（UC）

12.
ラッカーエナメル塗り
（LE）

13.
オイルステイン塗り
（OS）

14.
木材保護塗料塗り
（WP）

19
R
材
工
事

2
ビニル床シート張り
ビニル床タイル
及びゴム床タイル張り

・化粧ビニル
床シート

・ビニル床
タイル

・特殊機能床材

・ビニル幅木

・接着剤

3
カーペット敷き

①
材 料

②
素地ごしらえ

③
錆止め
塗料塗り

4.
合成樹脂調合
ペイント塗り
（SOP）

5.
クリアラック
ー塗り（C.L）

6.
アクリル樹脂系
非水分散形塗料塗り
（NAD）

⑦
耐候性塗料塗り
（DP）

8.
つや有り合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP-G）

9.
合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP）

10.
合成樹脂
エマルション模様
塗料塗り
（EP-T）

11.
ウレタン樹脂ワニス塗り
（UC）

12.
ラッカーエナメル塗り
（LE）

13.
オイルステイン塗り
（OS）

14.
木材保護塗料塗り
（WP）

19
R
材
工
事

2
ビニル床シート張り
ビニル床タイル
及びゴム床タイル張り

・化粧ビニル
床シート

・ビニル床
タイル

・特殊機能床材

・ビニル幅木

・接着剤

3
カーペット敷き

①
材 料

②
素地ごしらえ

③
錆止め
塗料塗り

4.
合成樹脂調合
ペイント塗り
（SOP）

5.
クリアラック
ー塗り（C.L）

6.
アクリル樹脂系
非水分散形塗料塗り
（NAD）

⑦
耐候性塗料塗り
（DP）

8.
つや有り合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP-G）

9.
合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP）

10.
合成樹脂
エマルション模様
塗料塗り
（EP-T）

11.
ウレタン樹脂ワニス塗り
（UC）

12.
ラッカーエナメル塗り
（LE）

13.
オイルステイン塗り
（OS）

14.
木材保護塗料塗り
（WP）

19
R
材
工
事

2
ビニル床シート張り
ビニル床タイル
及びゴム床タイル張り

・化粧ビニル
床シート

・ビニル床
タイル

・特殊機能床材

・ビニル幅木

・接着剤

3
カーペット敷き

①
材 料

②
素地ごしらえ

③
錆止め
塗料塗り

4.
合成樹脂調合
ペイント塗り
（SOP）

5.
クリアラック
ー塗り（C.L）

6.
アクリル樹脂系
非水分散形塗料塗り
（NAD）

⑦
耐候性塗料塗り
（DP）

8.
つや有り合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP-G）

9.
合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP）

10.
合成樹脂
エマルション模様
塗料塗り
（EP-T）

11.
ウレタン樹脂ワニス塗り
（UC）

12.
ラッカーエナメル塗り
（LE）

13.
オイルステイン塗り
（OS）

14.
木材保護塗料塗り
（WP）

19
R
材
工
事

2
ビニル床シート張り
ビニル床タイル
及びゴム床タイル張り

・化粧ビニル
床シート

・ビニル床
タイル

・特殊機能床材

・ビニル幅木

・接着剤

3
カーペット敷き

①
材 料

②
素地ごしらえ

③
錆止め
塗料塗り

4.
合成樹脂調合
ペイント塗り
（SOP）

5.
クリアラック
ー塗り（C.L）

6.
アクリル樹脂系
非水分散形塗料塗り
（NAD）

⑦
耐候性塗料塗り
（DP）

8.
つや有り合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP-G）

9.
合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP）

10.
合成樹脂
エマルション模様
塗料塗り
（EP-T）

11.
ウレタン樹脂ワニス塗り
（UC）

12.
ラッカーエナメル塗り
（LE）

13.
オイルステイン塗り
（OS）

14.
木材保護塗料塗り
（WP）

19
R
材
工
事

2
ビニル床シート張り
ビニル床タイル
及びゴム床タイル張り

・化粧ビニル
床シート

・ビニル床
タイル

・特殊機能床材

・ビニル幅木

・接着剤

3
カーペット敷き

①
材 料

②
素地ごしらえ

③
錆止め
塗料塗り

4.
合成樹脂調合
ペイント塗り
（SOP）

5.
クリアラック
ー塗り（C.L）

6.
アクリル樹脂系
非水分散形塗料塗り
（NAD）

⑦
耐候性塗料塗り
（DP）

8.
つや有り合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP-G）

9.
合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP）

10.
合成樹脂
エマルション模様
塗料塗り
（EP-T）

11.
ウレタン樹脂ワニス塗り
（UC）

12.
ラッカーエナメル塗り
（LE）

13.
オイルステイン塗り
（OS）

14.
木材保護塗料塗り
（WP）

19
R
材
工
事

2
ビニル床シート張り
ビニル床タイル
及びゴム床タイル張り

・化粧ビニル
床シート

・ビニル床
タイル

・特殊機能床材

・ビニル幅木

・接着剤

3
カーペット敷き

①
材 料

②
素地ごしらえ

③
錆止め
塗料塗り

4.
合成樹脂調合
ペイント塗り
（SOP）

5.
クリアラック
ー塗り（C.L）

6.
アクリル樹脂系
非水分散形塗料塗り
（NAD）

⑦
耐候性塗料塗り
（DP）

8.
つや有り合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP-G）

9.
合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP）

10.
合成樹脂
エマルション模様
塗料塗り
（EP-T）

11.
ウレタン樹脂ワニス塗り
（UC）

12.
ラッカーエナメル塗り
（LE）

13.
オイルステイン塗り
（OS）

14.
木材保護塗料塗り
（WP）

19
R
材
工
事

2
ビニル床シート張り
ビニル床タイル
及びゴム床タイル張り

・化粧ビニル
床シート

・ビニル床
タイル

・特殊機能床材

・ビニル幅木

・接着剤

3
カーペット敷き

①
材 料

②
素地ごしらえ

③
錆止め
塗料塗り

4.
合成樹脂調合
ペイント塗り
（SOP）

5.
クリアラック
ー塗り（C.L）

6.
アクリル樹脂系
非水分散形塗料塗り
（NAD）

⑦
耐候性塗料塗り
（DP）

8.
つや有り合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP-G）

9.
合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP）

10.
合成樹脂
エマルション模様
塗料塗り
（EP-T）

11.
ウレタン樹脂ワニス塗り
（UC）

12.
ラッカーエナメル塗り
（LE）

13.
オイルステイン塗り
（OS）

14.
木材保護塗料塗り
（WP）

19
R
材
工
事

2
ビニル床シート張り
ビニル床タイル
及びゴム床タイル張り

・化粧ビニル
床シート

・ビニル床
タイル

・特殊機能床材

・ビニル幅木

・接着剤

3
カーペット敷き

①
材 料

②
素地ごしらえ

③
錆止め
塗料塗り

4.
合成樹脂調合
ペイント塗り
（SOP）

5.
クリアラック
ー塗り（C.L）

6.
アクリル樹脂系
非水分散形塗料塗り
（NAD）

⑦
耐候性塗料塗り
（DP）

8.
つや有り合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP-G）

9.
合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP）

10.
合成樹脂
エマルション模様
塗料塗り
（EP-T）

11.
ウレタン樹脂ワニス塗り
（UC）

12.
ラッカーエナメル塗り
（LE）

13.
オイルステイン塗り
（OS）

14.
木材保護塗料塗り
（WP）

19
R
材
工
事

2
ビニル床シート張り
ビニル床タイル
及びゴム床タイル張り

・化粧ビニル
床シート

・ビニル床
タイル

・特殊機能床材

・ビニル幅木

・接着剤

3
カーペット敷き

①
材 料

②
素地ごしらえ

③
錆止め
塗料塗り

4.
合成樹脂調合
ペイント塗り
（SOP）

5.
クリアラック
ー塗り（C.L）

6.
アクリル樹脂系
非水分散形塗料塗り
（NAD）

⑦
耐候性塗料塗り
（DP）

8.
つや有り合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP-G）

9.
合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP）

10.
合成樹脂
エマルション模様
塗料塗り
（EP-T）

11.
ウレタン樹脂ワニス塗り
（UC）

12.
ラッカーエナメル塗り
（LE）

13.
オイルステイン塗り
（OS）

14.
木材保護塗料塗り
（WP）

19
R
材
工
事

2
ビニル床シート張り
ビニル床タイル
及びゴム床タイル張り

・化粧ビニル
床シート

・ビニル床
タイル

・特殊機能床材

・ビニル幅木

・接着剤

3
カーペット敷き

①
材 料

②
素地ごしらえ

③
錆止め
塗料塗り

4.
合成樹脂調合
ペイント塗り
（SOP）

5.
クリアラック
ー塗り（C.L）

6.
アクリル樹脂系
非水分散形塗料塗り
（NAD）

⑦
耐候性塗料塗り
（DP）

8.
つや有り合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP-G）

9.
合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP）

10.
合成樹脂
エマルション模様
塗料塗り
（EP-T）

11.
ウレタン樹脂ワニス塗り
（UC）

12.
ラッカーエナメル塗り
（LE）

13.
オイルステイン塗り
（OS）

14.
木材保護塗料塗り
（WP）

19
R
材
工
事

2
ビニル床シート張り
ビニル床タイル
及びゴム床タイル張り

・化粧ビニル
床シート

・ビニル床
タイル

・特殊機能床材

・ビニル幅木

・接着剤

3
カーペット敷き

①
材 料

②
素地ごしらえ

③
錆止め
塗料塗り

4.
合成樹脂調合
ペイント塗り
（SOP）

5.
クリアラック
ー塗り（C.L）

6.
アクリル樹脂系
非水分散形塗料塗り
（NAD）

⑦
耐候性塗料塗り
（DP）

8.
つや有り合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP-G）

9.
合成樹脂
エマルションペイント塗り
（EP）

10.
合成樹脂
エマルション模様
塗料塗り
（EP-T）

11.
ウレタン樹脂ワニス塗り
（UC）

12.
ラッカーエナメル塗り
（LE）

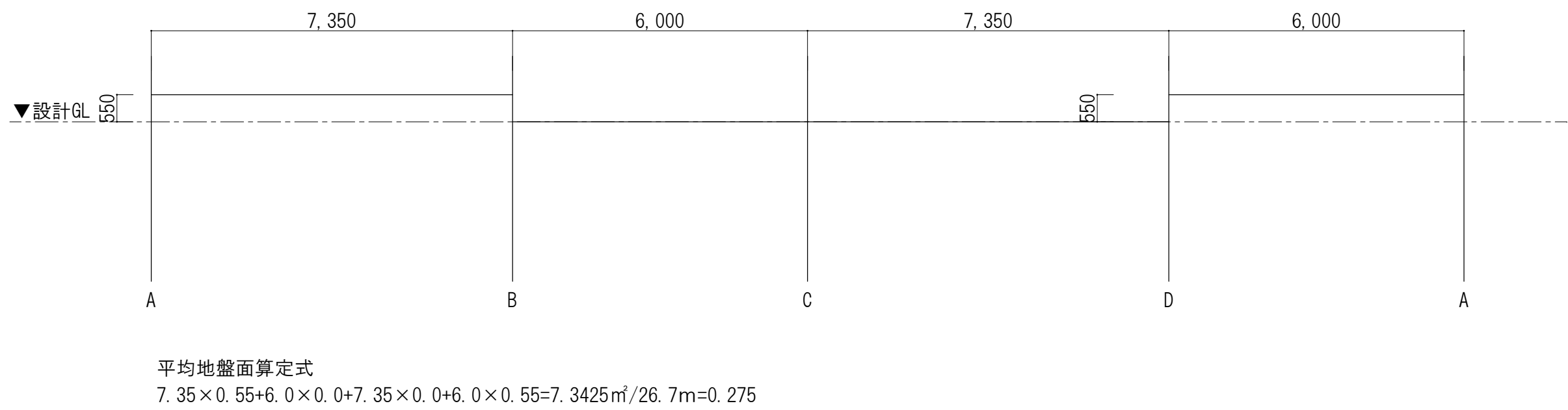
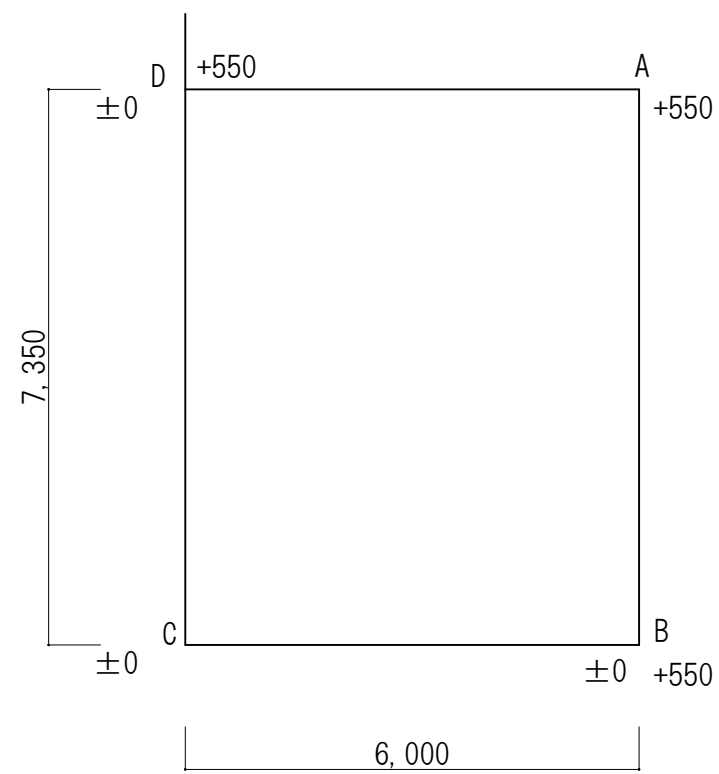
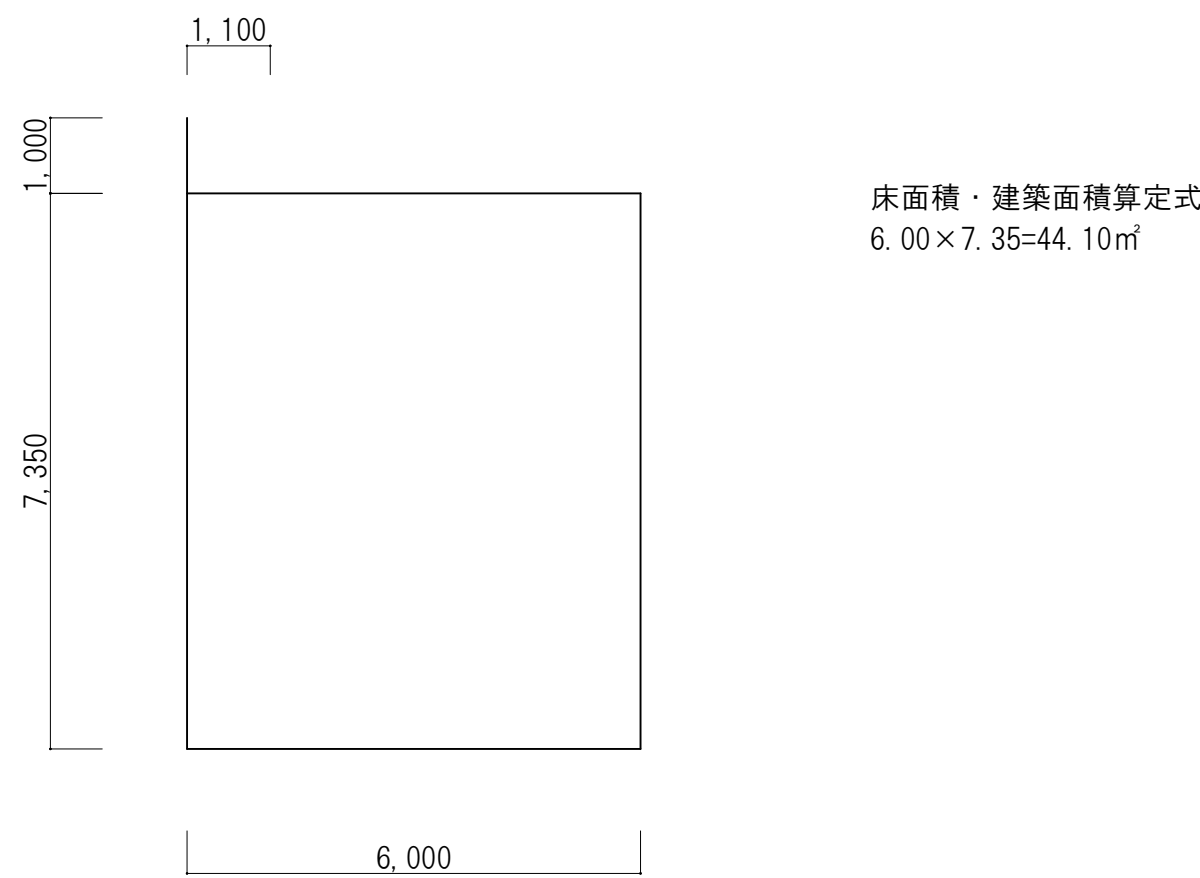
フリーアクセスフロア その他のSH工事	2	可動間仕切	(20.2.2)						
			施工箇所	構 法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備 考
				・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
				・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
				・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
			5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。						
			表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・図示 コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) コンセントの箇所数は図示 配線用取り出しパネル 配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上 フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20～30% 空調用吹き出しパネル ※無し ・有り (※固定式 ・可変式 ：施工箇所は図示)						
			(20.2.3)						
			構造形式	パネル部の 総厚さ (mm)	表面材種 厚さ (mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能	
			・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式	・60	※鋼板 (※0.6・0.8)	※メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け ・	・あり () ・なし	・あり () ・なし	
3	移動間仕切	(20.2.4)							
		遮音性能	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法			
		・一般タイプ		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・部分電動式	・電動式		
		・遮音タイプ (36db以上)		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・部分電動式	・電動式		
		表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による 遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する							
		(20.2.5)							
		表面仕上げ材	※メラミン樹脂系化粧板 (標準色 アルミ製コーナーエッジ付き) ・ポリエステル樹脂系化粧板						
		足形状	※幅木型 ・足金物型						
		4	トイレブース	(20.2.6)					
				材 種	ステンレスSUS304				
形 状	ビニルタイヤ入り 両端フラットエンド			※有り (・ステンレス製 ※ビニル製)	・無し				
幅 (mm)	約35								
取付け工法	※接着工法 ・埋込み工法								
(20.2.8)									
種 類	寸法 (mm)			色 彩	備 考				
・黒板	※焼付け			※緑 ・黒	※平面 ・曲面	・スクリーン付引分			
				※緑 ・黒					
・ホワイト ボード	※ほうろう			※白	※平面 ・曲面	・スクリーン付引分			
8	鏡	(20.2.9)							
		寸法 (mm)	・図示						
		厚さ (mm)	※5						
		(20.2.10)							
		衝突防止表示	※図示 (市販品 ※ステンレス製 径約30mm ・) (・両面 ・片面) ・無し						
		表示標識、案内用図記号についてはJIS Z 8210による 誘導標識、非常用出入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。							
		10	煙突用成形ライニング	(20.2.11)					
				・煙突用成形ライニング材					
				最高使用温度	※650℃	・400℃			
				・キャストアル耐火材					
工 法	※こて押さえ								
最高使用温度	※400℃								
11	ブラインド			(20.2.12)					
				形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)		
				※異型	※ギヤ式 ・コード式	※アルミニウム合金製	※25		
					・操作機式				
		・縦型	・1本操作コード ・2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100				
		(20.2.13)							
		防火性能	※有り						
		施工箇所	装 置	備 考					
			電動 手引						
13	カーテン	(20.2.14)							
		施工箇所	形 式	装 置	ひだの種類	性 能	備 考		
			片引 引分	電動 ひも引 手引					
22	舗装工事	(22.2.1)							
		舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類					
		※アスファルト舗装	※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物					
		・カラー舗装	※無し ・有り						
		カラー舗装の着色骨材 ・有色骨材 (焼成) ・着色骨材 (樹脂被覆) アスファルト ※再生アスファルト (G) ・ストリートアスファルト (22.4.3)							
		加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.4)							
		区分	※一般地域	・寒冷地域					
		表層	※密粒度アスファルト混合物 (13)	※密粒度アスファルト混合物 (13F)					
		・細粒度アスファルト混合物 (13)	・細粒度ギャップアスファルト混合物 (13F)						
		基層	・粗粒度アスファルト混合物 (20)						
シールコート ※行わない ・行う (施工範囲：) (22.4.5)									
アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)									
8	コンクリート舗装	(22.5.3) (表22.5.2～3)							
		早強セメント	※使用しない ・使用する						
		注入材料	※低弾性タイプ ・高弾性タイプ						
		溶接金網	※有り	※無し	(22.5.3～4)				
		厚さ試験	※行わない	行う	(22.5.6)				
		(22.7.4) (22.7.6)							
		アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う							
		(22.8.2～4)							
		種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材				
		※普通平板 (N) ・カラー平板 (C)	※300角	※60	※砂				
・洗出平板 (W) ・掘石平板 (S)			・モルタル						
・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2～4)									
種 類						厚さ (mm)	色彩及び表面加工等		
※標準ブロック		車道部	※80	※標準品					
※透水性ブロック		歩道部	※60						
・誘導、注意喚起用ブロック		誘導、注意喚起用は黄色系とする							
・植生ブロック		※80	・100						
インターロッキングブロック									
項 目		品 質 ・ 性 能							
セメント	JIS R 5210ポルトランドセメント、JIS R 5211高炉セメント、JIS R 5212シリカセメント、JIS R 5213フライアッシュセメント、白色ポルトランドセメントとする。								
	骨材	清潔、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、こみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含んでいない。							
		インターロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない、無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつインターロッキングブロックの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない。							
混和材料	使用上有害なきず、ひびわれ、欠け、変形等がない。								
着色材料									
外観									
寸法許容差 (mm)	長 さ	幅	厚 さ						
普通タイプ	±3	±3	±3						
透水性タイプ	±3	±3	+5～-1						
植生タイプ	±3	±3	±3						
曲げ強度 (N/mm ²)	普通タイプ	普通タイプ		5.0以上					
	透水性タイプ	透水性タイプ		3.0以上					
	植生タイプ	植生タイプ		4.0以上					
透水係数 (cm/sec)	透水性タイプ	透水性タイプ		1×10 ⁻² 以上					
	普通タイプ	普通タイプ		32.0以上					
圧縮強度 (N/mm ²)	普通タイプ	普通タイプ		17.0以上					
	透水性タイプ	透水性タイプ							
・掘石舗装 (22.8.2～4)									
種 類	厚さ (mm)	施工方法		基 層					
※小舗石 (花ご岩)	※80～100	※うろこ張り		※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装					


外部仕上げ表	
屋根	平場:コンクリート金鍍押エ、硬質ウレタンフォームt=50、合成高分子系ルーフィングシート防水断熱仕様 塩化ビニル樹脂系 t=1.5、接着工法（非歩行・遮熱仕様） 立上り:コンクリート下地、硬質ウレタンフォームt=25、合成高分子系ルーフィングシート防水断熱仕様 塩化ビニル樹脂系 t=1.5、接着工法（非歩行・遮熱仕様）
	アルミ製防水押エ金物：L-7×75×125、アルミ 笠木W=400
庇	防水モルタル金鍍押エ、ウレタン塗膜防水(X-2)密着工法 軒裏：合成樹脂エマルジョンシーラーの上下装厚塗材C吹付
樋・ドレイン	堅樋:塩ビ製カラーφ75、ドレイン:鋳鉄製横引ドレイン 75用
外壁	コンクリート打放し下地、断熱材:ビーズ法ポリスチレンフォームt=50、ガラスメッシュ、モルタル塗りプライマーの上アクリル樹脂系仕上塗材
	スロープ接続部：アルミ水切取付
階段	蹴上・踏面:コンクリート金鍍押エ 手摺：φ34.0×2.2 手摺柱：φ27.2×1.9 DP塗装
断熱材	床:押出法ポリスチレンフォームt=50 壁：外壁仕様による 屋根：屋根仕様による
開口部	アルミ引違い窓 鋼製片開扉 アルミ片開扉 動物用シュート扉(ステンレス製) ステンレス片開扉 ステンレス仕切板
ガラス	F4+A12+LE3 TP12+TP12

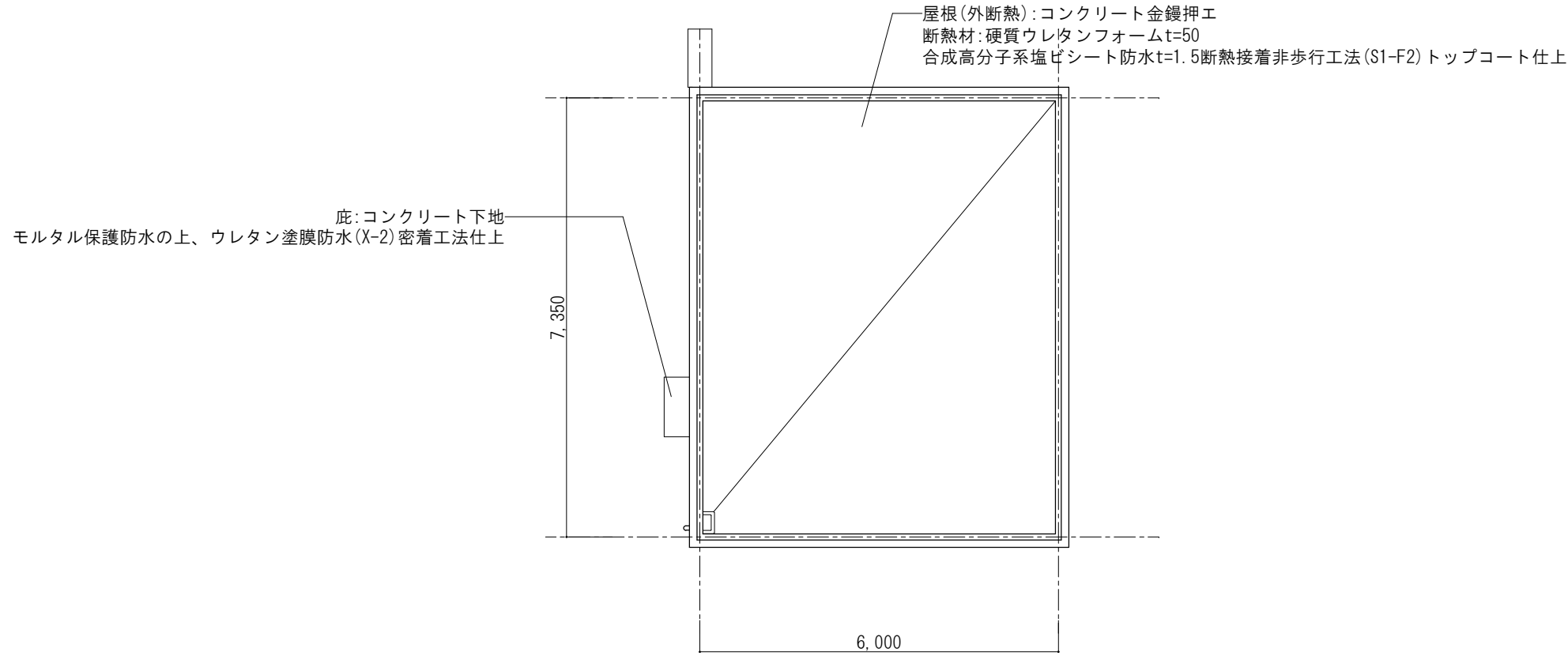
屋外放飼場	
囲壁-A 植栽柵	コンクリート打放し下地モルタル吹付外装厚塗材E吹付 FⅨフロントサッシ(上枠なし) 合わせ強化ガラス取付TP12+TP12 植栽柵:客土H=300程度
囲壁-B	猛獣舎側硬質ウレタンフォームt=25打込 コンクリート打放し下地ウレタン防水(ブラウン色) 水切:ガリバリウム鋼板t=0.4折り曲げ加工
プール	コンクリート金網押エ 排水柵450×600(ステンレス細目グレーチング蓋共) 底版及び側壁ウレタン防水(ブラウン色) プール境界部:モルタル下地外装厚塗材E吹付
擬木柵	擬木φ100 H=1,200 1,500埋込 擬木100角H=1,000 疑板t=20嵌め込み(取外し可)[-40×20×3.0 樹脂ネット取付
目隠し塙	柱:□-75×75×2.3 梁・土台:C-75×45×15×2.3 胴梁:C-60×30×10×2.3 アングルピースL-30×30×3.0 DP塗装 半割丸太Φ120程度(場内伐採木)取付
立木基礎	400角×H300 ボイド型枠φ180穴あけ 立木(場内伐採木)
擬岩	浮島 3.0㎡程度 巣穴 擬木仕上 2,000×1,500×H1,000程度
※プール囲壁コンクリート打設後アクリル塗装を行うこと。	

室名	F L	床	巾木	壁		天井	廻り縁	天井高	備考
				下地	仕上				
作業スペース	+600 ∟ +630	コンクリート金鍍押エ(水勾配)	コンクリート打放しのまま	C	コンクリート打放しのまま	コンクリート打放しのまま	無し	2,290 ∟ 2,340	作業用シンクL=1200 排水樹450角、誘導標識 立柱水栓(機械設備工事)
寝小屋1～3	+600 ∟ +630	コンクリート金鍍押エ(水勾配) ケイ酸質系塗布防水	コンクリート打放し下地 ケイ酸質系塗布防水	C	コンクリート打放しのまま 内壁面:H=750までケイ酸質系塗布防水	コンクリート打放しのまま	無し	2,290 ∟ 2,340	ブルル2ヶ所 排水目皿(固定)(機械設備工事) シュート扉4ヶ所(W450×H500) ステンレス仕切板2ヶ所 AC、第一種換気扇(機械設備工事)
<div> <div> <凡例(下地記号)> <ul style="list-style-type: none"> ・C : コンクリート ・CB : コンクリートブロック t=100・120 ・LGS : 軽量鉄骨下地 壁:65・100型 @303・455、天井:25型(外部) @303・360・19型(内部) @303・360 </div> <div> <内装準不燃・不燃番号> <ul style="list-style-type: none"> ・石膏ボード t=12.5 ・***** </div> <div> 建告第1400号 第1-15 ***** </div> <div> <その他> <ul style="list-style-type: none"> ・塗装仕上げるボードの継目部分は、ジョイントテープなどを使用し目地処理を行うこと。 ・使用材料は、ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ とする。 ・ステンレスは、特記なき限りH1仕上とする。 ・ビニル床シートは、耐湿工法とする。 ・木製造作材仕様は下記のとおりとする。 額縁: MDF 基材(シート化粧) t=25 カーテンボックス: MDF 基材(シート化粧) </div> <div> <メーカーリスト(同等品以上)> <ul style="list-style-type: none"> ・***** 【*****】 </div> </div>									
<div> <div> 天井下地は、屋外LGS25型、屋内LGS19型とする。 </div> <div> ライニング下地はLGS100型とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・手摺・衛生器具・家具等の取付部は下地補強を施す。 </div> <div> 耐水合板はT1とし、合板はT2とする。 </div> <div> 屋内壁外周部・柱型下地は、LGS19型とする。 </div> </div>									

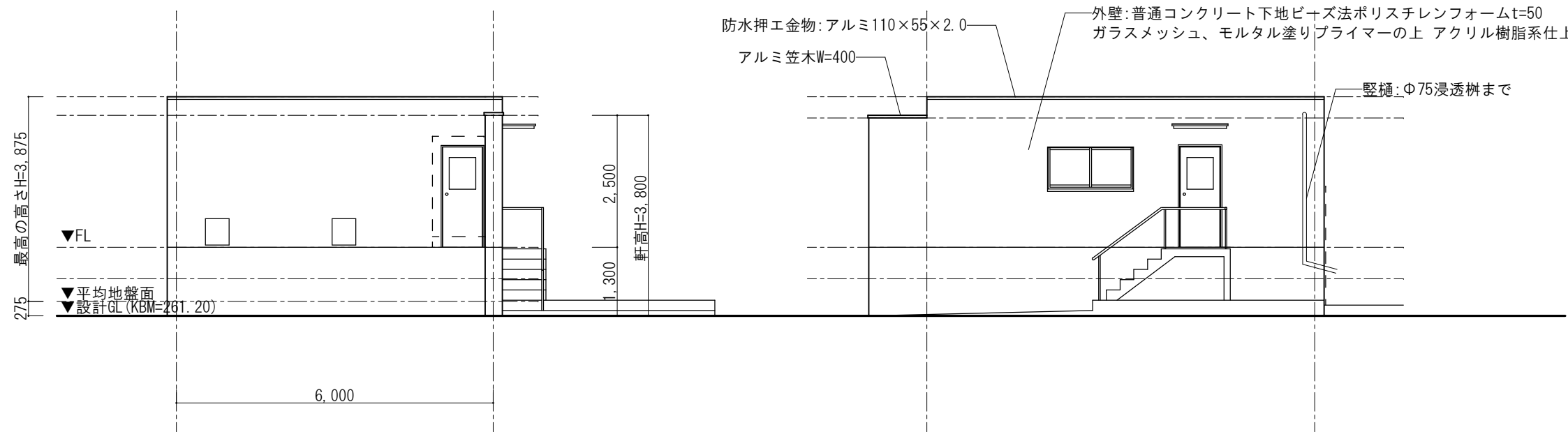
表 1 開口部等に関する数値											
令第126条の2開口部計算						法第28条の2開口部計算		令第111条開口部計算		消防法無窓階チェック	
室名	必要開口面積 (1/50)	有効開口面積 (天井=800以内)	内法高	平均天井高	有効高	必要開口面積 (1/20)	有効開口面積	必要開口面積 (採光有効1/20)	有効開口面積	必要開口面積 (1/30)	有効開口面積
ピーパー舎	44.10/50=0.88	0.8×0.36+(0.75×0.36)×3=1.09	1.900	2.340	360	44.10/20=2.20	0.8×0.75+(0.75×1.9)×3=4.87	44.10/20=2.20	3.0(1.6×0.7)=3.36 採光補正係数3.0	44.10/30=1.47	(0.75×1.9)+(0.75×1.6)=2.62 有窓階とする。



特記事項		 山梨建築設計監理事業協同組合	承認	設計	担当	縮尺	工事名称 遊亀公園附属動物園整備(建築主体)工事 図面名称 内外仕上表・法チェック・面積算定(ビーバー舎)	A-05 No.
						A1→1/100 A3→1/200 設計年月日 2023. 03. 31		

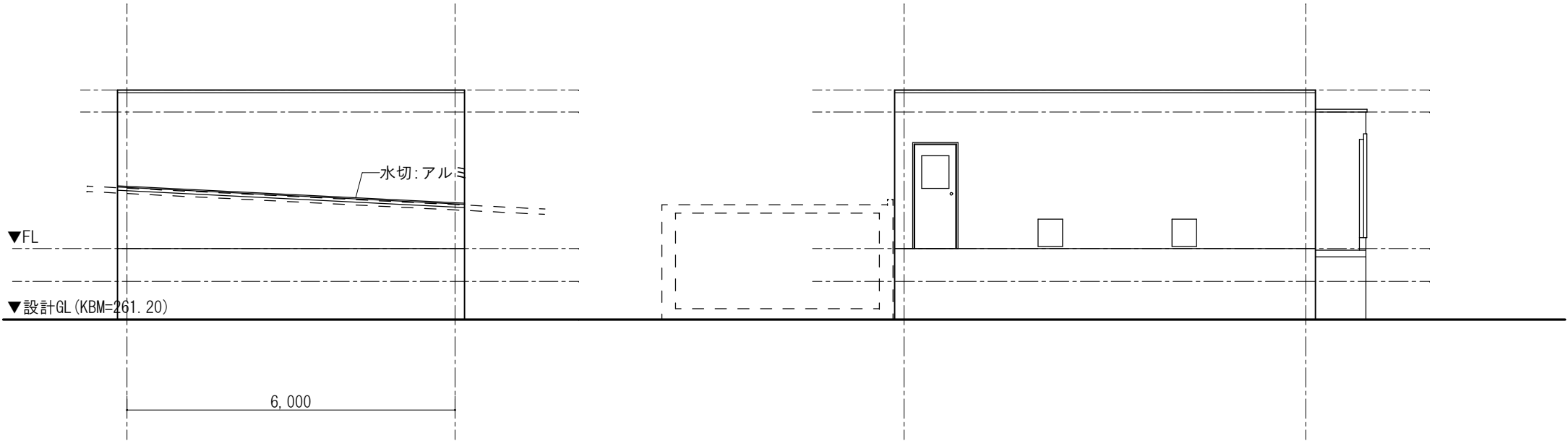


屋根伏図 S=1/100



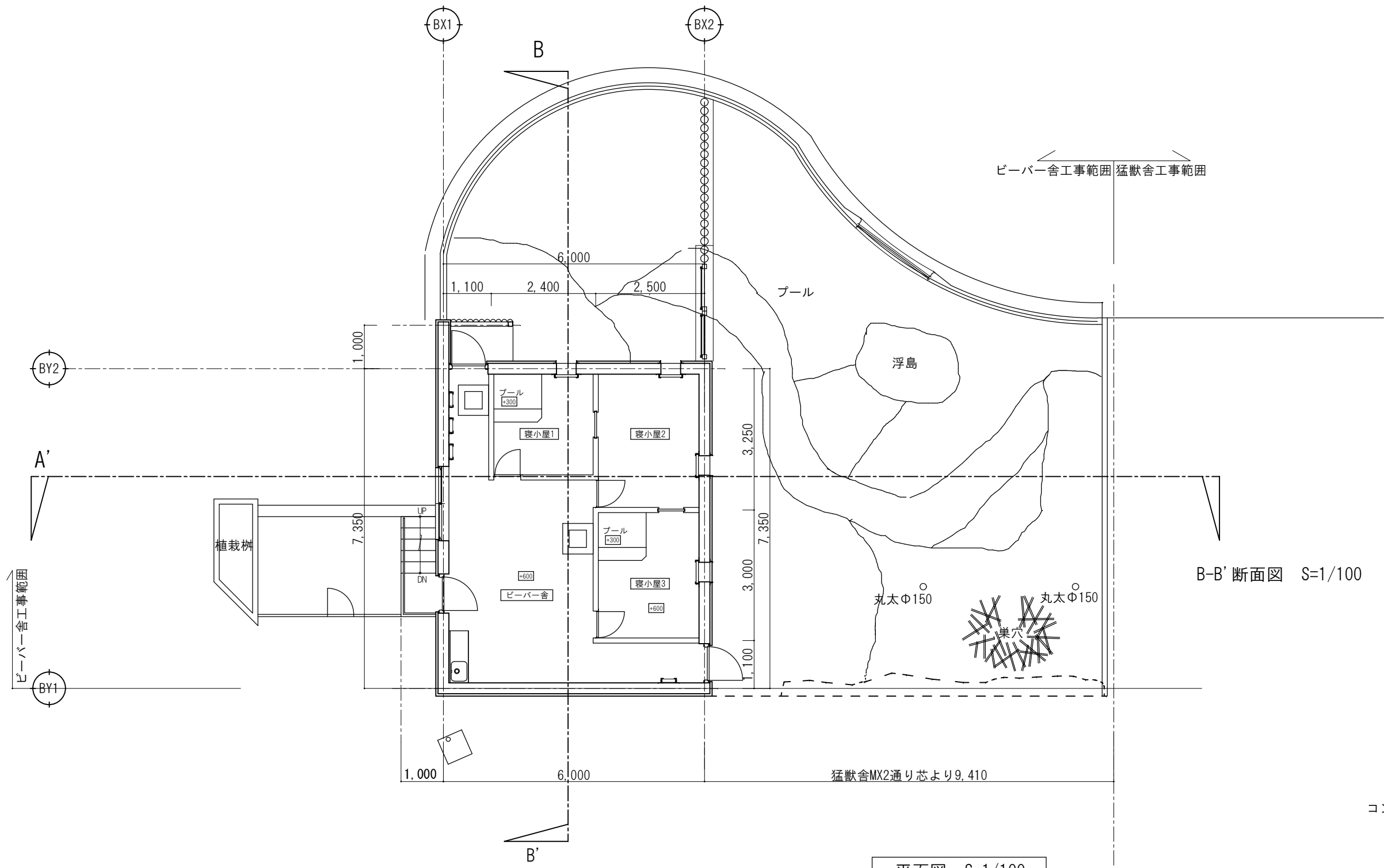
北側立面図 S=1/100

西側立面図 S=1/100



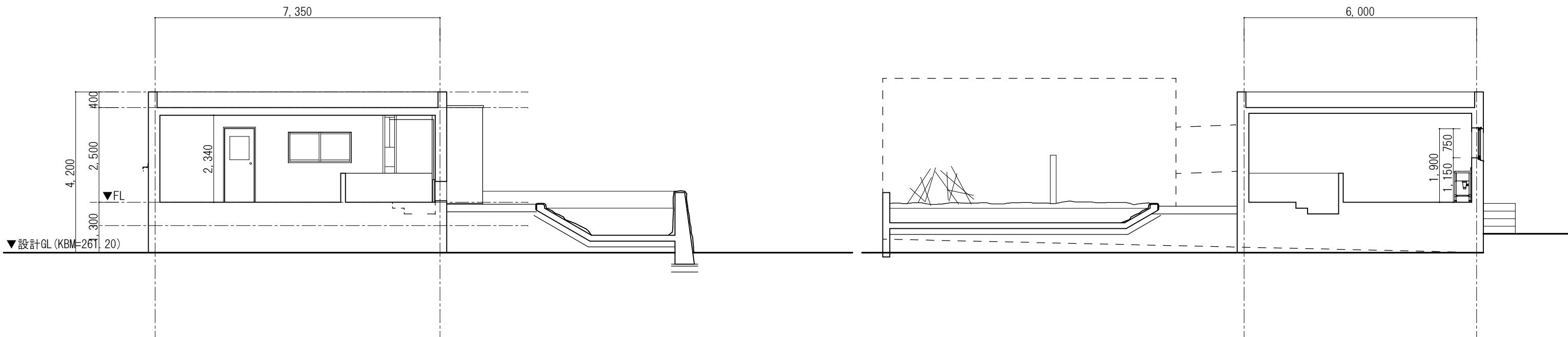
南側立面図 S=1/100

東側立面図 S=1/100



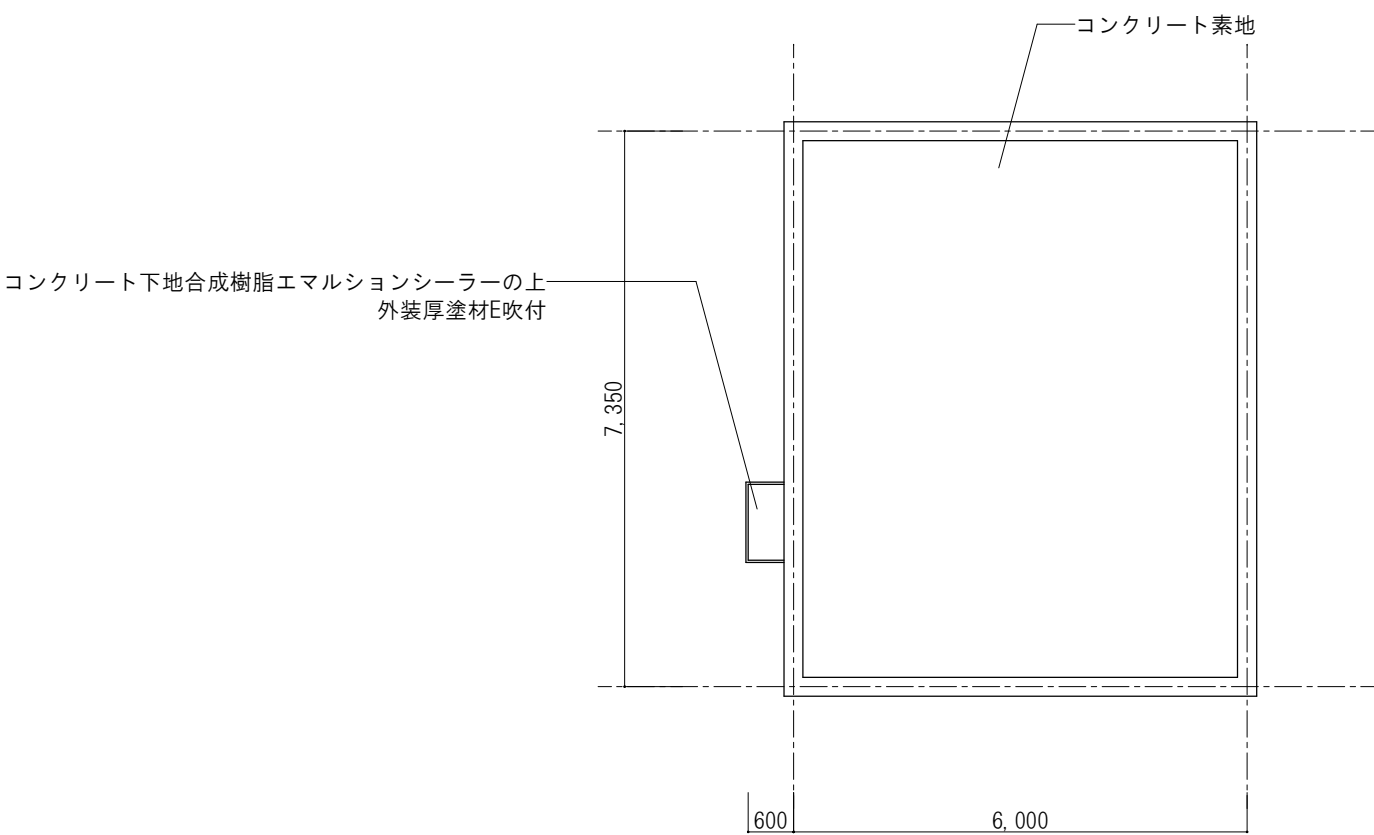
B-B' 断面図 S=1/100

平面図 S=1/100



B-B' 断面図 S=1/100

A-A' 断面図 S=1/100



天井伏図 S=1/100

※プールはコンクリートのアク抜きを行うこと。
薬剤は使用しないこと。



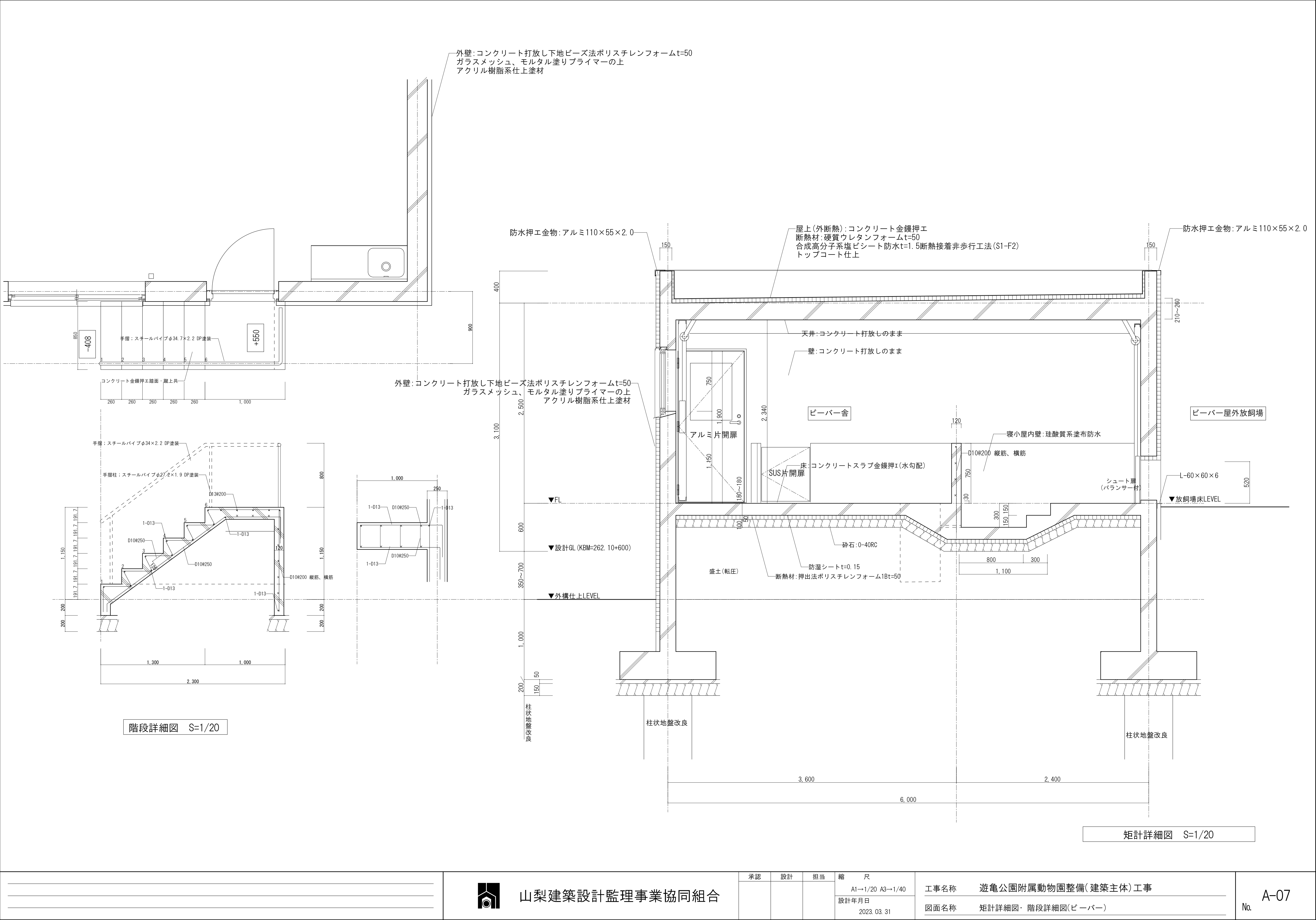
山梨建築設計監理事業協同組合

承認	設計	担当	縮 尺
			A1→1/100 A3→1/200
			設計年月日 2023. 03. 31

工事名称 遊亀公園附属動物園整備(建築主体)工事

図面名称 平面図・立面図・断面図・屋根伏図・天井伏図(ビーバー)

A-06
No.



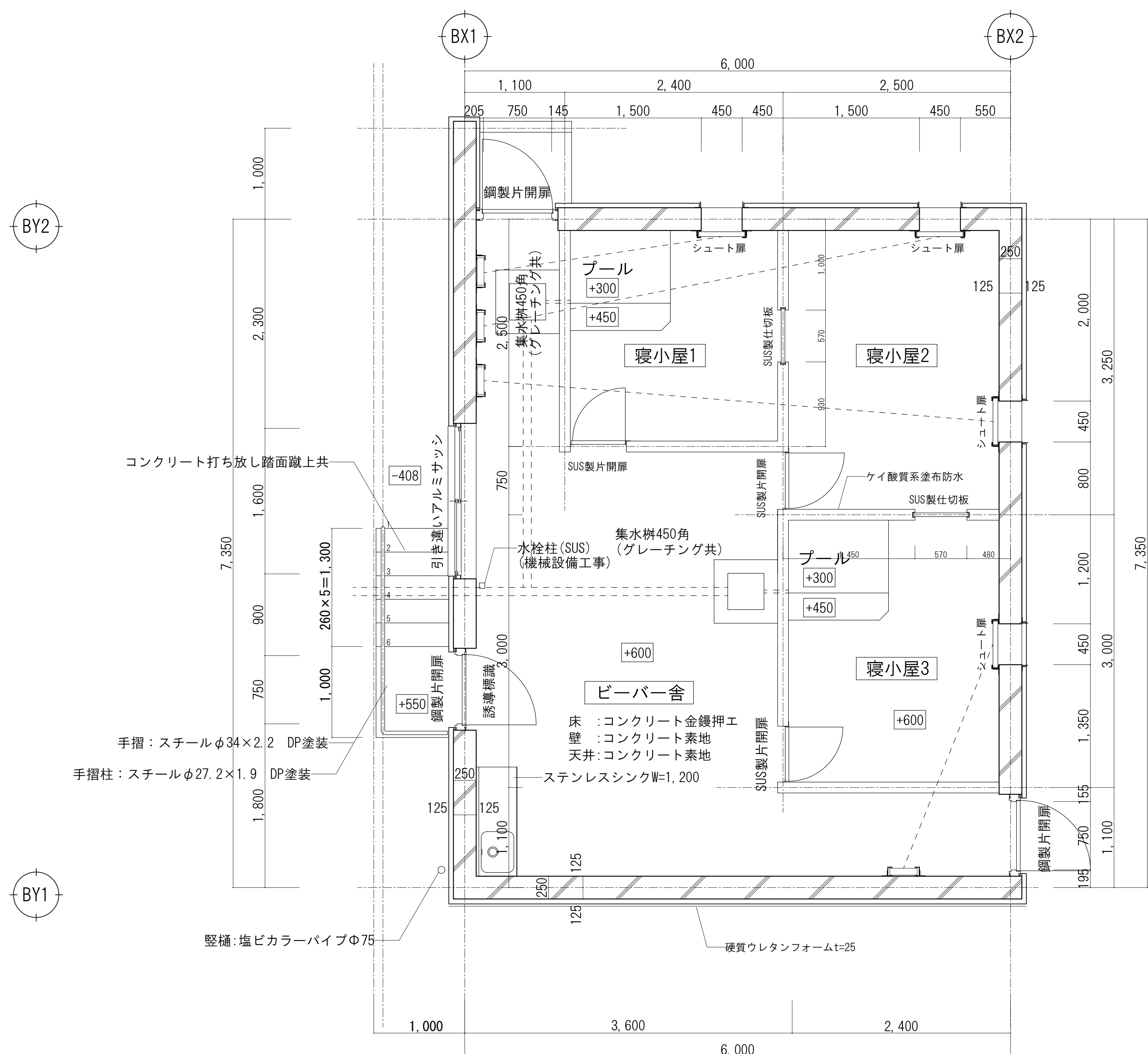


山梨建築設計監理事業協同組合

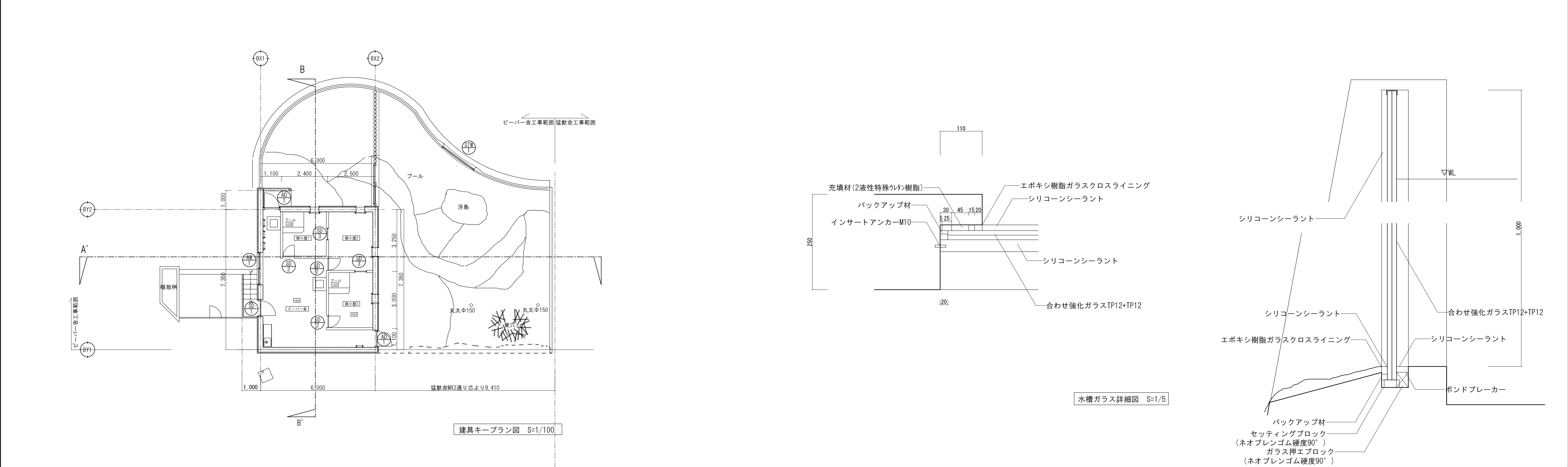
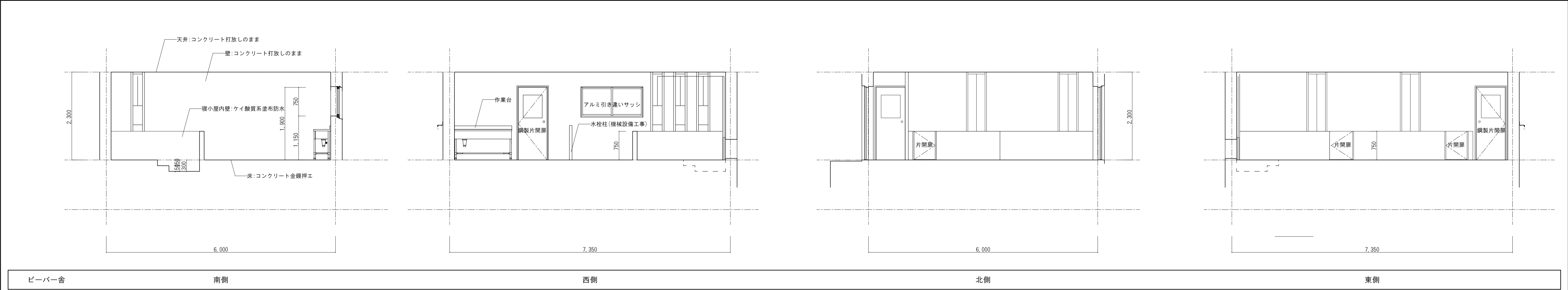
承認	設計	担当	縮尺
			A1→1/20 A3→1/40
			設計年月日 2023. 03. 31

工事名称	遊亀公園附属動物園整備(建築主体)工事
図面名称	矩計詳細図・階段詳細図(ビーバー)

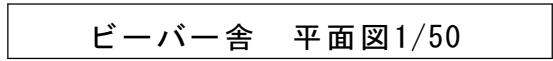
A-07
No.



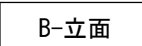
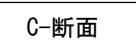
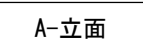
平面詳細図 S=1/30



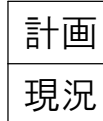
記号・数量	<div>④</div> <div>1</div>	<div>⑤</div> <div>1</div>	<div>⑥</div> <div>2</div>	<div>⑦</div> <div>1</div>	<div>⑧</div> <div>3</div>	<div>⑨</div> <div>2</div>
形状						
	▽設計図	▽設計図	▽設計図	▽設計図	▽設計図	▽設計図
場所	ビーバー舎	屋外放飼場	ビーバー舎	ビーバー舎	寝小屋	寝小屋
形式・見込	アルミ樹脂複合引き違いサッシ	70	アルミ片開き扉扉	70	ステンレス片開扉	ステンレス仕切板
材質・仕上	アルミ+樹脂(カラー)	70	アルミ(カラー)	70	SUS304 t=0.8両面張り	SUS304 t=0.8両面張り
硝子	F 74.0 + A12 + LE 73.0 複層ガラス	TP 712.0 +TP 712.0 強化合わせガラス	上部 FL 73.0 + A12 + LE 73.0 複層ガラス 下部:アルミ断熱パネル	F 74.0 単板ガラス	SUS304 t=0.8両面張り	SUS304 t=0.8両面張り
金物	標準金物一式 水切		標準金物一式 丁番 ステンレスフラット下枠ドアクローザー 握玉錠	標準金物一式 本締錠 ピボットヒンジ ステンレス枠 ドアクローザー 戸当	丁番、ストロングラッチ錠	
備考		3成分系シリコンシーラント			戸当 ステンレスL-30×30×2.0	



(製品数量は1台当りの数量を示す。)



(様品数量は1会場の数量を要す)



 山梨建築設計監理事業協同組合	承認	設計	担当	縮 尺	工事名称 遊亀公園附属動物園整備(建築主体)工事 図面名称 屋外放飼場平面図(ビーバー)	A-11 No.
				A1→1/50 A3→1/100		
				設計年月日 2023. 03. 31		

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）

※修正箇所は下線を引くこと

1. 一般事項

- （1）構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- （2）本標準図は、コンクリートの設計基準強度F_c18～F_c27の壁式鉄筋コンクリート造建物に適用する。
- （3）記号

d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値 D…部材の成 R…直径
@…間隔 r…半径 CL…中心線 L_o…部分間の内法距離 h_o…部材間の内法高さ
ST…あばら筋 HOOP…帯筋 S, HOOP…補強帯筋 φ…直径

2. 鉄筋加工、かぶり

（1）鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折まげ角度90°はスラブ・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形およびL形梁のキャップタイにのみ用いる。
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上（※4d以上）	8d以上（※4d以上）	
*片持スラブ上端筋の先端鉄筋は、SD295、SD345を使用する。 折曲げ内法寸法Rは、D16以下は、3d以上、D19以上は4d以上				

（2）鉄筋中間部の折曲げ形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内法寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SD295 SD345	D16以下 D19～D25	3d以上 4d以上
	上記以外の鉄筋	SD295 SD345	D16以下 D19～D25	4d以上 6d以上

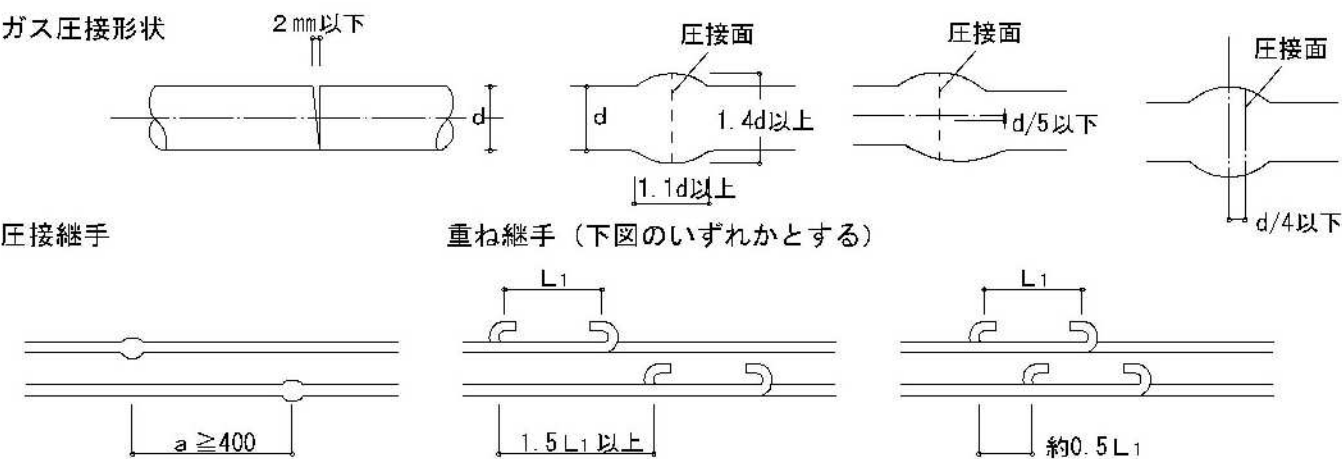
（3）鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通コンクリート 設計基準強度の範囲 (N/mm ²)	定着の長さ			特別の定着及び 重ね継手の長さ (L ₁)
		一般 (L ₂)	下 ば 筋 (L ₃)	ス ラ ブ	
SD295 SD345	21 24 27 18	35d または 25d フックつき 40d または 30d フックつき	25d または 15d フックつき	10d かつ 150mm 以上	40d または 30d フックつき 45d または 35d フックつき

コンクリートは普通F_c=18N/mm²以上27N/mm²以下

継 手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長とする



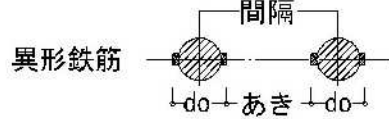
（4）かぶり厚さ（単位：mm）

構 造 部 分	最小かぶり厚さ (mm)	設計かぶり厚さ (mm)
屋根スラブ・床スラブ・非耐力壁	20*	30*
耐力壁・壁梁・小梁	30*	40*
土に接する耐力壁・床スラブ・布基礎の立上り部分 基礎つなぎ梁	40	50
基 礎（捨コンクリート部分は除く）	60	70

〔注〕* 屋外で耐久性上有効な仕上がない場合、10mm増しとする。

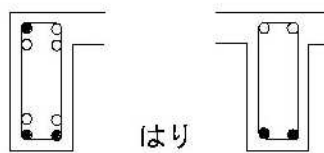
（5）鉄筋のあき

- a. 異形鉄筋では呼び名に用いた数値の1.5d以上
- b. 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mm以上



（6）鉄筋のフック（a～fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。）

- a. 壁長が1m以下の壁横筋の末端
- b. あばら筋、帯筋
- c. 煙突の鉄筋
- d. 柱、梁（基礎梁は除く）の出す部分の鉄筋（右図参照）
- e. 単純梁の下端筋
- f. その他、本配筋標準に記載する箇所

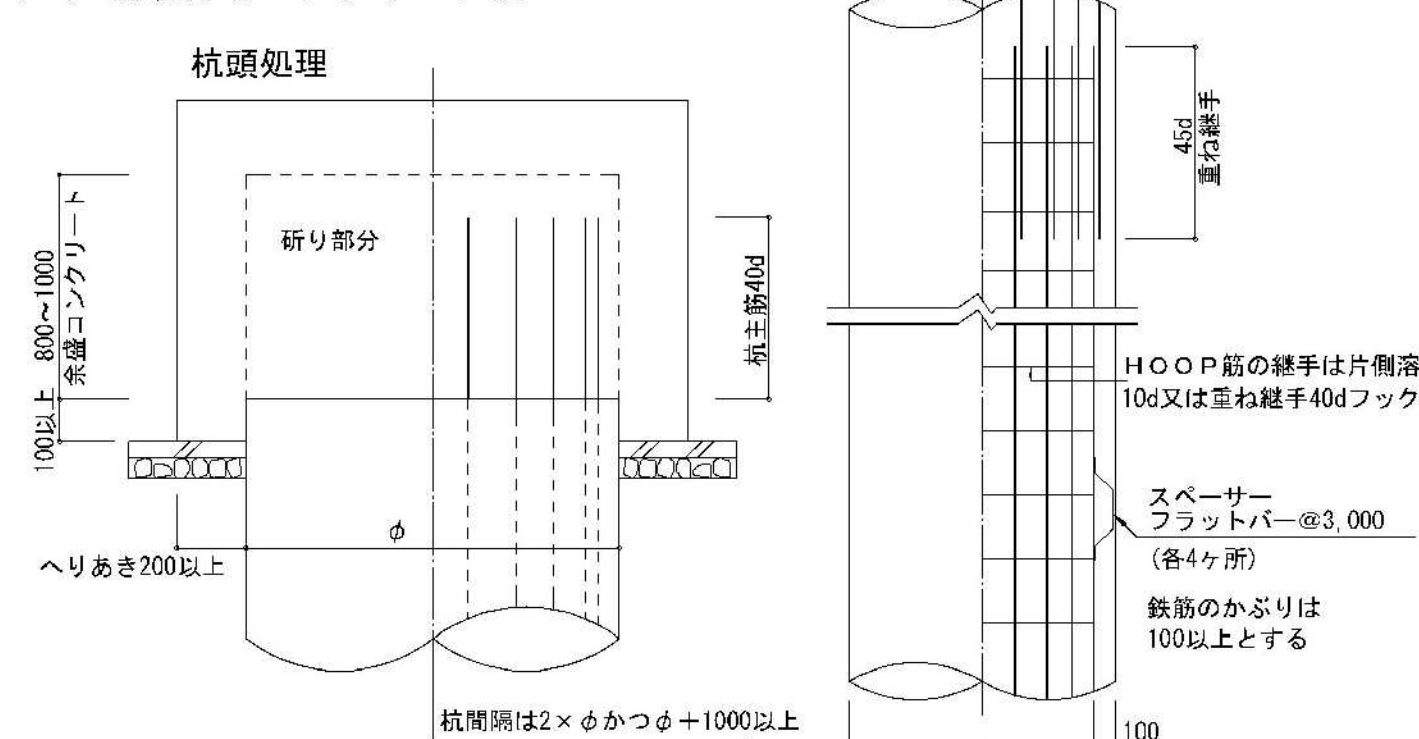


3. 杭（地震力等の水平力を考慮して、別途検討すること。）

（1）PRC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

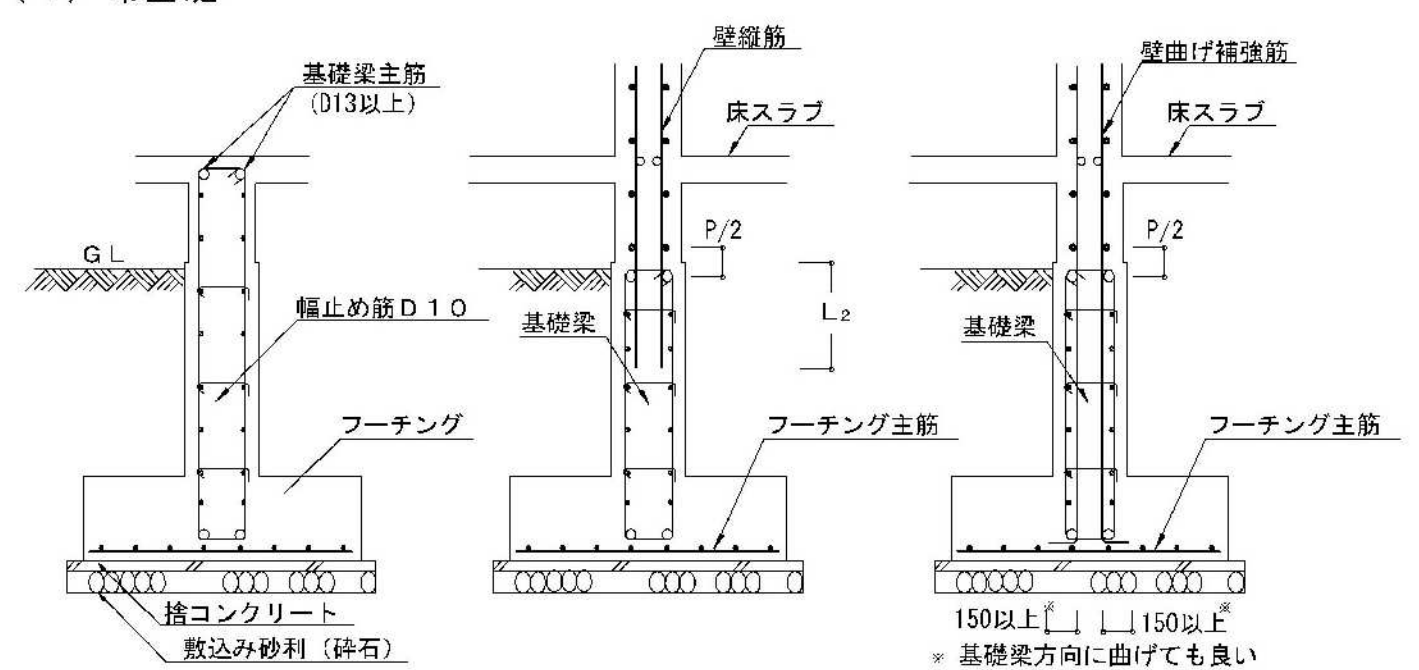
所定の位置に止まった場合		所定より低く止まった場合		
杭 径	300φ、350φ 400φ	450φ	500φ	600φ
補 強 筋	6-D13 8-D13	10-D13	8-D16	10-D16
HOOP		D10-@150		

（2）現場打ちコンクリート杭

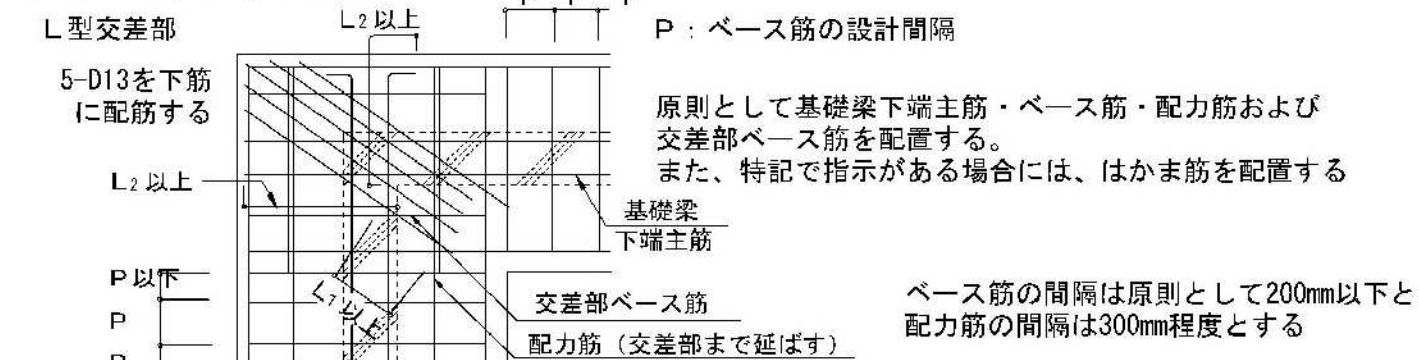


4. 基礎

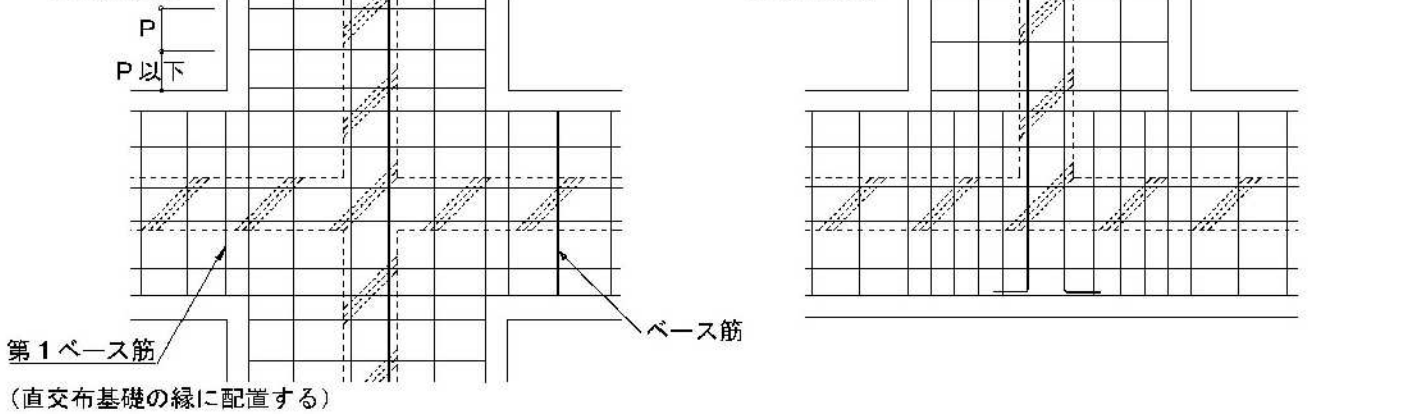
（1）布基礎



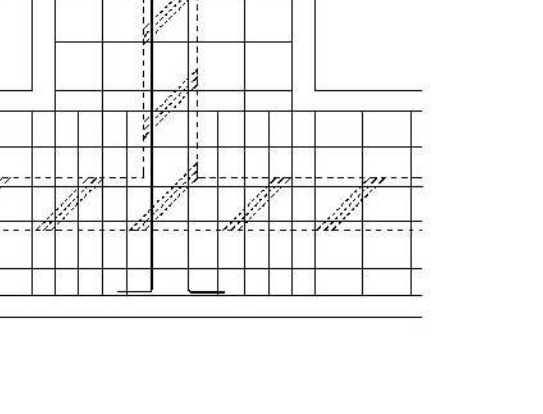
布基礎交差部の配筋（平面）



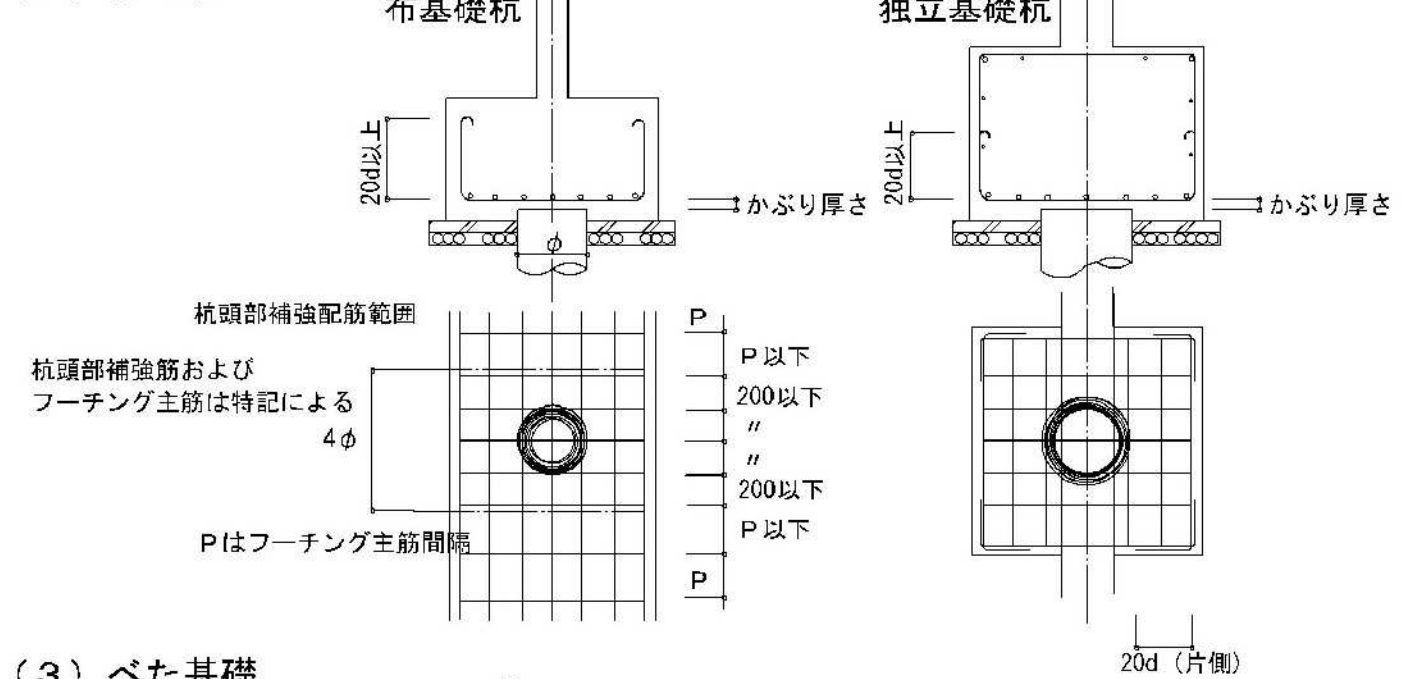
十型交差部



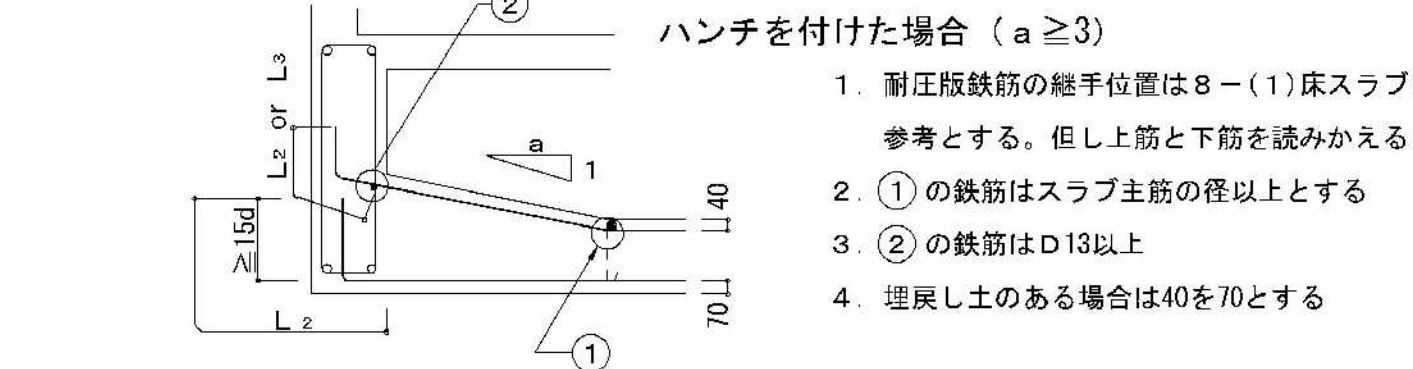
T型交差部



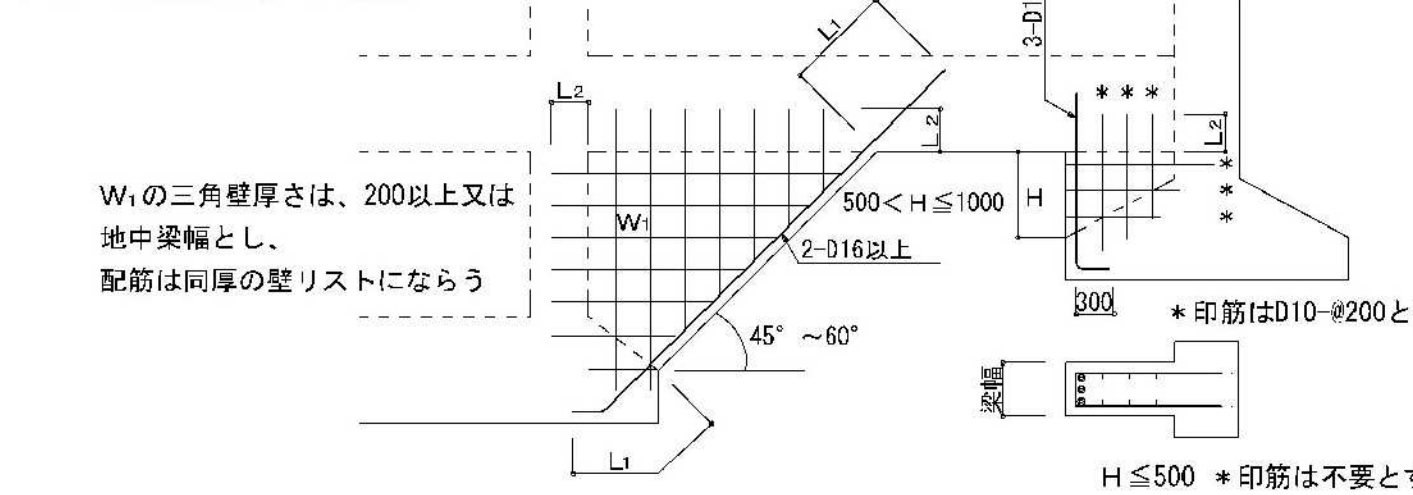
（2）杭基礎



（3）べた基礎

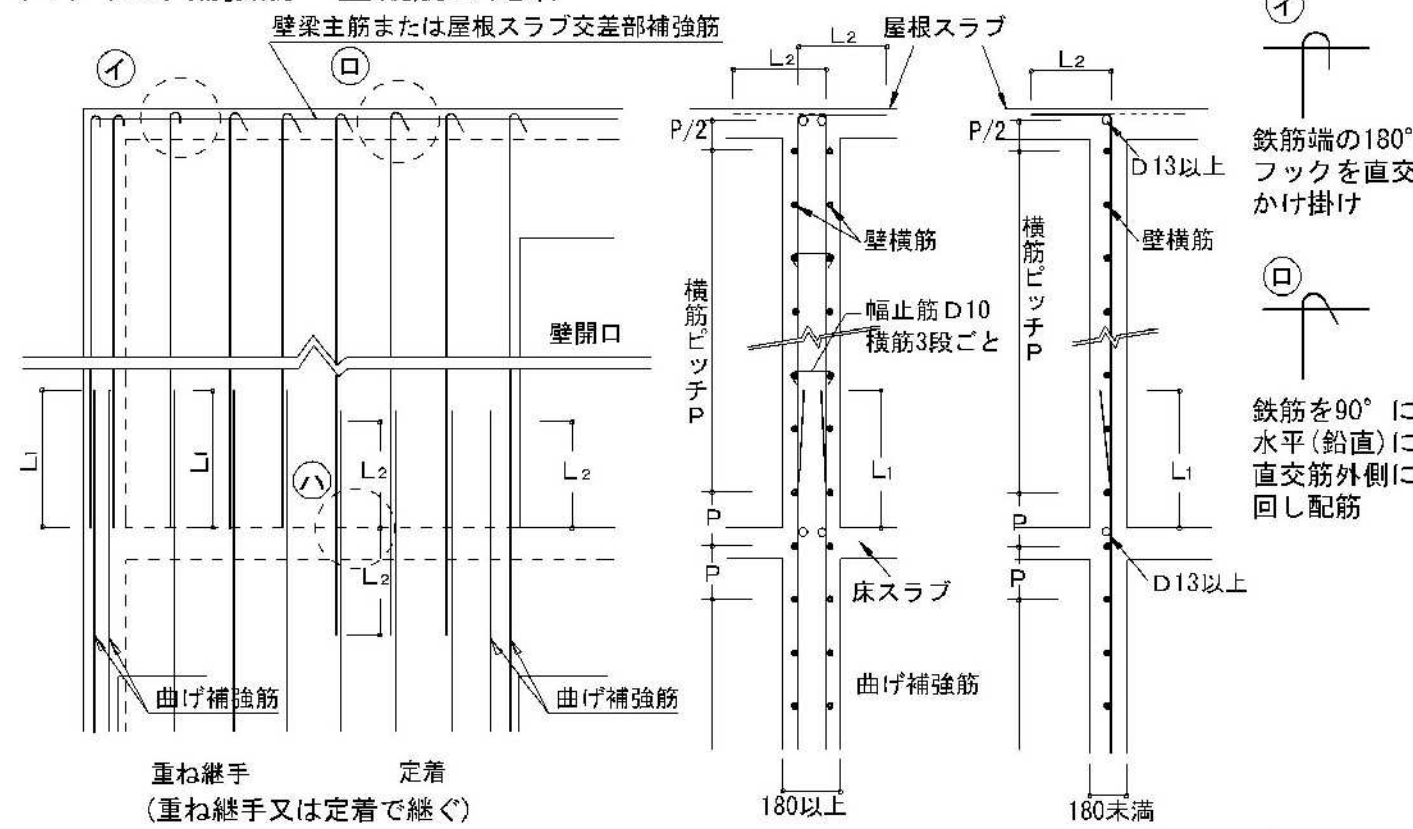


（4）基礎接合部の補強

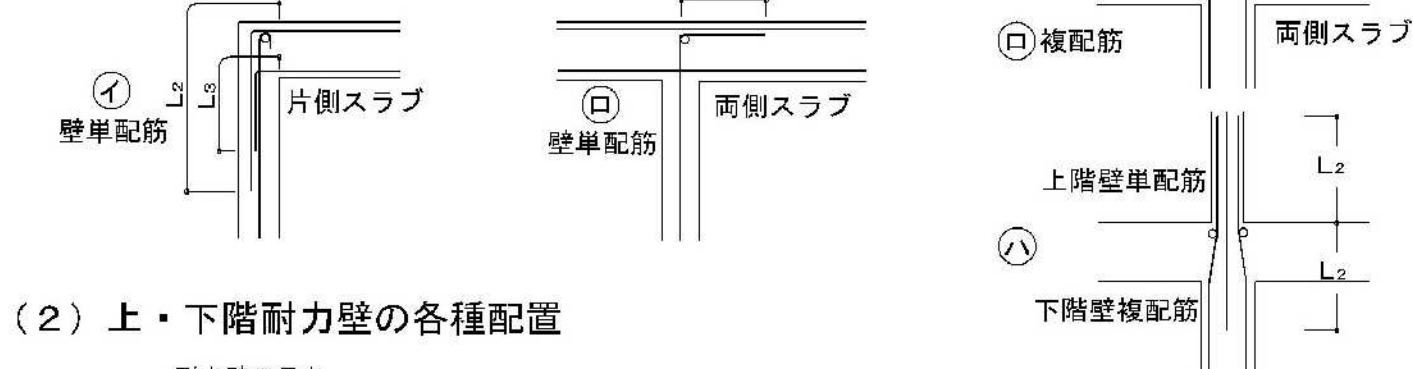


5. 耐力壁

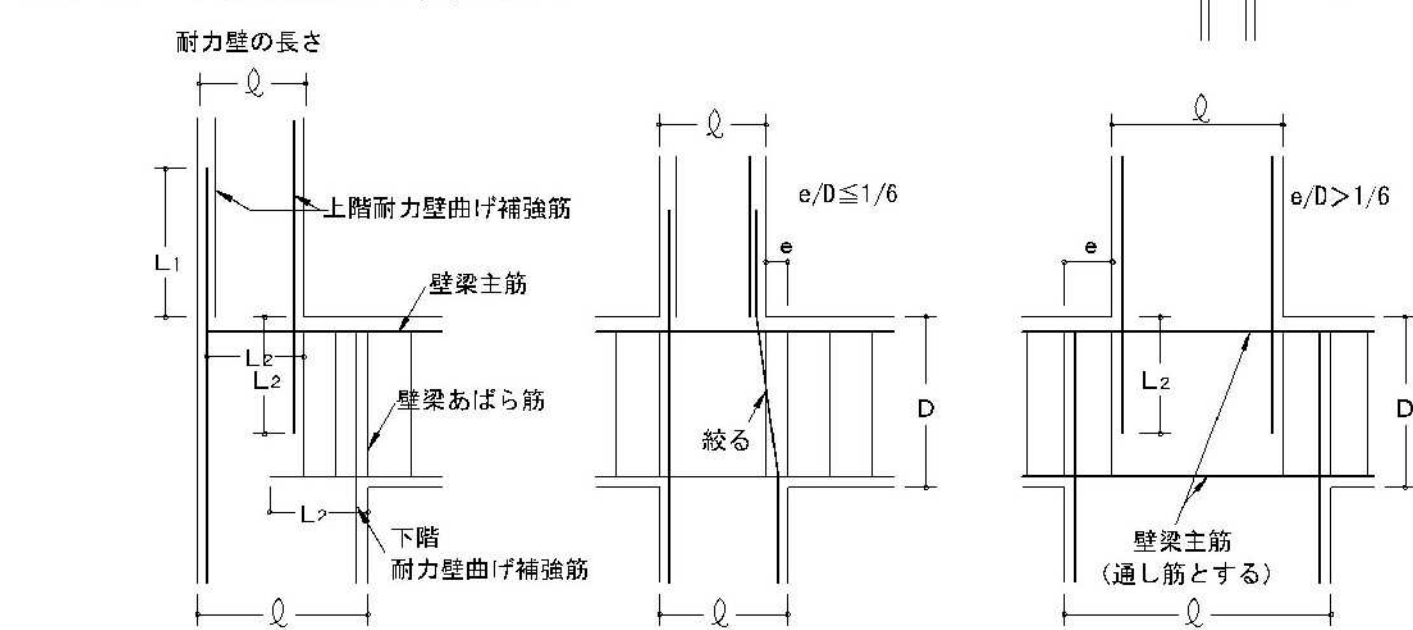
（1）曲げ補強筋・壁縦筋の定着



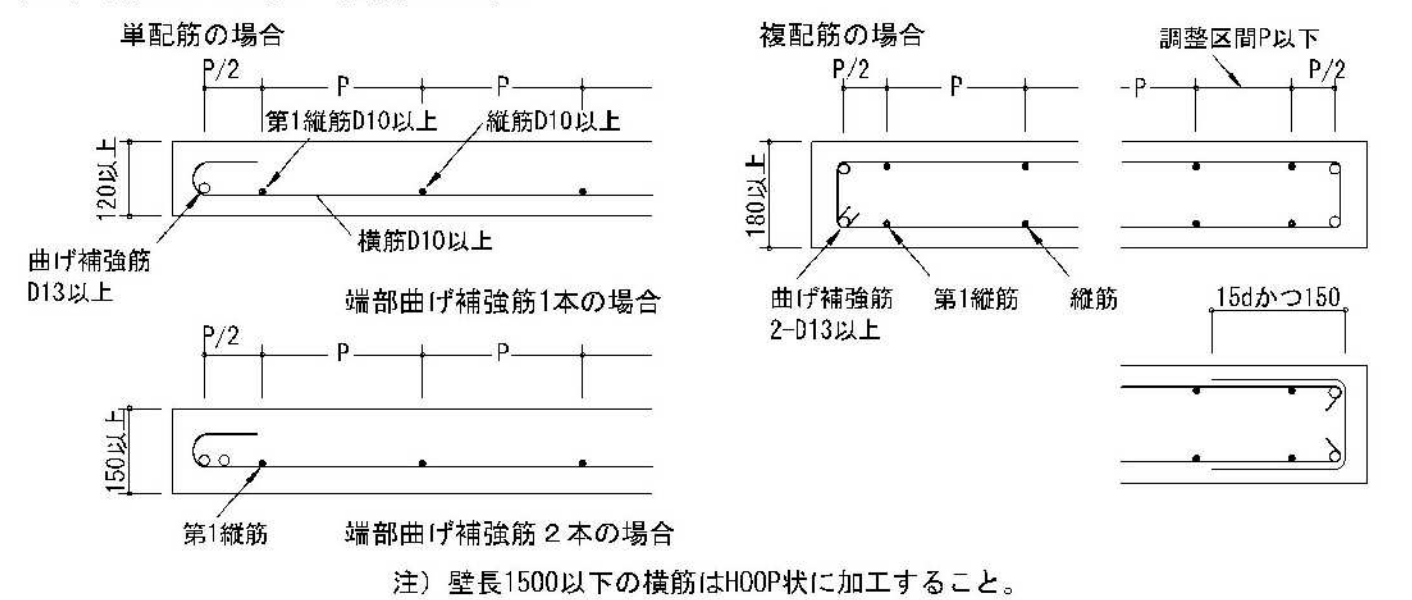
耐力壁と床・屋根スラブ



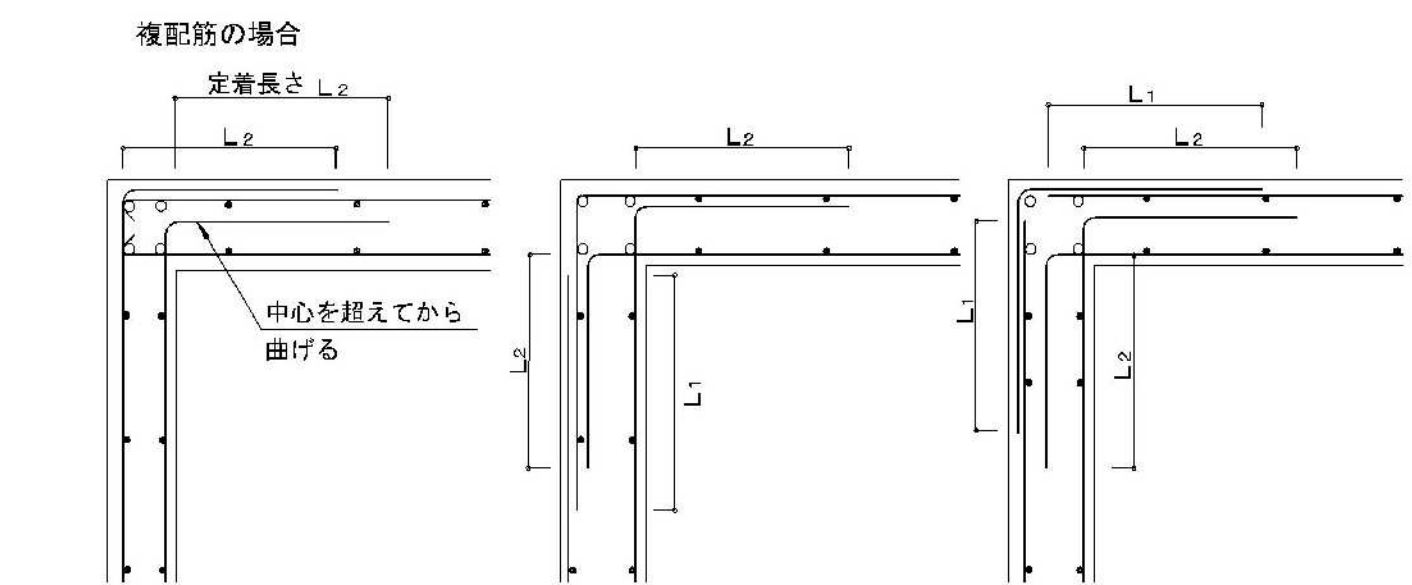
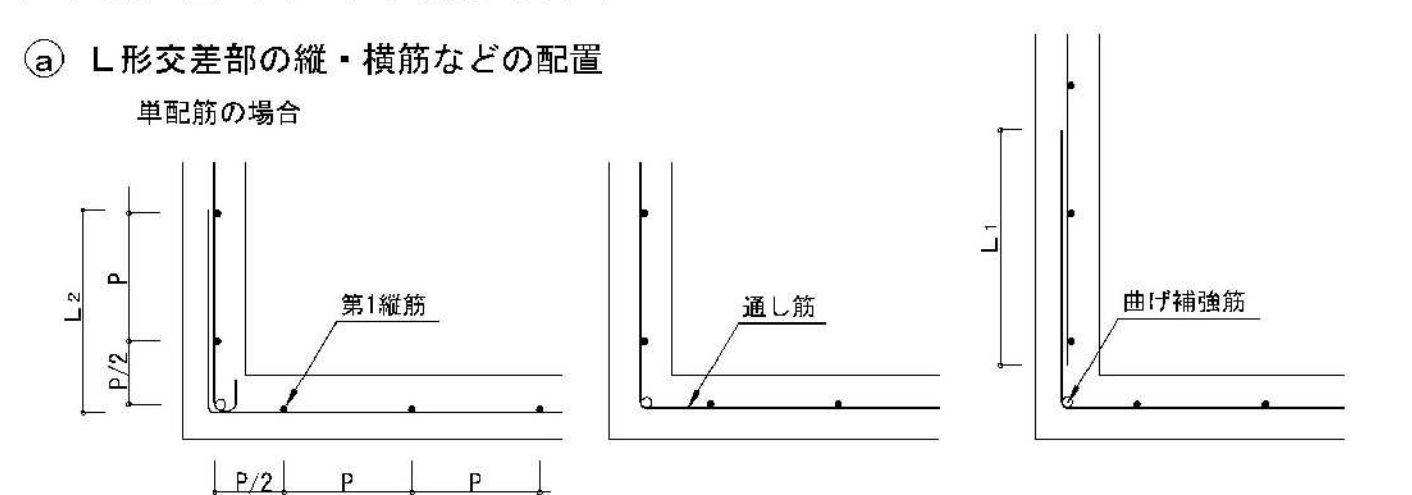
（2）上・下階耐力壁の各種配置



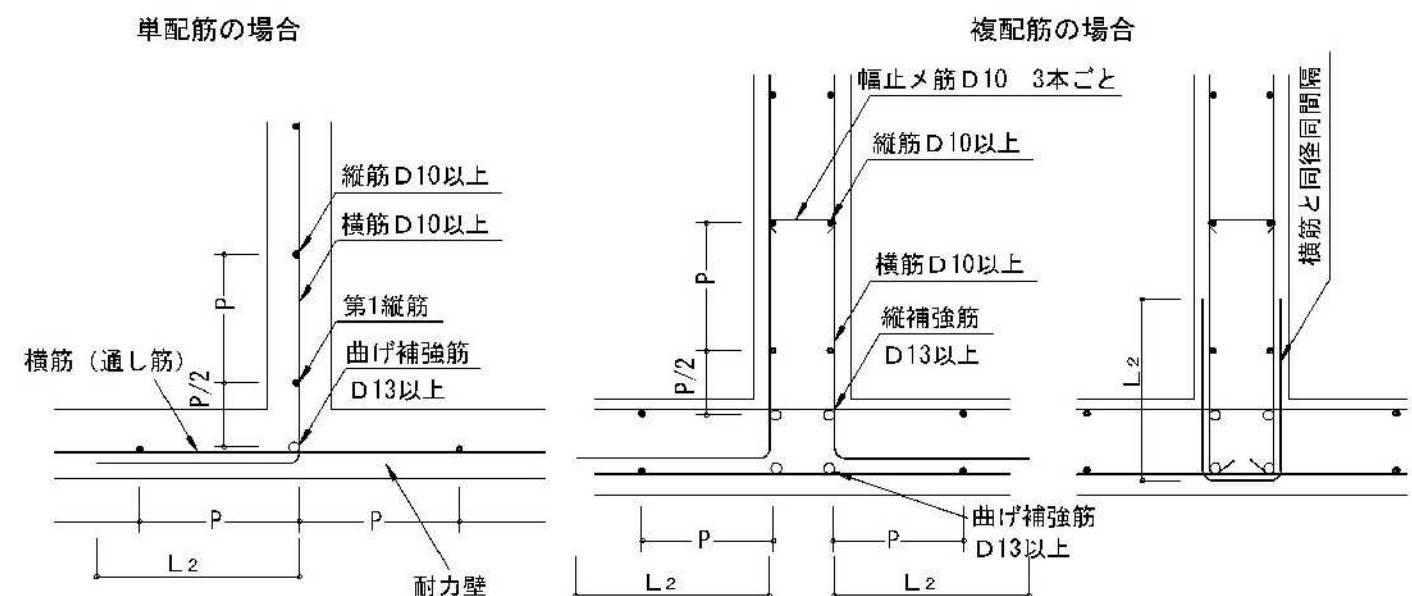
（3）耐力壁の縦・横筋の配置



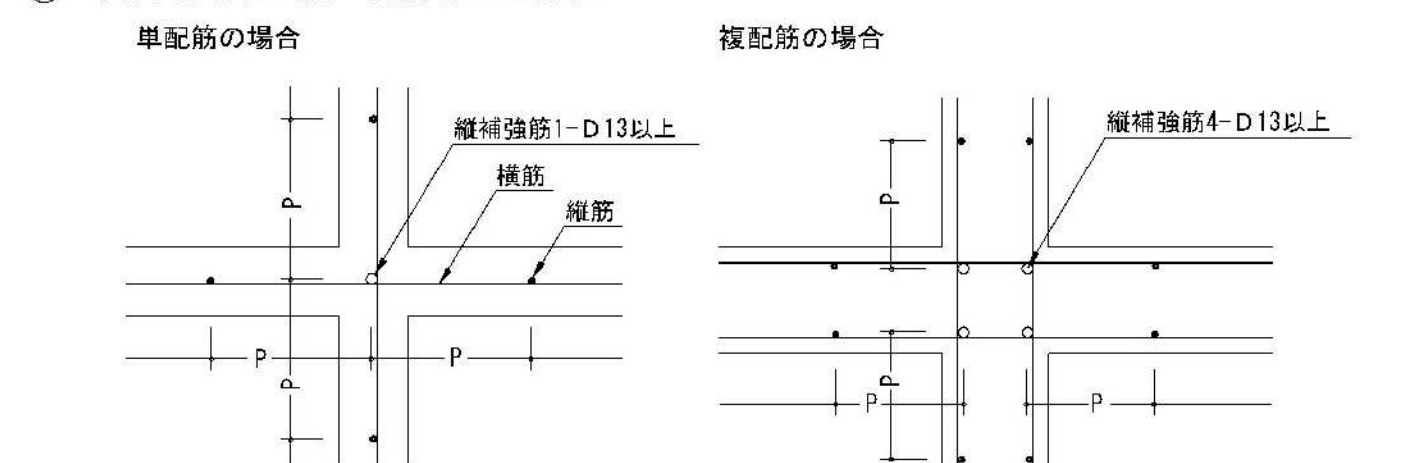
（4）耐力壁が交差する場合（平面）



（b）T形交差部の縦・横筋の配置



（c）十形交差部の縦・横筋などの配置



6. 使用可能な鉄筋の最大径（標準）

部位	耐力壁	壁がりよう小梁	布基礎基礎梁	スラブ	非耐力壁	塀
構造種別	壁式鉄筋コンクリート造					
最大径	D22	D22	D25	D16	D16	D16



山梨建築設計監理事業協同組合

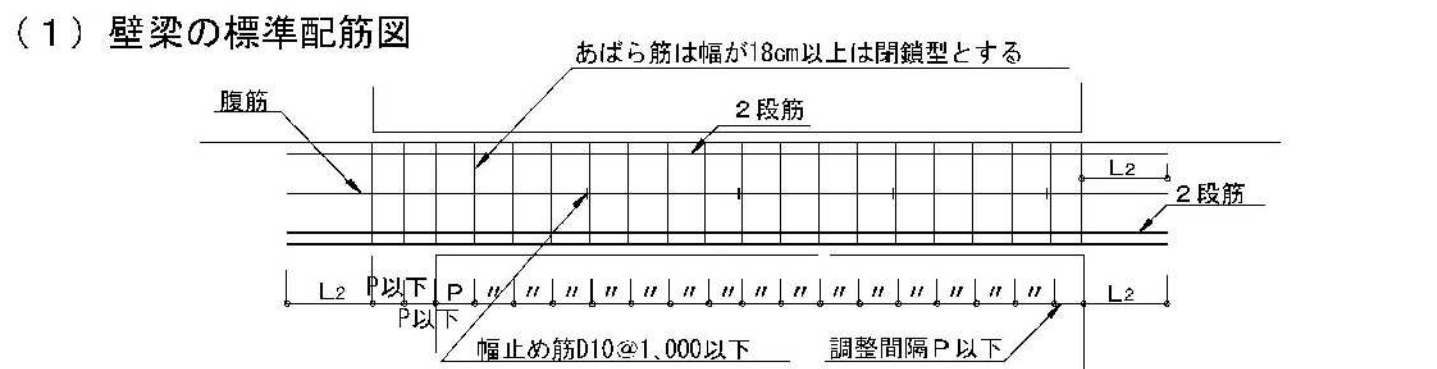
承認	設計	担当	縮 尺
			A1→N/S A3→N/S 設計年月日 2023. 03. 31

工事名称 遊亀公園附属動物園整備（建築主体）工事
図面名称 壁式鉄筋コンクリート 構造配筋標準図(1)（ビーバー舎）

S-02
No.

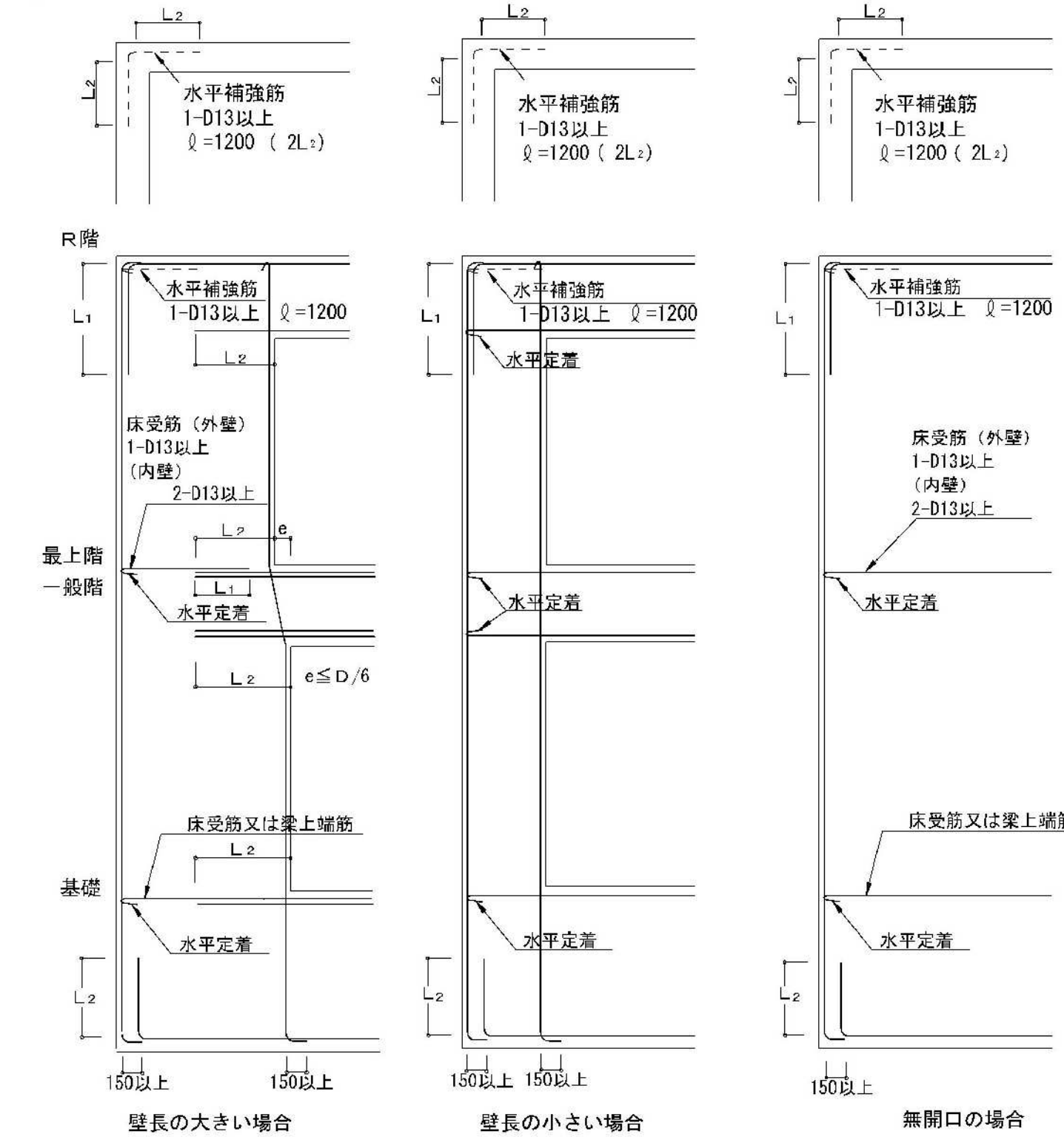
壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）※修正箇所は下線を引くこと

7. 壁梁、小梁

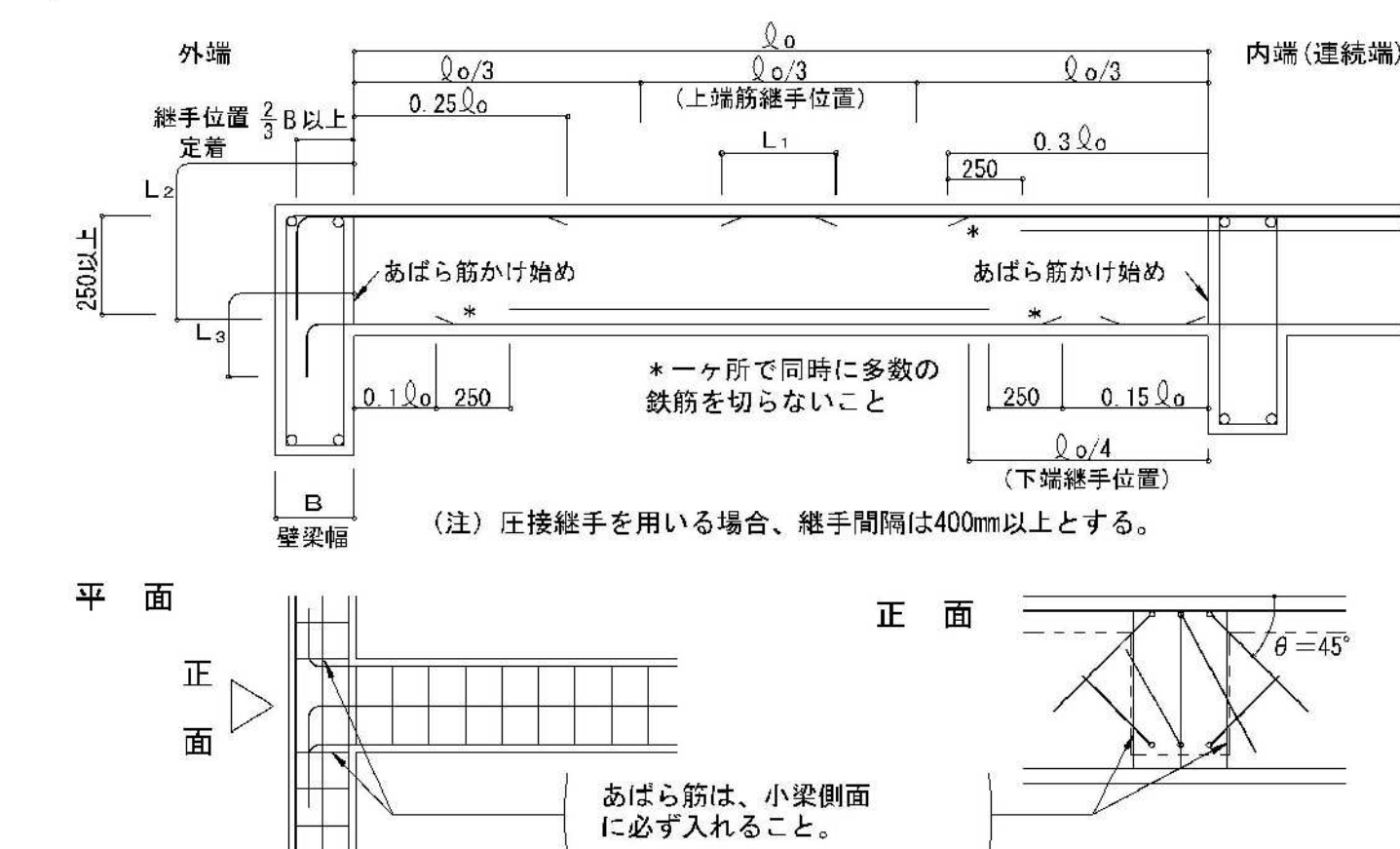


(3) 定着

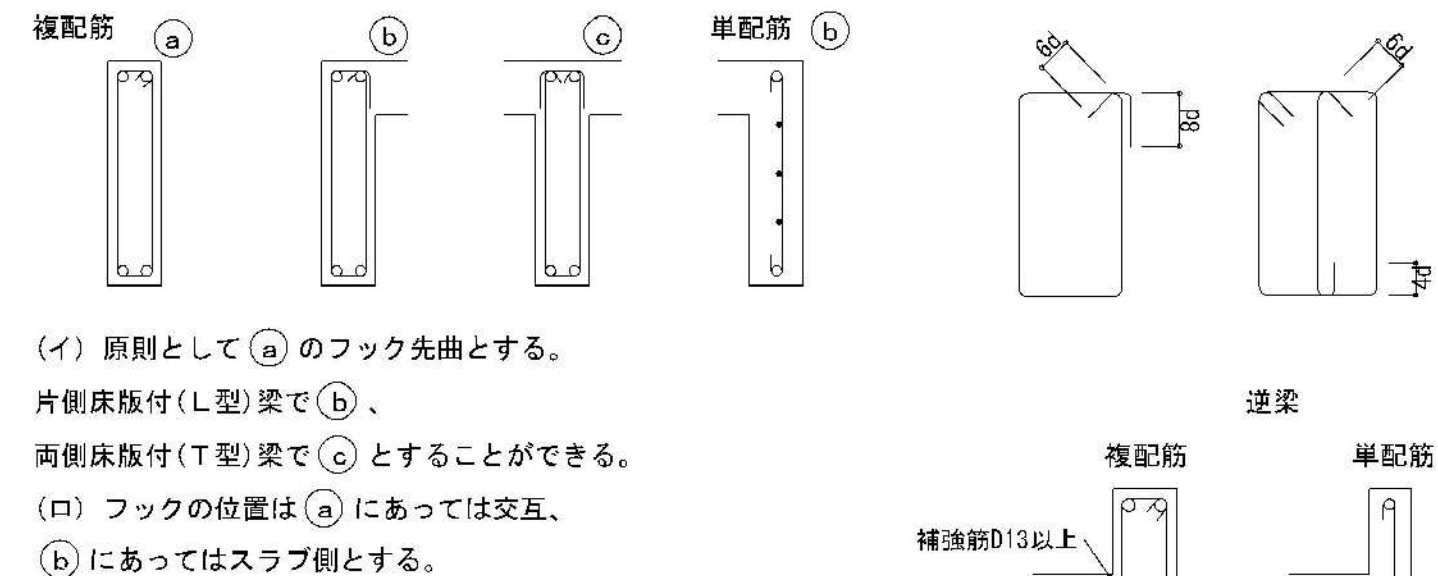
① 壁梁 出隅部分壁と壁（平面図）



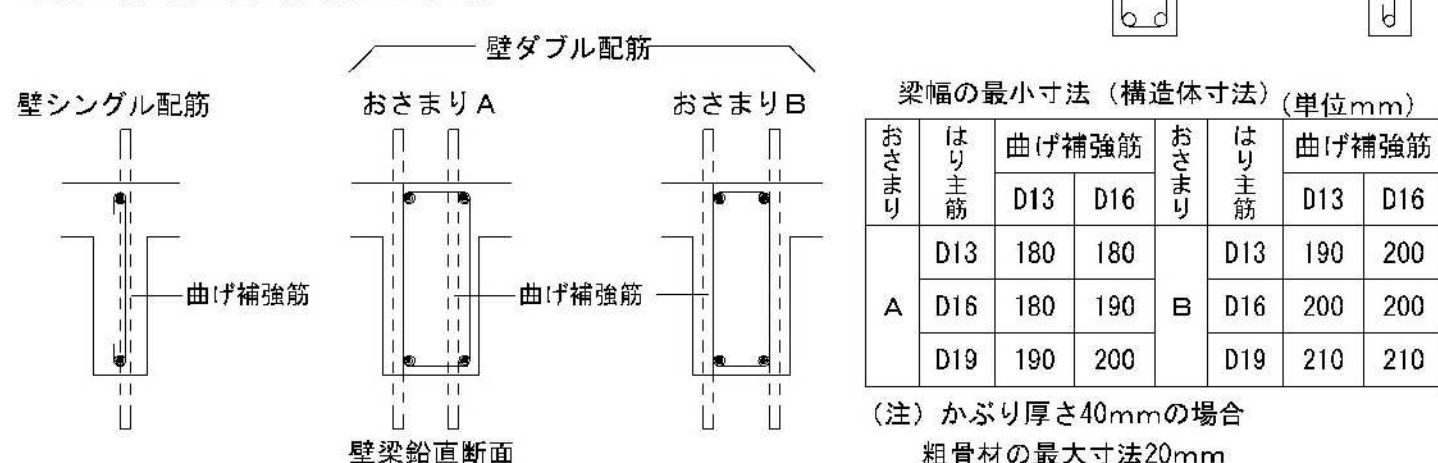
② 小梁の定着・継手位置およびトップ筋長さ



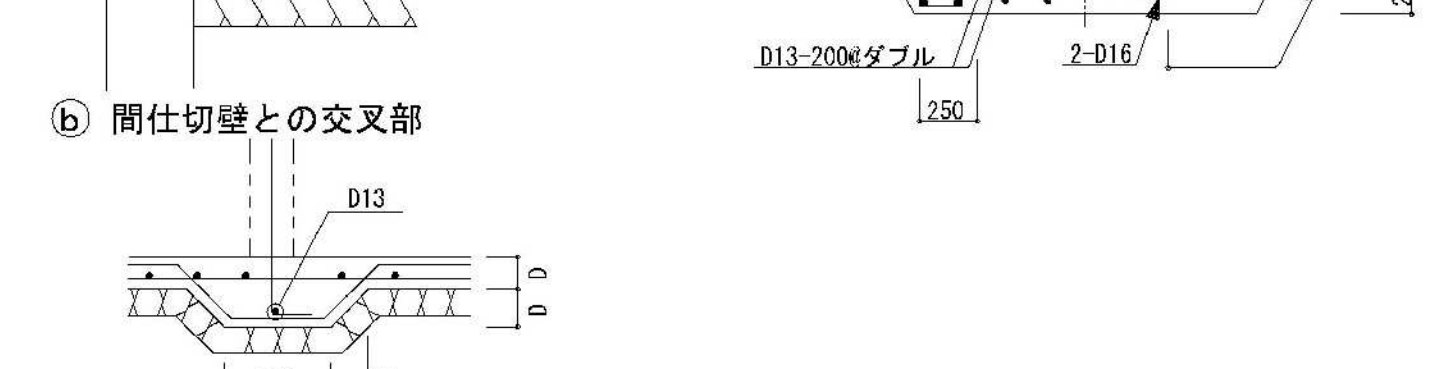
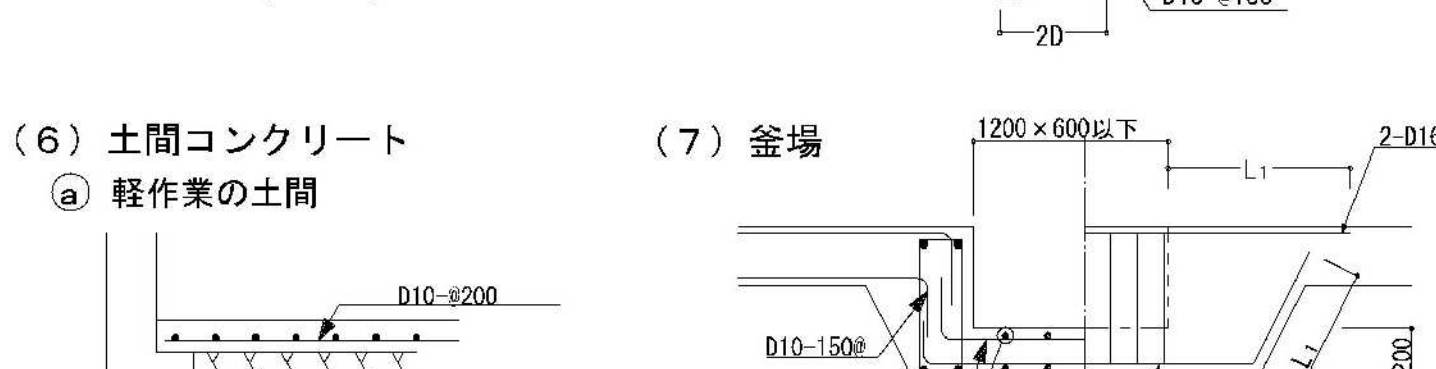
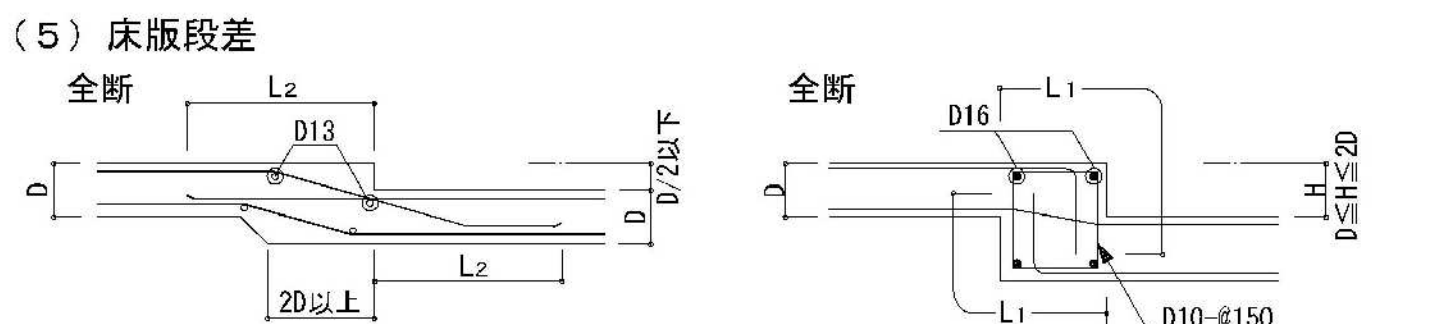
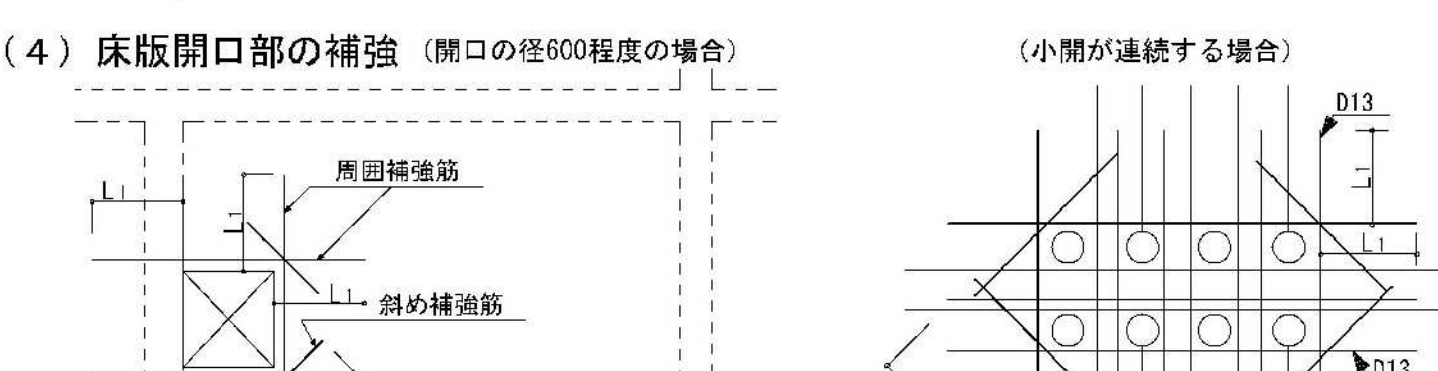
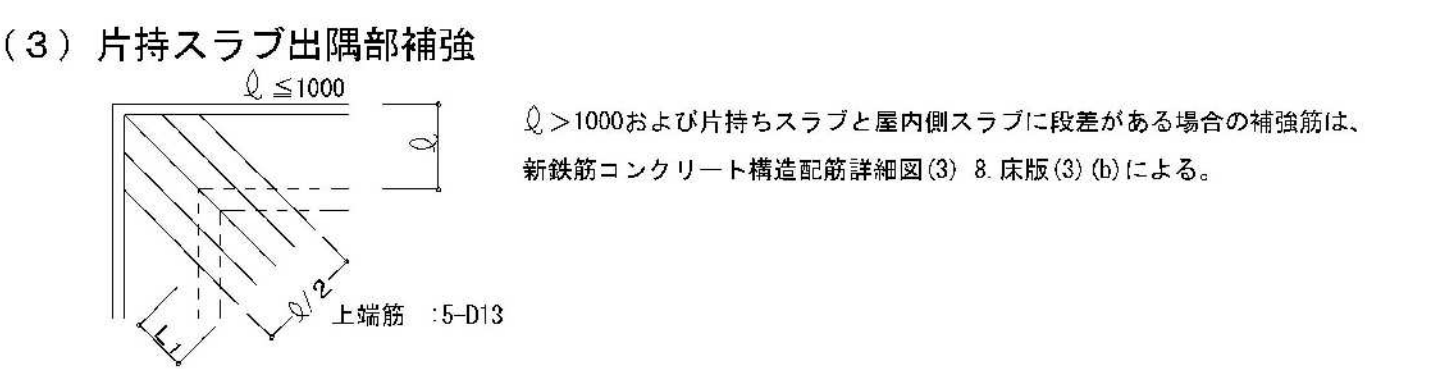
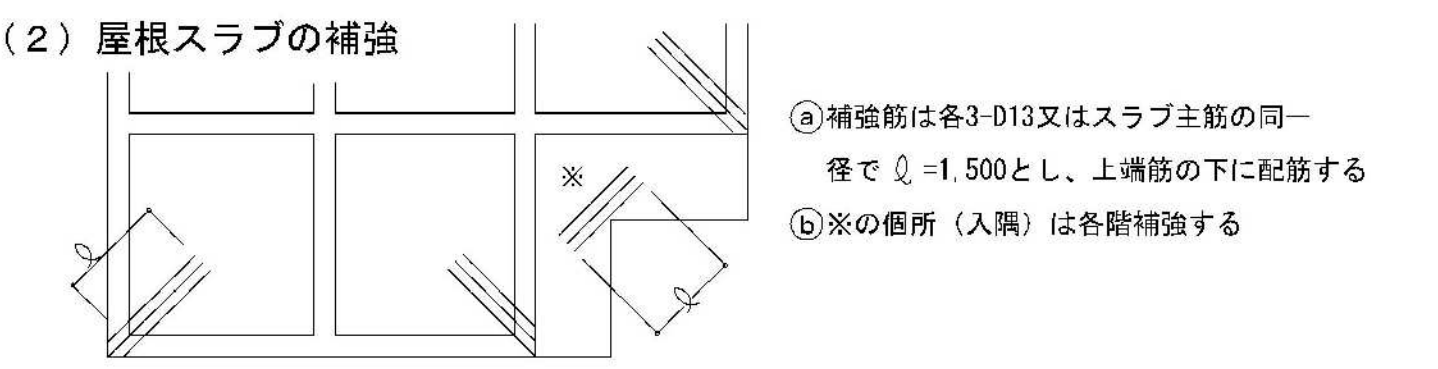
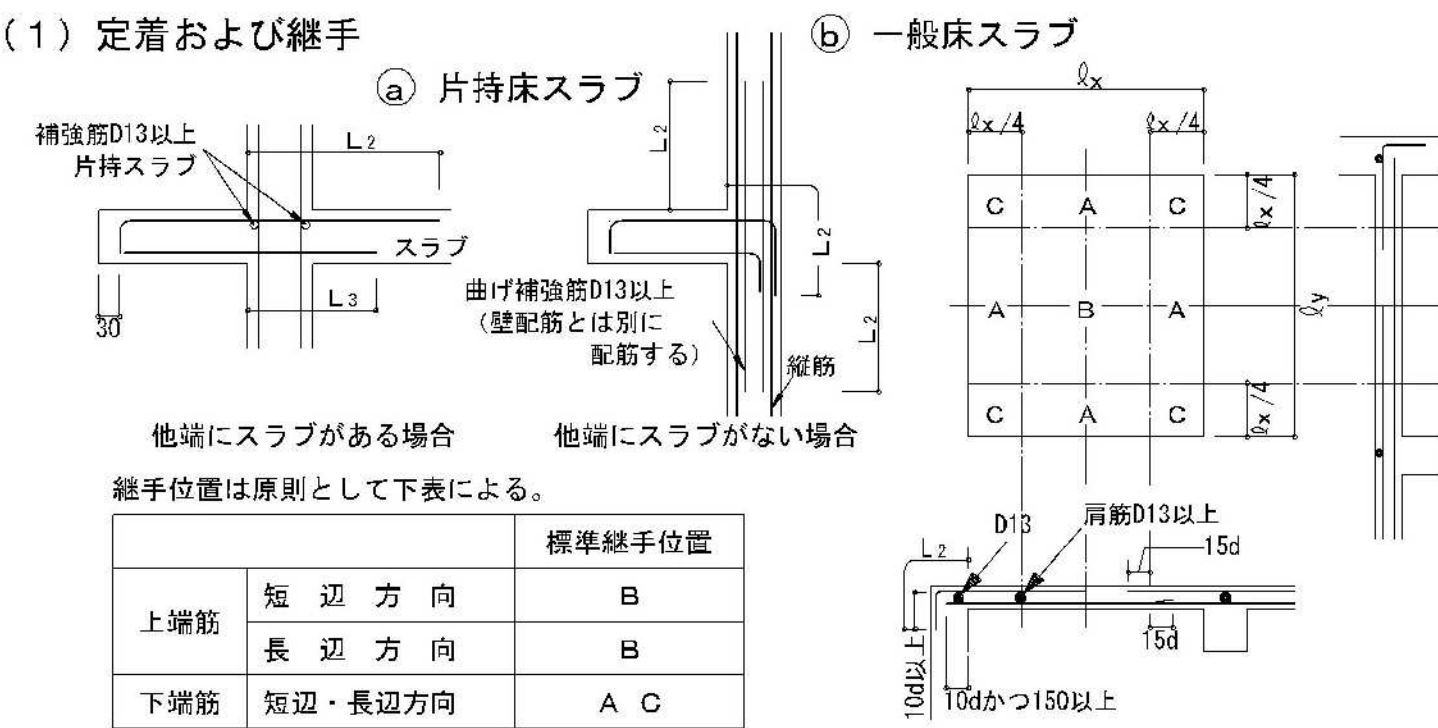
(4) あばら筋の型



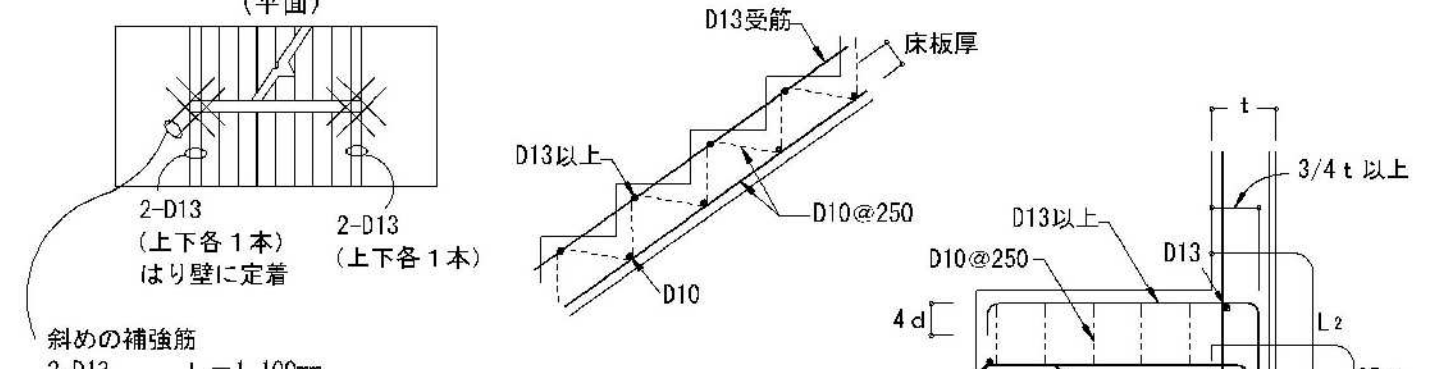
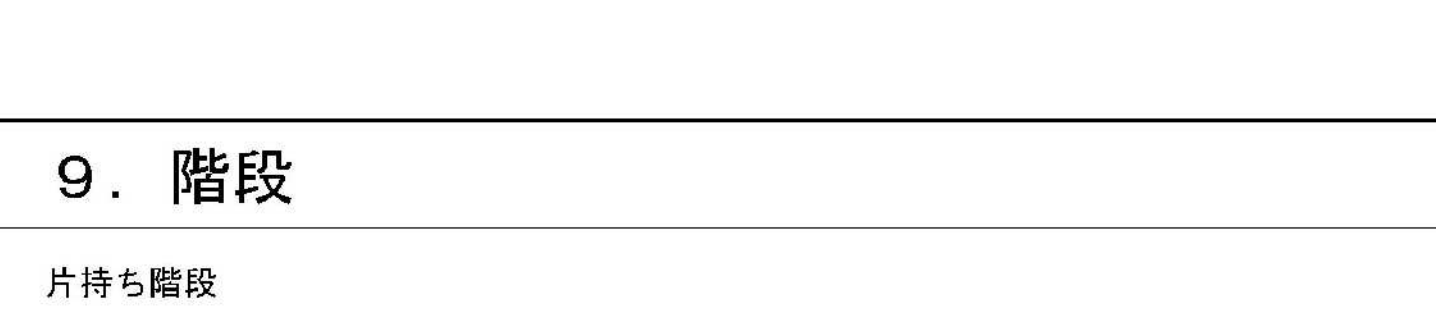
(イ) 原則として (a) のフック先曲とする。
片側床版付 (L型) 梁で (b)、
両側床版付 (T型) 梁で (c) とすることができる。
(ロ) フックの位置は (a) にあては交互、
(b) にあてはスラブ側とする。



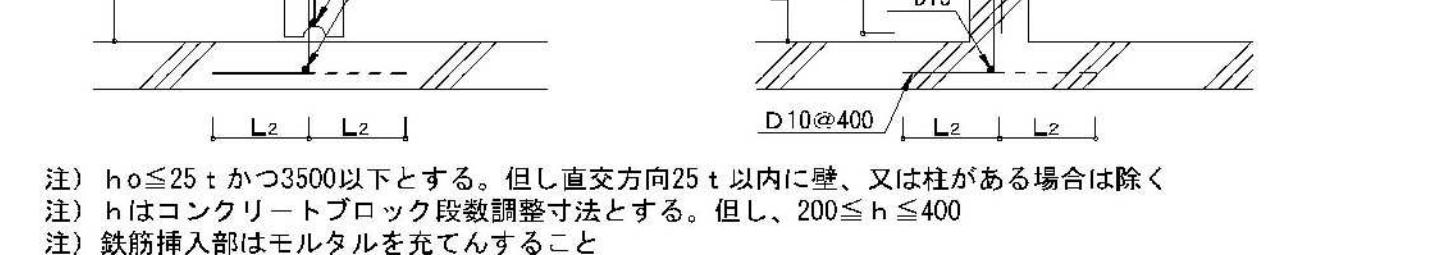
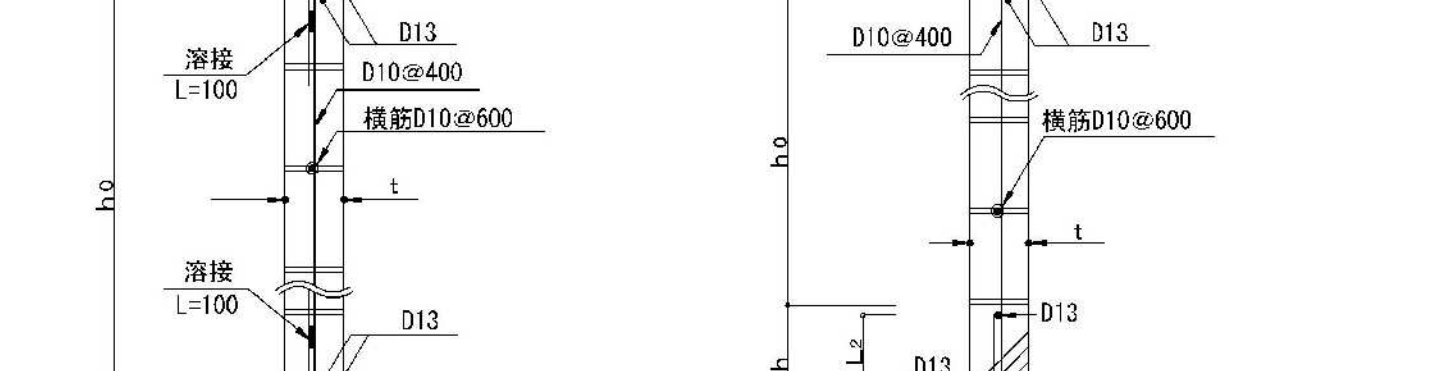
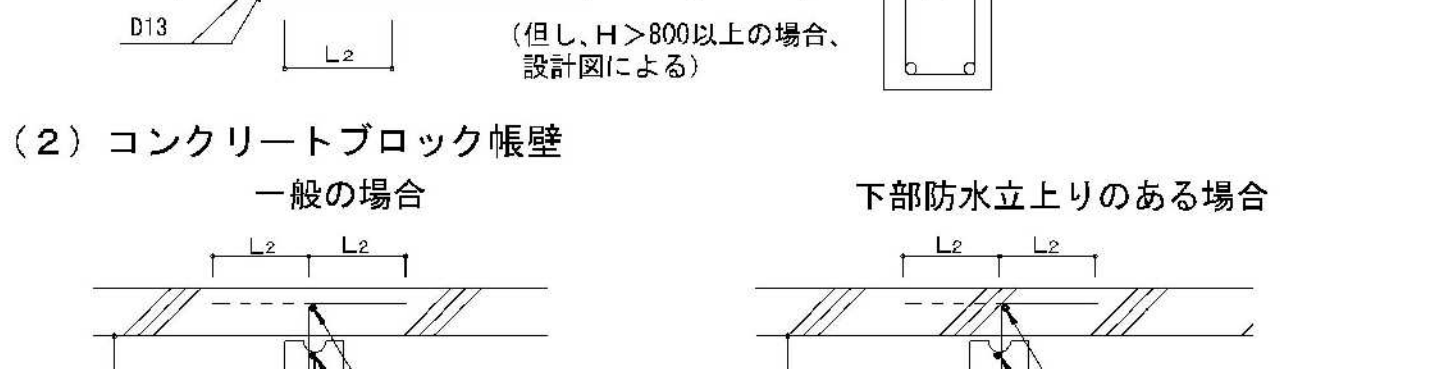
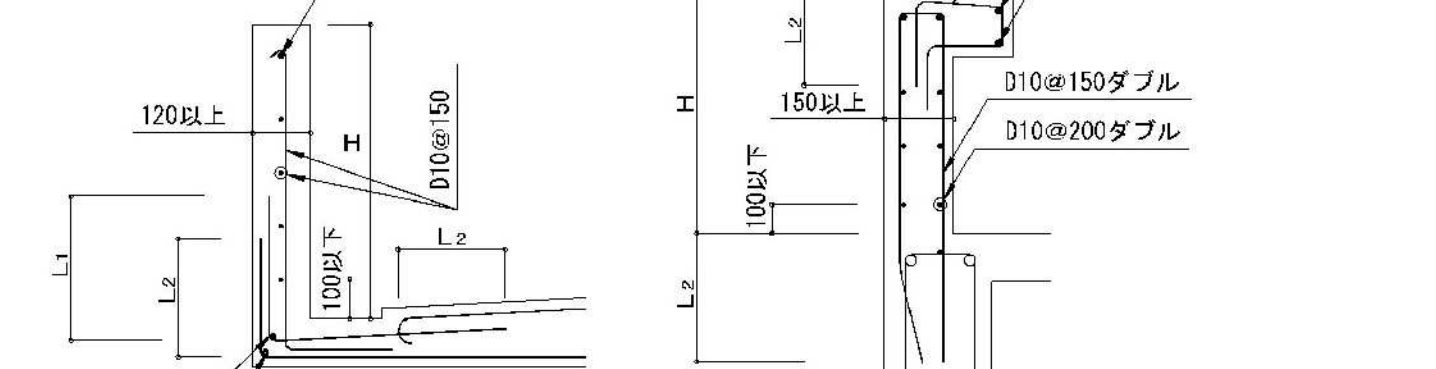
8. 床版



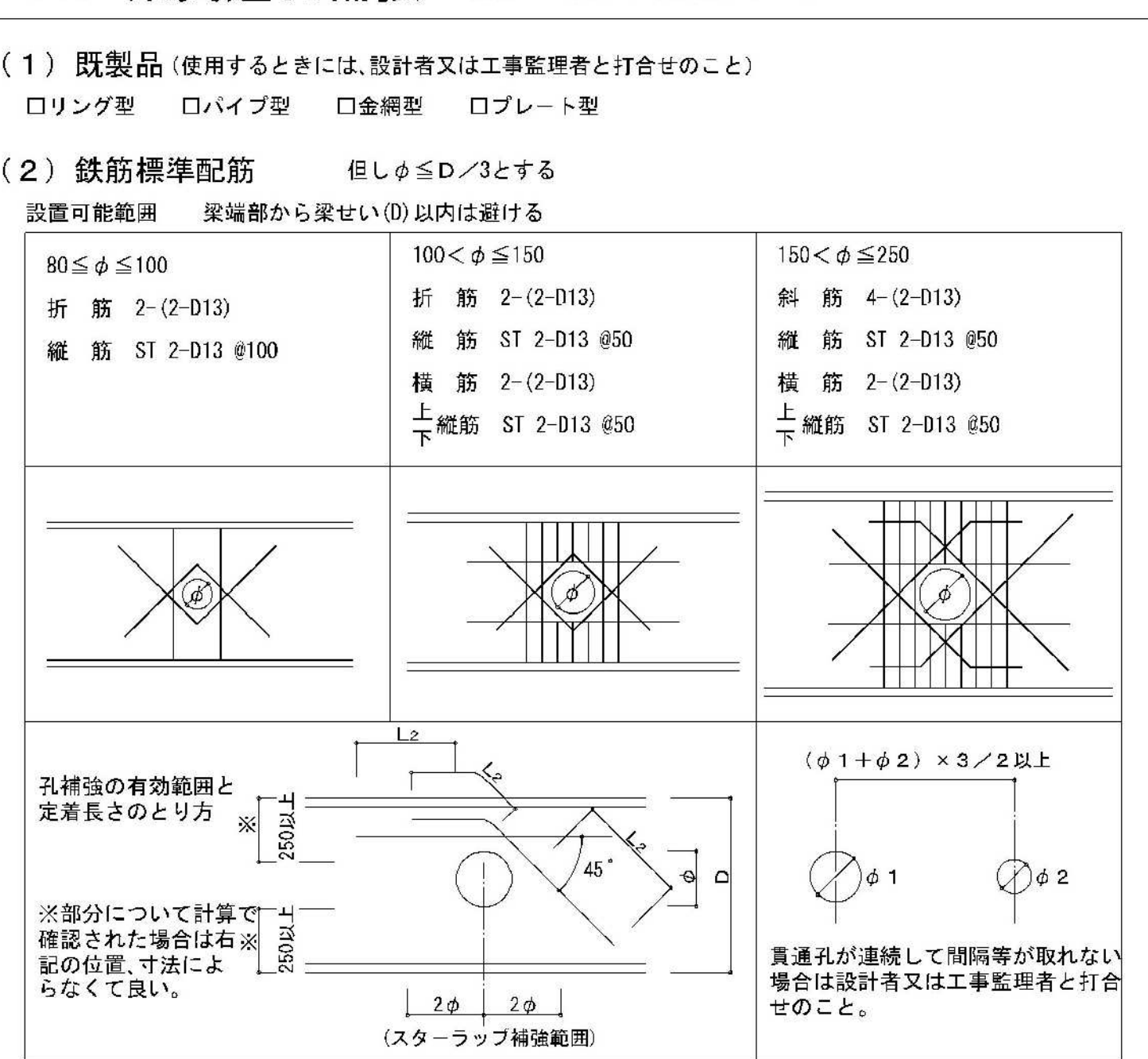
9. 階段



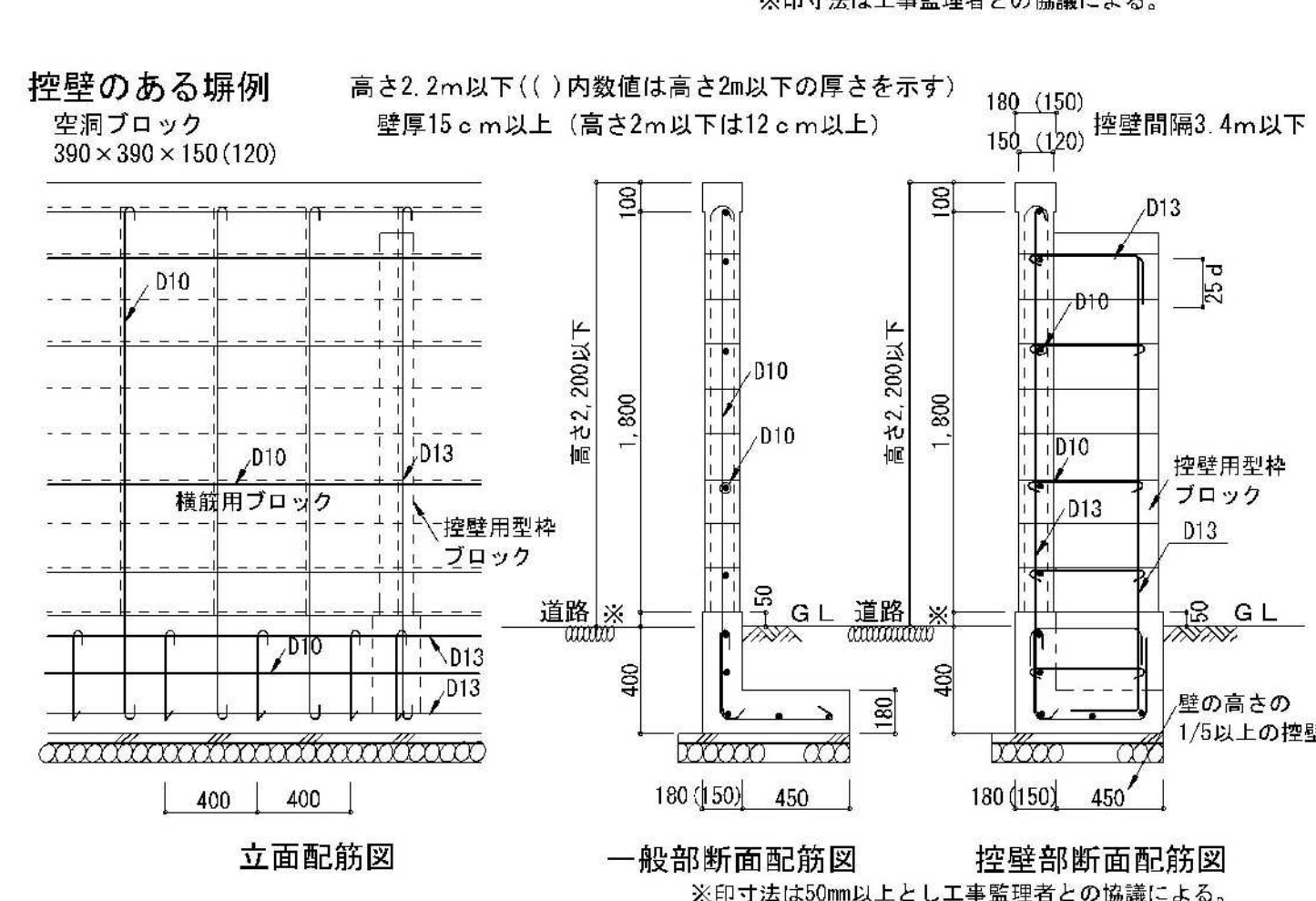
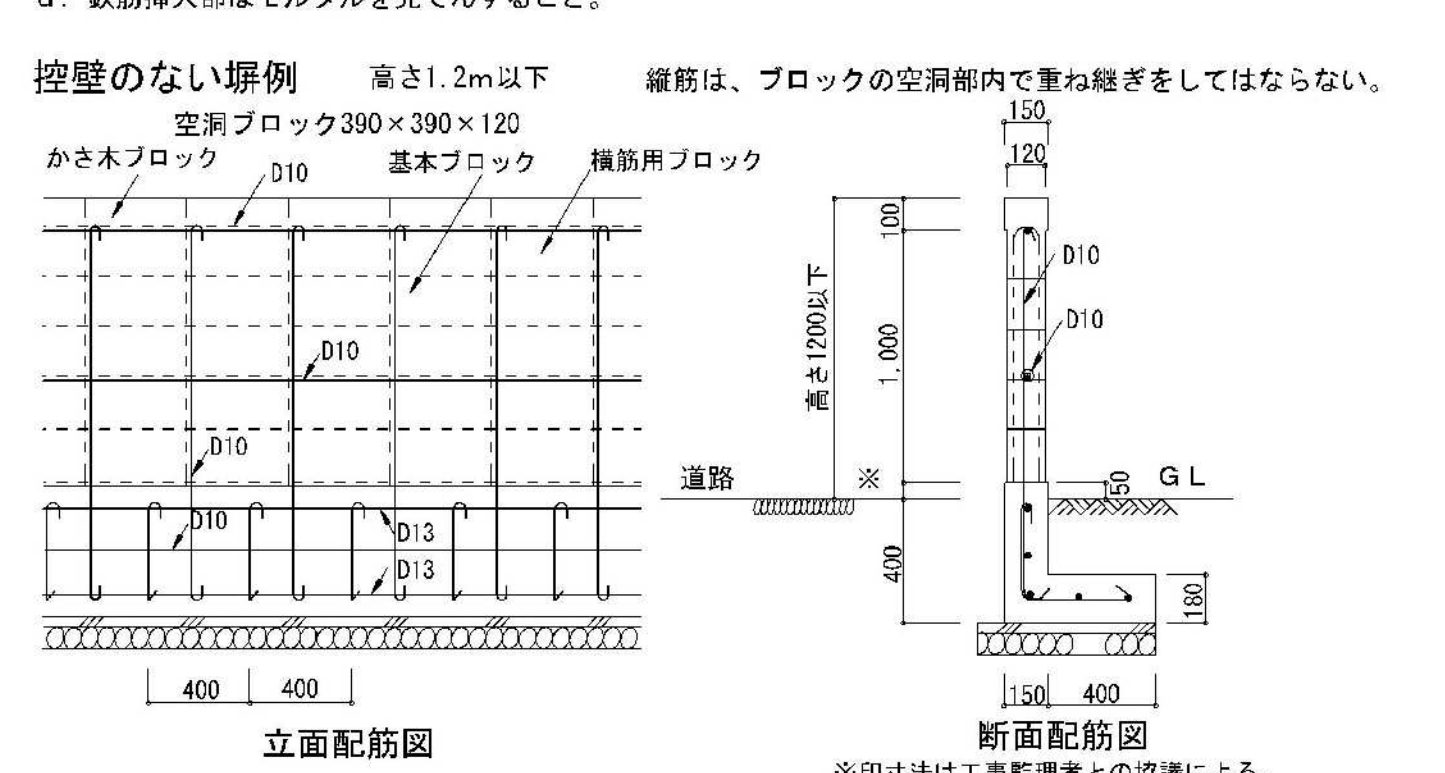
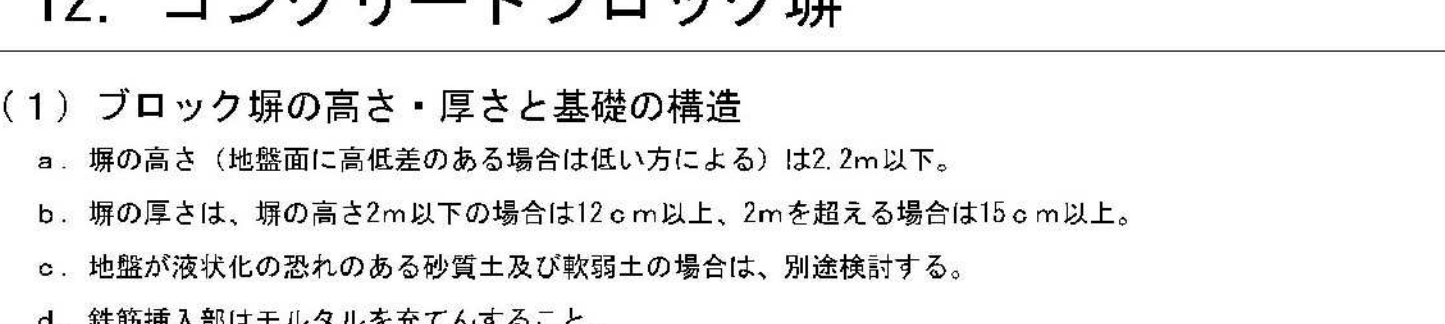
10. その他



11. 梁貫通孔補強



12. コンクリートブロック塀

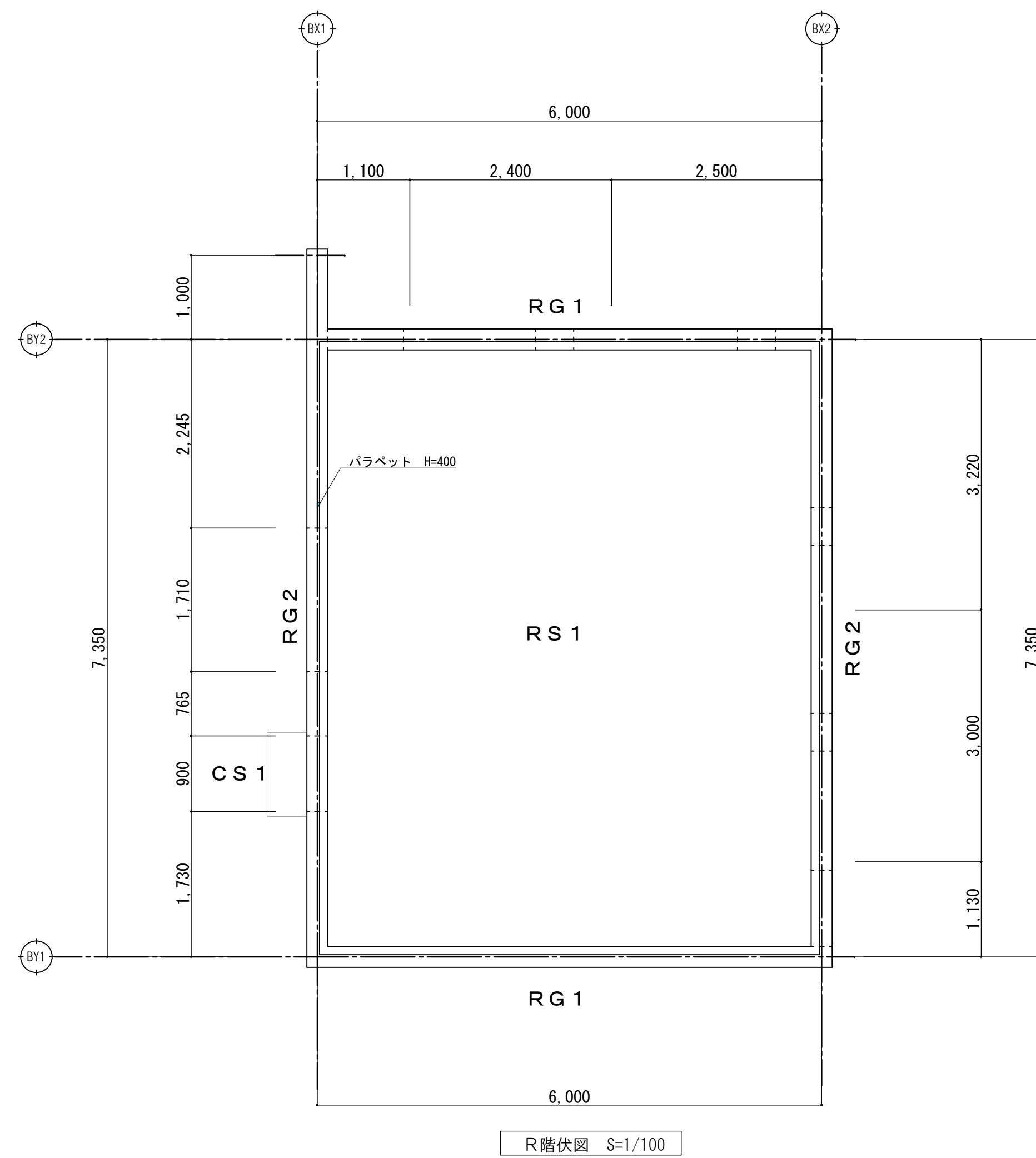
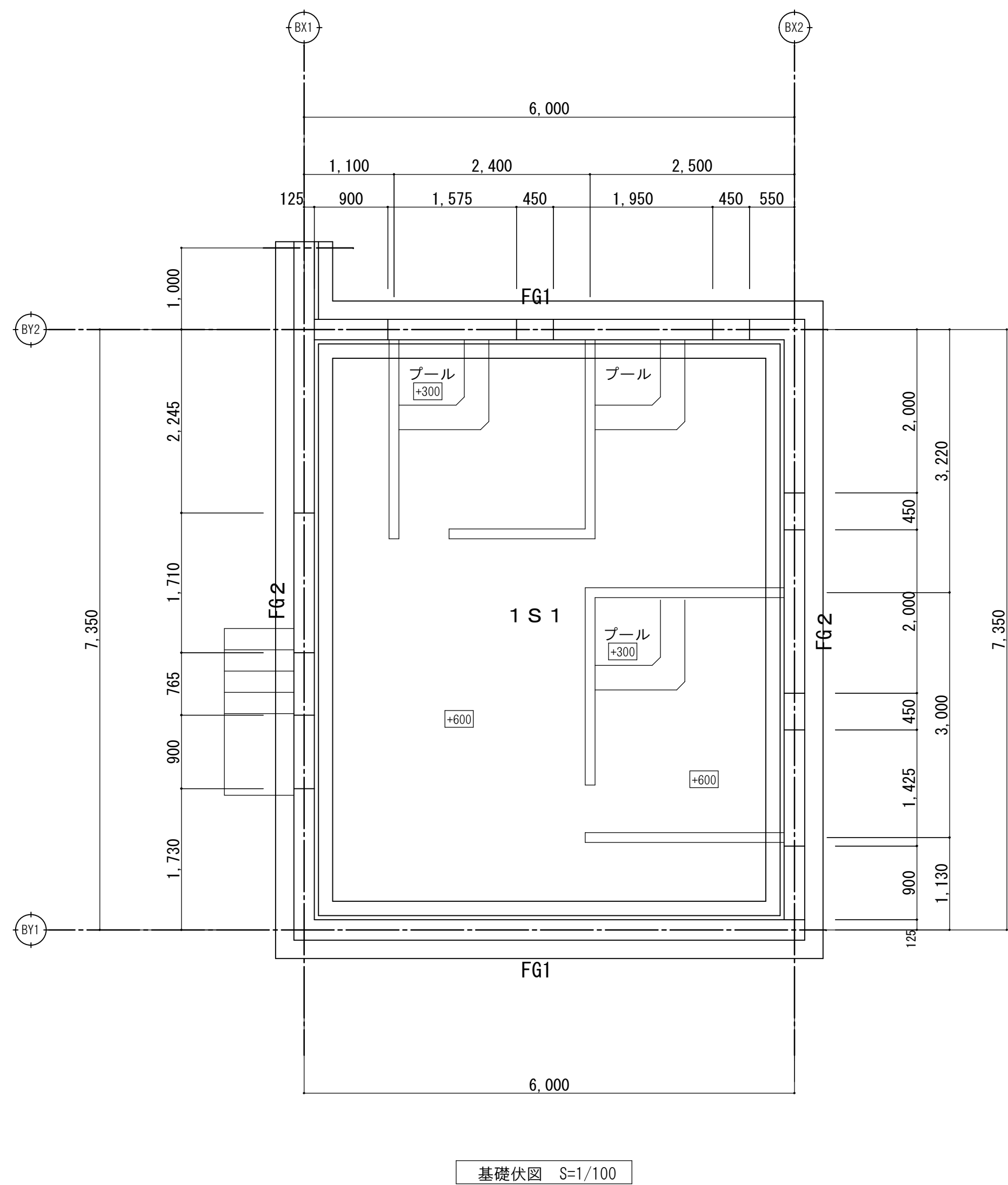


山梨建築設計監理事業協同組合

承認	設計	担当	縮尺
			A1→N/S A3→N/S
			設計年月日
			2023. 03. 31

工事名称	遊亀公園附属動物園整備（建築主体）工事
図面名称	壁式鉄筋コンクリート 構造配筋標準図(2)（ビーバー舎）

S-03
No.



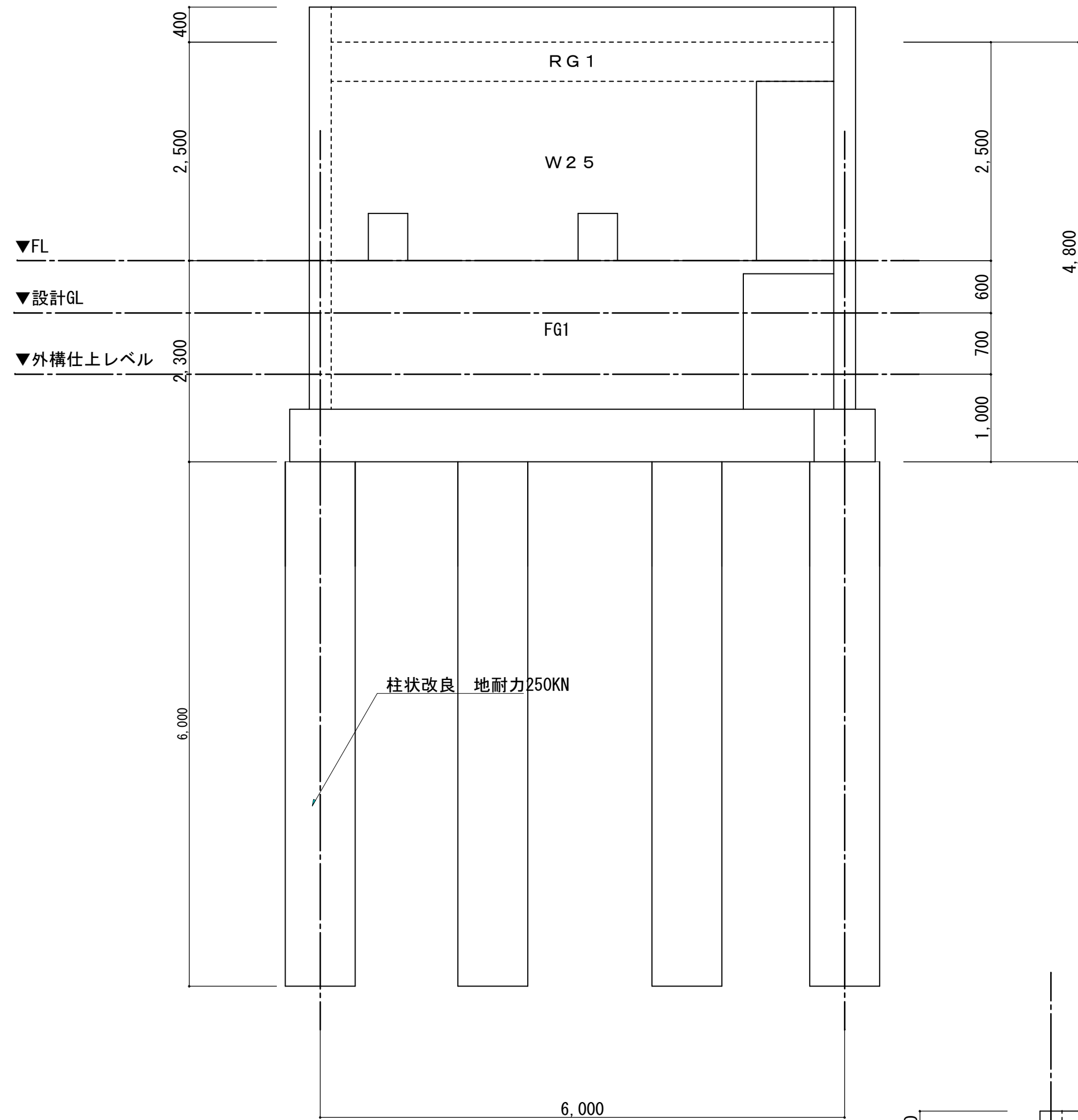


山梨建築設計監理事業協同組合

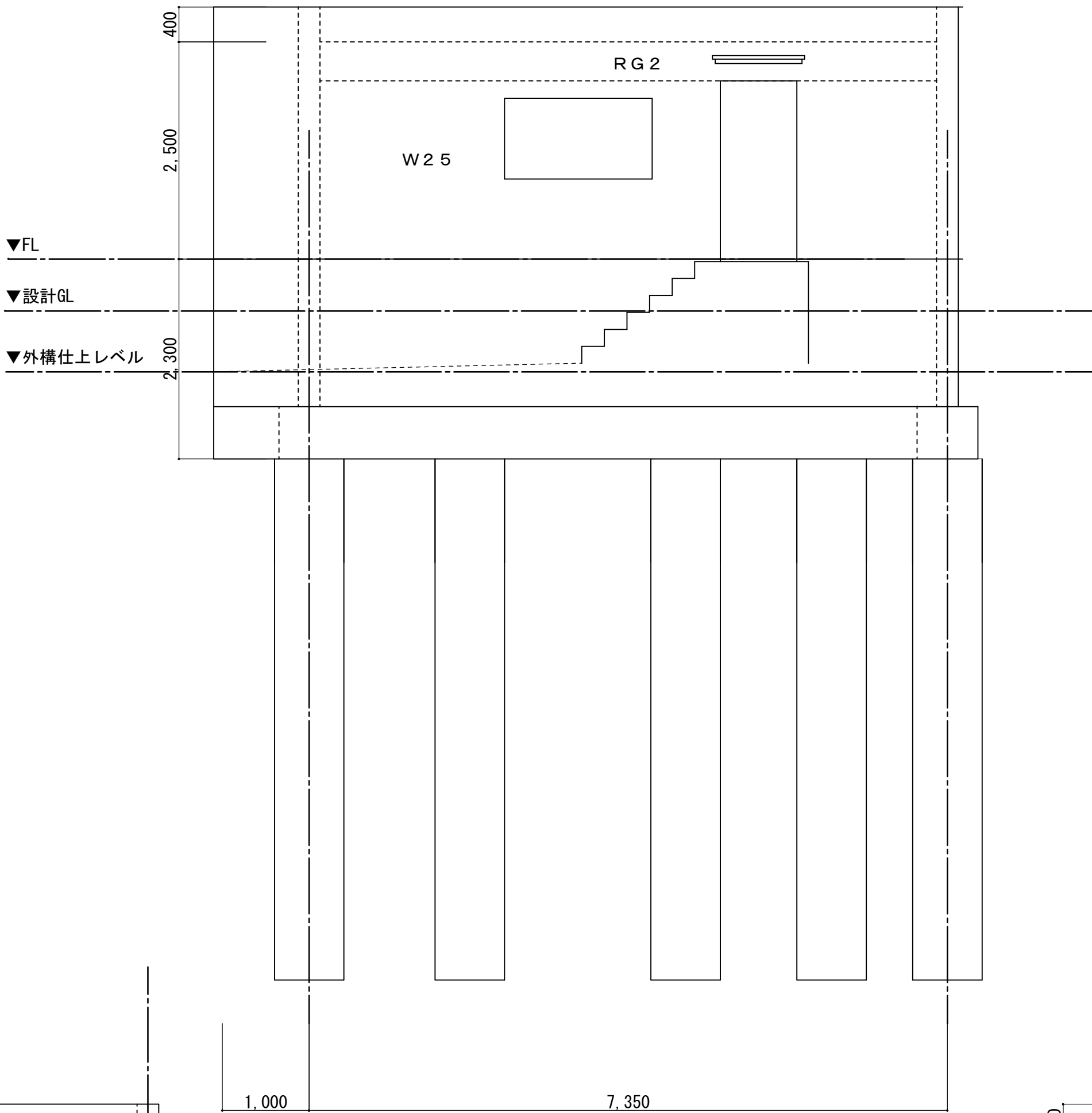
承認	設計	担当	縮 尺
			A1→1/100 A3→1/200
			設計年月日 2023. 03. 31

工事名称	遊亀公園附属動物園整備(建築主体)工事
図面名称	基礎伏図・R階梁伏図 (ビーバー舎)

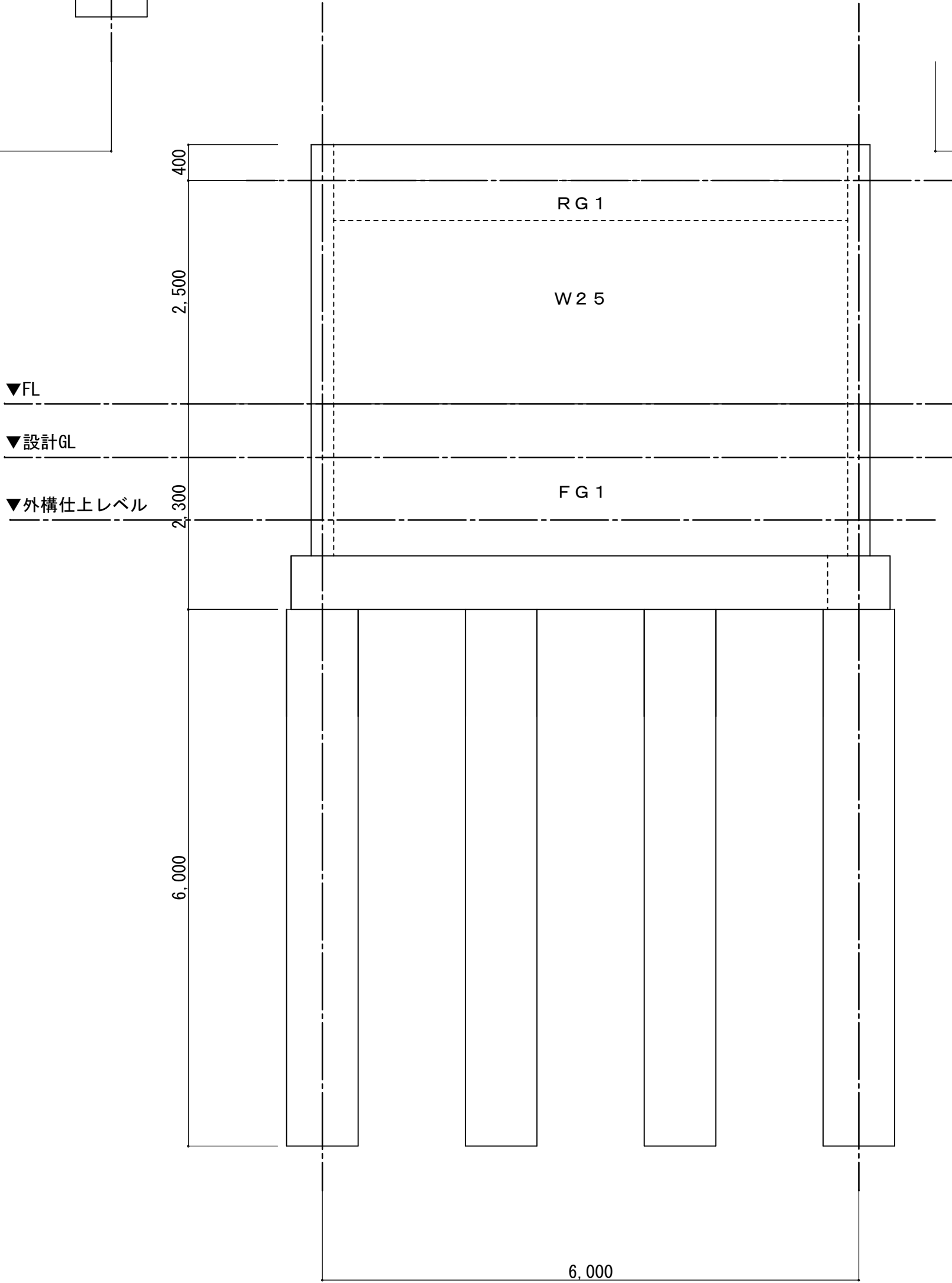
No. S-04



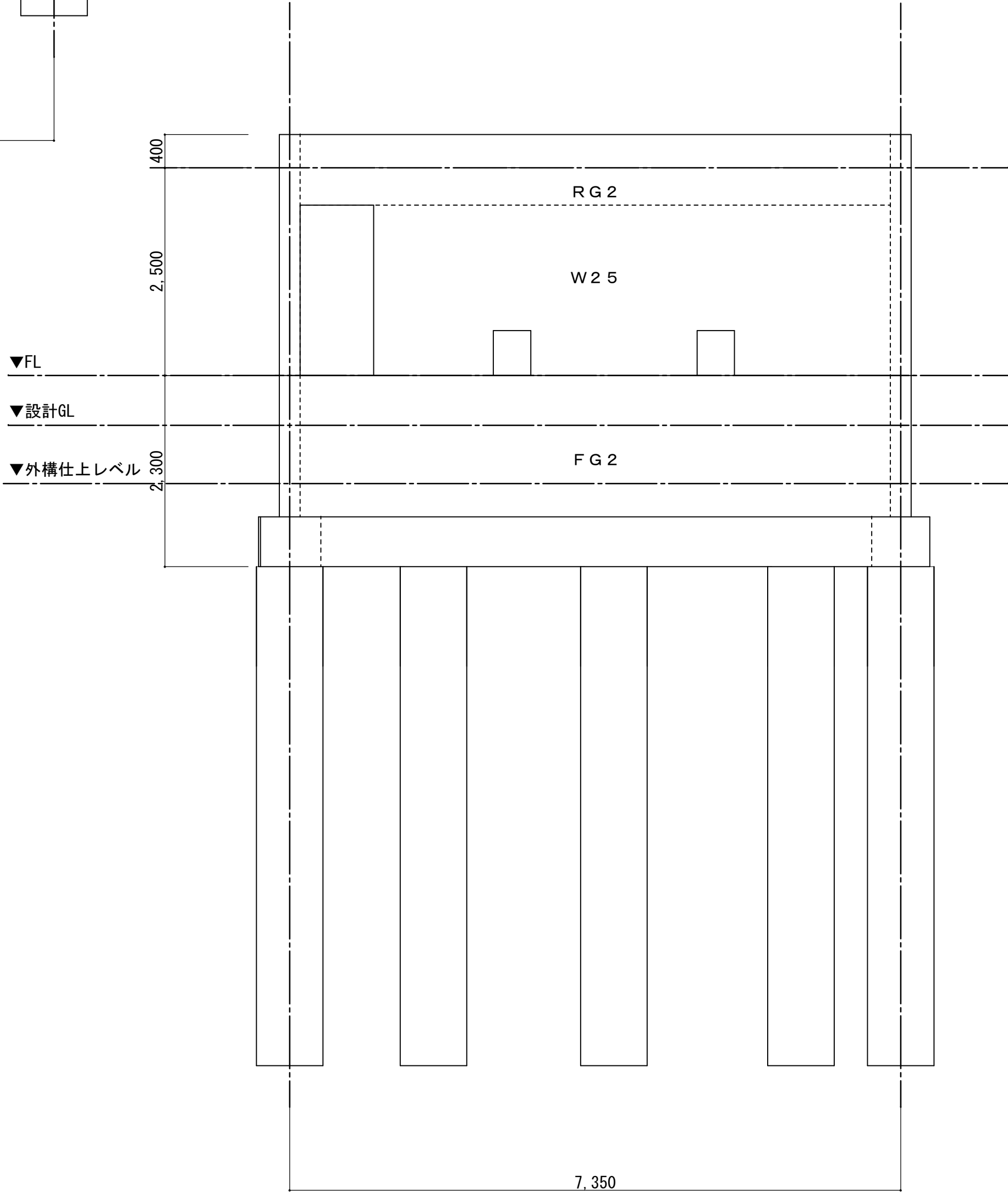
BY2軸組図 S=1/50



BX1軸組図 S=1/50



BY1軸組図 S=1/50



BX2軸組図 S=1/50

R C 梁リスト				S=1/50 , 25				腹筋の巾止筋は各段 1 m以内に 1 ヶ所とする							
1 階	符 号	F G 1		R G 1		記号 W 2 5									
	位 置	全断面		全断面		<div>断面</div>									
	断 面														
	上 端 筋	2 - D19		2 - D16								縦 筋		D13 @200ダブル	
	下 端 筋	2 - D19		2 - D16								横 筋		D13 @200ダブル	
	スターラップ	2-D13 @ 200		2-D10 @ 200								開口補強	縦補強筋	2 - D16	
	腹 筋	12 - D10				横補強筋	2 - D16								
ベース筋 主	D16 @ 200				斜補強筋	2 - D16									
ベース筋 配	3 - D16				隅交差部補強筋		4 - D16								
底 片持版						プール段差 立上壁									
外部階段															

床版 リスト												床 開口補強						
階	記号	版厚		短辺方向	長辺方向	階	記号	版厚		短辺方向	長辺方向	階	記号	版厚		短辺方向	長辺方向	
基礎						1 階	S 1	210	上筋	D13 @ 150	D13 @ 150	R 階	S 1	210	上筋	D13 @ 150	D13 @ 150	
										下筋	D13 @ 150				D13 @ 150			
												<div>開口補強要領</div>						

特 記
事 項



山梨建築設計監理事業協同組合

承認
設計
担当
縮 尺
A1→1/25 A3→1/50
設計年月日
2023. 03. 31

工事名称
遊亀公園附属動物園整備(建築主体)工事
図面名称
構造材リスト (ビーバー舎)

S-06
No.

スリーエスG-cube工法特記仕様書

1. 工 事 概 要

本地業は、セメントスラリーを用いたスラリー系機械攪拌式深層混合処理工法による地盤改良地業である。
この工法は、セメント系固化材を原地盤と攪拌混合し、現地盤をコラム状に固化する地盤改良を行うものである。

2. 一 般 事 項

本地業は、本特記仕様書によるほか、「改訂版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（平成14年11月30日 財団法人 日本建築センター、以下指針という）による。

3. 特 記 事 項

- (1) コラムの径、掘削深度（改良長＋空掘長）、本数配置等は設計図書による。但し、コラムの径・長さ・本数・位置及びセメントスラリーの配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切と判断される場合は、監督員の承認の上に変更することができる。
- (2) コラム設計基準強度はFc=900kN/㎡とする
- (3) 設計の要求する性能を確保するため、適切な配合管理、施工管理および品質検査を実施する。
- (4) セメントスラリーを用いた機械攪拌式深層混合処理工法のスリーエスG工法協会に所属する会員とする。
- (5) 工法の選定は、(財)日本建築総合試験所において下記の性能証明を有する工法を選定する。
- ①変動係数25%が砂質土、粘性土、ローム地盤で採用できること。
- ②小規模建築物に対する品質管理が規定されていること。
- ③材齢7日強度で合否判定が可能であると認定されていること。
- (6) 品質及び施工管理は、スリーエスG工法品質・施工管理マニュアルに基づいて行うものとする。

4. 施 工 計 画

工事に先立ち、施工計画書を監査員に提出する。施工計画書は次の事項を明記する。

- (1) 地盤概要 (5) 施工機器及び仮設設備と配置
- (2) 工事内容（コラム径・コラム長・空掘り長・コラム数・設計基準強度） (6) 配合管理・施工管理・品質管理の方法
- (3) 工事期間及び工程 (7) 建築技術性能証明書
- (4) 工事要領（使用固化材・配合・攪拌翼の昇降速度・吐出量等） (8) その他、必要事項

5. 施 工 機 械

- (1) 攪拌翼はセメントスラリーと原位置土を確実に攪拌混合するための共回り現象を防止する攪拌装置を装備すること
- (2) 攪拌翼は上下にセメントスラリー吐出口を設け、掘削時に下吐出口から引上げ時に上吐出口からセメントスラリーを吐出可能な吐出切替構造であること
- (3) 所定の施工管理項目の計測及び記録ができる管理装置を用いること
- (4) 改良機本体は本工事の施工仕様を満足させる施工制御機器を装備したものでリーダー付及び自走式タイプであること
- (5) ミキシングプラントは所定吐出量を十分供給できる能力を有していること

6. 配 合 試 験

- (1) 本工事に先立ち現場から試料土を採取して、所定の室内配合試験を実施し、所要の強度が得られるよう配合条件を決定する。

試験名	室内配合試験
試料箇所数	1箇所

7. 配 合 管 理

- (1) セメントスラリーに使用する固化材は、セメント及び、セメント系固化材とする。

- (2) 配合強度

配合強度 X_f は設計基準強度Fcの1.7倍に設定する。

$$X_f = F_c \times 1.7$$

X_f : 配合強度 (kN/㎡)

F_c : 設計基準強度 (kN/㎡)

- (3) 配合量（固化材量とW/C）

室内配合試験の結果あるいは過去の工事実績に基づいて、配合強度を満足するように決定する。

$$X_{128} = X_f / \alpha_f$$

X_{128} : 室内配合強度(28日強度) (kN/㎡)

X_f : 配合強度 (kN/㎡)

α_f : 現場／室内強度比（強度比0.65；実績より）

$$X_{17} = (X_f / \alpha_f) / \sigma_7$$

X_{17} : 室内配合強度(7日強度) (kN/㎡)

X_f : 配合強度 (kN/㎡)

α_f : 現場／室内強度比（強度比0.65；実績より）

σ_7 : 材齢28日／材齢7日強度比

室内配合試験(3日強度： X_{13})により決定する場合は、 X_{17} を材齢7日／材齢3日強度比で割った配合強度とする。

暫定配合量350(kg/m³)、W/C＝70% 【最終的には配合試験により決定する。】

8. 品 質 検 査

- (1) 設計対象層及び調査箇所数。

- ① 設計対象層は最弱層とし、砂質土、粘性土、ロームの土質区分では（シルト）とする。
- ② 設計対象層(最弱層)の深度は、GL-(2.50 ～ 3.50m)付近とする。

表1. 調査箇所数

項 目	採取部位	採取箇所数	備 考
小規模建築物における品質検査	頭部モールドコア	1箇所	材 齢 7日
	深部モールドコア	1箇所	材 齢 7日

注) 深部モールドコアにおいて、 $X_{i7} < F_c$ の場合は、材齢28日強度を確認する。
頭部モールドコアの抜き取り数は、改良体100本に1箇所以上とする。

- (2) メーターサンブラーによる品質管理

設計対象層に対しメーターサンブラーにてサンプリングを行う。

改良部の連続性、土塊混入状況、及び不良率の確認をフェノール試験、指圧試験により行う。

ただし、現場状況等によりメーターサンブラーによるサンプリングが困難な場合は、深部モールドコアを1箇所追加し、計2箇所
でサンプリングすることによりメーターサンブラーの代用を行う。

高温養生（60℃）による材齢1日圧縮試験を行う。

これらにより、健全な品質を確認しモールドコア試験を実施する。

- (3) 合否の判定（小規模建築物における品質検査）

- ① 抜き取り1箇所に対して3個の供試体を採取する。
- ② 合否の判定はn個(コアの個数)の一軸圧縮試験結果が、下式を満足する場合を合格と判定する。

$$X_i \geq F_c$$

X_i : 検査対象層より採取した個々のコアの一軸圧縮強さ（材齢7日）（ $1 \leq i \leq n$ ）(kN/㎡)、
（もし $X_{i7} < F_c$ の場合は、 $X_{i28} \geq F_c$ を確認する。）

F_c : 設計基準強度 (kN/㎡)

n : コアの抜き取り個数

i : 個々の供試体

9. 工 事 報 告

工事完了後、次の項目について報告書をまとめ、監督員に提出する。

- ① コラム伏図及び番号
- ② コラムの施工日
- ③ コラムの径及び改良長
- ④ 掘削深度
- ⑤ 固化材の配合と使用量
- ⑥ モールドコア圧縮強度試験結果



山梨建築設計監理事業協同組合

承認	設計	担当	縮 尺
			A1→N/S A3→N/S
			設計年月日 2023. 03. 31

工事名称 遊亀公園附属動物園整備(建築主体)工事

図面名称 スリーエスG-cube工法特記仕様書(ビーバー舎)

No. S-07